

令和 3 年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報 告 書

令和 4 年 3 月



スポーツと人情が熱いまち

江東区

目 次

I. 調査の概要	1
II. サンプル（調査回答者）特性	4
III. 江東区長期計画における成果指標	8
IV. 調査結果	21
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】	21
【地球温暖化対策と環境保全】	23
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】	26
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】	32
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】	34
【次代を担う青少年の健全育成の推進】	36
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】	38
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】	42
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】	46
【生涯にわたり学習できる環境の充実】	53
【スポーツを楽しめる環境の充実】	57
【文化・歴史の継承と観光振興】	59
【切れ目のない支援による母子保健の充実】	62
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】	63
【感染症対策と生活衛生の確保】	70
【高齢者支援と活躍の推進】	73
【障害者支援と共生社会の実現】	79
【地域福祉と生活支援の充実】	81
【計画的なまちづくりの推進】	87
【良好な住宅の形成と住環境の向上】	93
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】	95
【災害に強い都市の形成】	97
【地域防災力の強化】	101
【犯罪のないまちづくり】	104
資料：調査票の見本	106

I. 調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和2年度から11年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において、各施策に設定する施策実現に関する指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

- ① 調査対象 区内在住の満18歳以上の人（令和4年1月1日時点での満年齢）
- ② 対象者数 3,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳（令和4年1月1日現在）から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤ 調査期間 令和4年1月19日送付、2月9日締切

・ 調査項目

- ・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
- ・ 地球温暖化対策と環境保全
- ・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
- ・ 多様なニーズに応じた教育環境の充実
- ・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
- ・ 次代を担う青少年の健全育成の推進
- ・ 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
- ・ 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
- ・ 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現
- ・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ・ スポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 文化・歴史の継承と観光振興
- ・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
- ・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
- ・ 感染症対策と生活衛生の確保
- ・ 高齢者支援と活躍の推進
- ・ 障害者支援と共生社会の実現
- ・ 地域福祉と生活支援の充実
- ・ 計画的なまちづくりの推進
- ・ 良好な住宅の形成と住環境の向上
- ・ 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
- ・ 災害に強い都市の形成
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 犯罪のないまちづくり

・ 回収結果

- ① 標本数 3,000票
- ② 有効回答数 1,426票
- ③ 有効回収率 47.5%

・ 報告書の見方

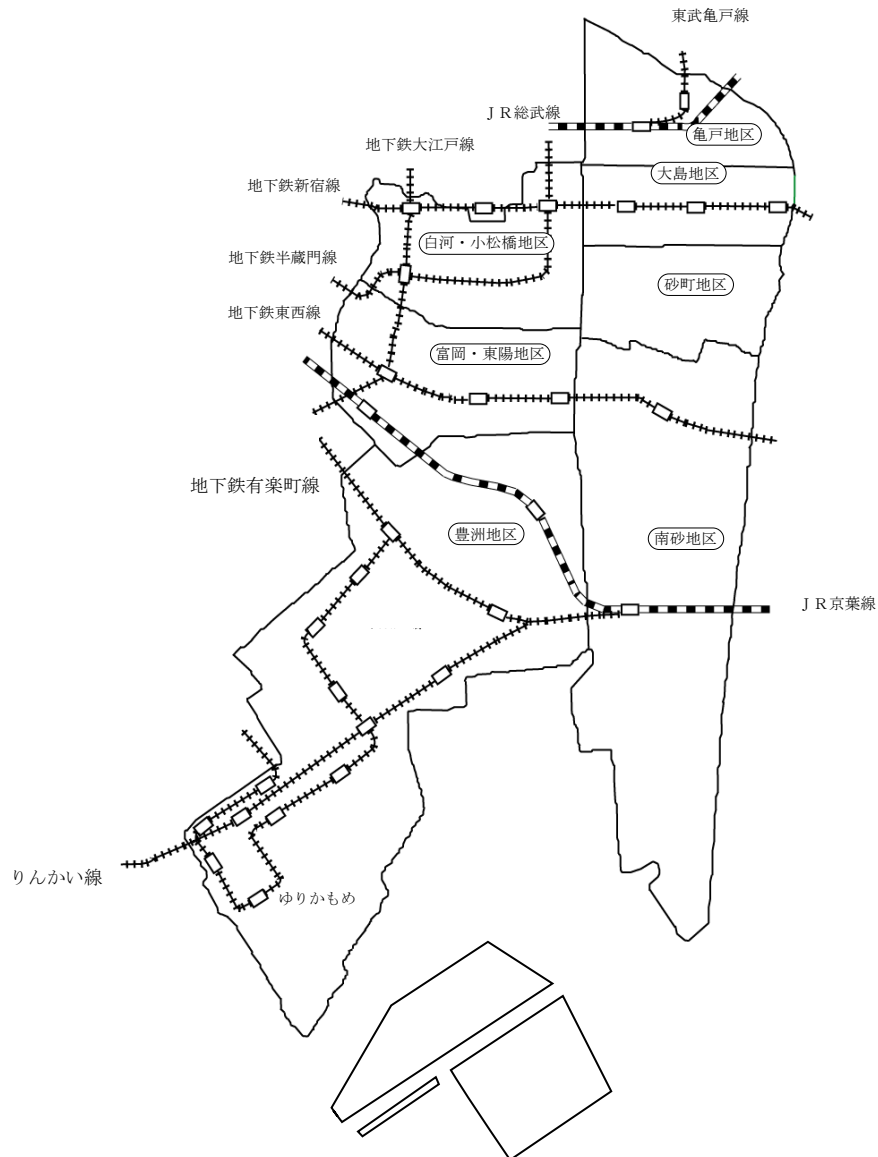
① 集計について

比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,426となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表 I - 1 地区区分図



図表 I - 2 地区・町丁目対応表

地 区	該 当 町 丁 目
白 河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小 松 橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富 岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東 陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森
豊 洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀 戸	亀戸
大 島	大島
砂 町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目
南 砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)・3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)・2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲

- ・ 標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、②回答比率（p）によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団
n = 回収数
p = 回答率

図表 I - 3 誤差率

回答比率 (p) (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,426	1.59%	2.12%	2.43%	2.59%	2.65%
1,300	1.66%	2.22%	2.54%	2.72%	2.77%
1,200	1.73%	2.31%	2.65%	2.83%	2.89%
1,000	1.90%	2.53%	2.90%	3.10%	3.16%
500	2.68%	3.58%	4.10%	4.38%	4.47%
300	3.46%	4.62%	5.29%	5.66%	5.77%
100	6.00%	8.00%	9.17%	9.80%	10.00%

※母集団は令和4年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：447,668人）

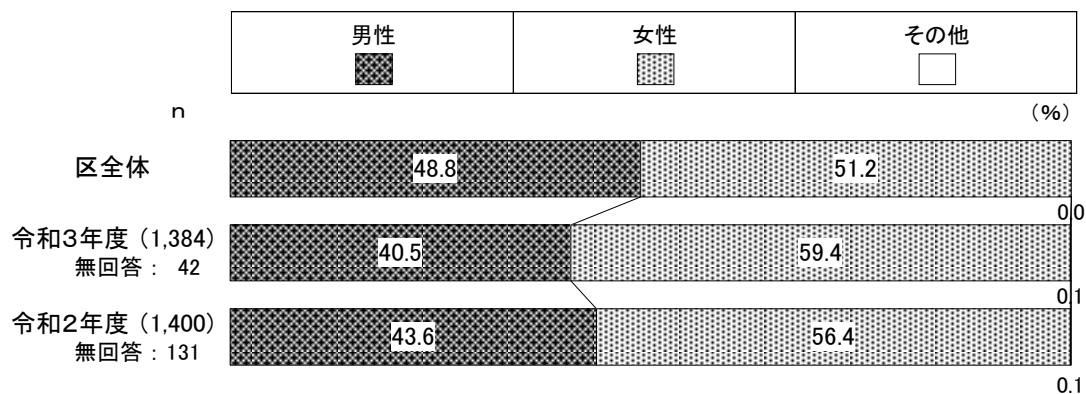
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が1,426サンプルであったため、ある設問Aの選択肢aの回答率が50%であった場合（誤差が最も大きくなる場合）でも、その結果の誤差は±2.65%、すなわち、母集団（全区民）の回答率は47.35%～52.65%の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ. サンプル（調査回答者）特性

F 1 性別

- 区全体では、男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より18.9ポイント高くなっている。

図表Ⅱ－１ 性別

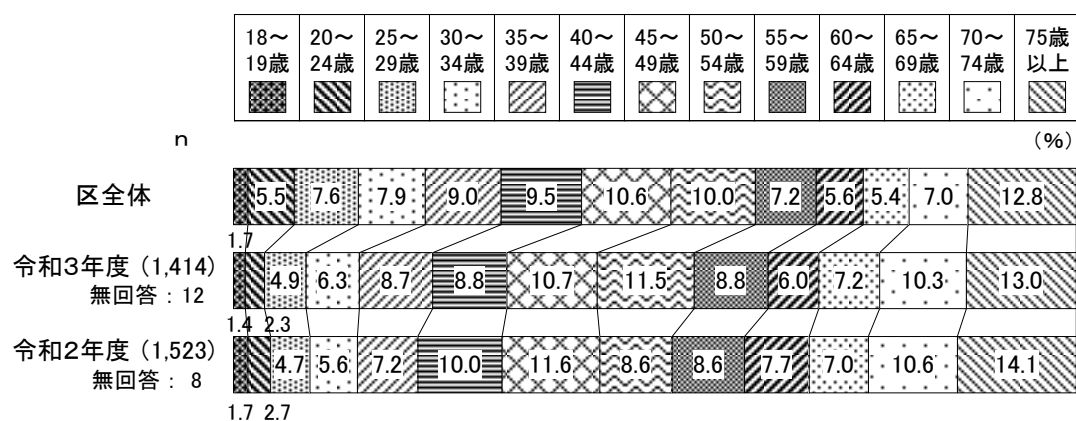


※区全体は令和4年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：447,668人）

F 2 年齢

- 年齢別では、75歳以上が13.0%で最も高く、70歳以上の回答者は全体の23.3%となっている。年代別でみると、20歳代は7.2%、30歳代は15.0%、40歳代は19.5%、50歳代は20.3%、60歳代は13.2%となっている。

図表Ⅱ－２ 年齢

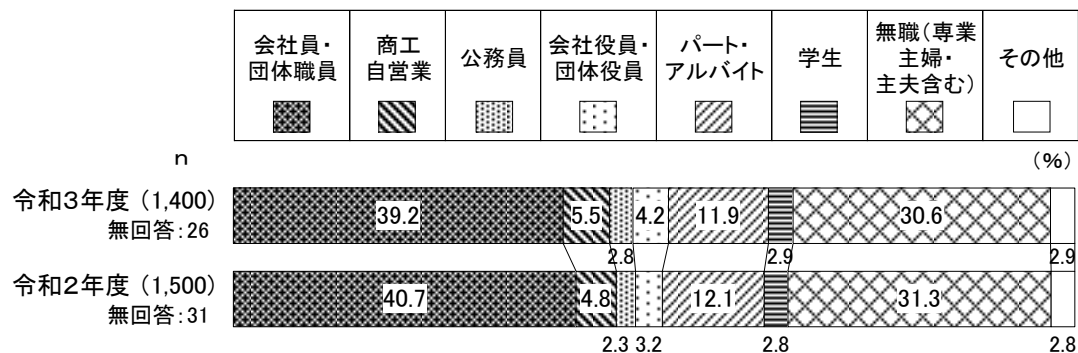


※区全体は令和4年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：447,668人）

F 3 職業

- ・職業別では、会社員・団体職員が39.2%で最も高く、次いで無職（専業主婦・主夫含む）が30.6%となっている。

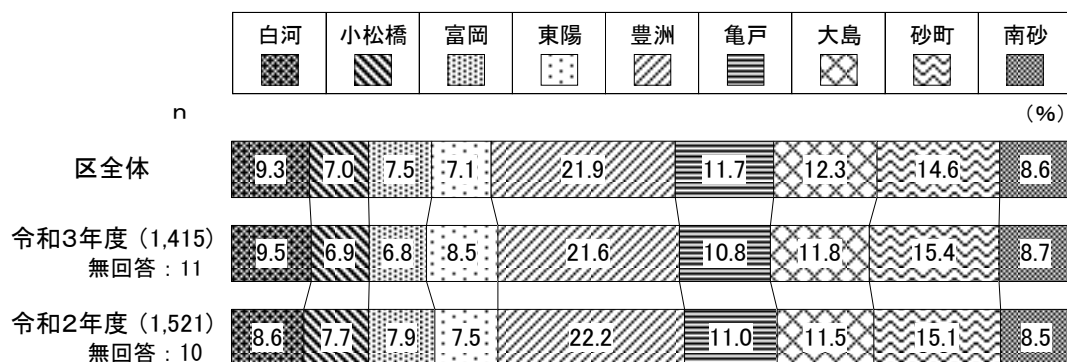
図表Ⅱ－3 職業



F 4 居住地区

- ・居住地区別では、豊洲地区が21.6%で最も高く、次いで砂町地区が15.4%となっている。

図表Ⅱ－4 居住地区

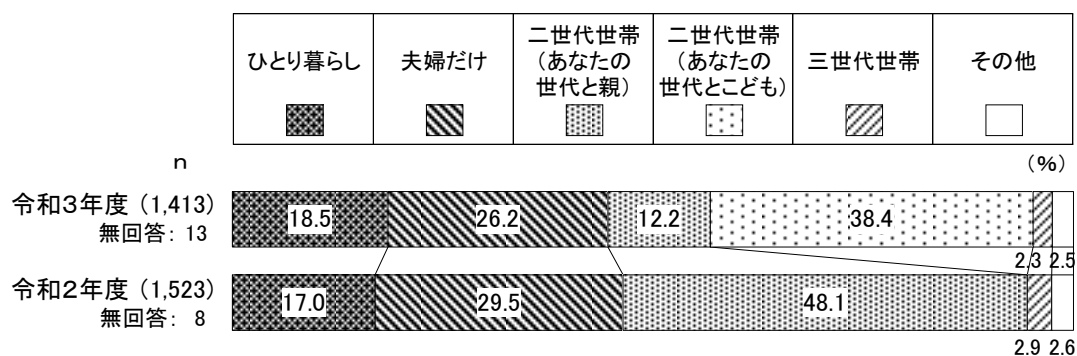


※区全体は令和4年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：447,668人）

F 5 世帯の構成

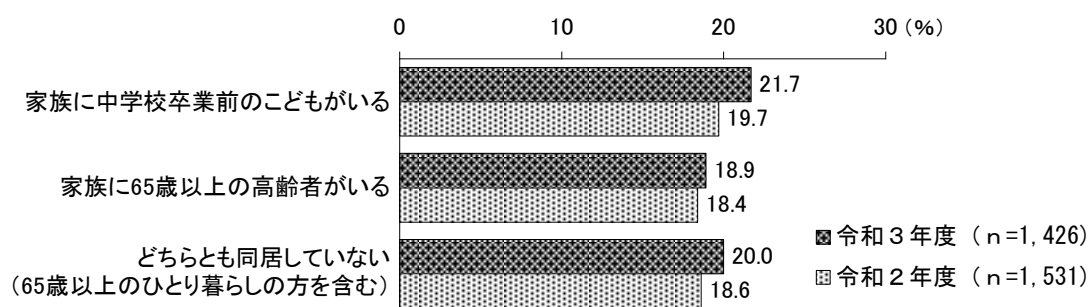
- ・世帯の構成別では、二世世代世帯（あなたの世代と子ども）が38.4%で最も高く、次いで夫婦だけが26.2%となっている。また、家族に中学校卒業前の子どもがいる回答者が21.7%、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が18.9%となっている。

図表Ⅱ－5 世帯の構成



※「二世世代世帯（あなたの世代と親）」と「二世世代世帯（あなたの世代と子ども）」の選択肢は、令和2年度調査では「親と子（2世代）」としていた。また、「三世世代世帯」の選択肢は、令和2年度調査では「祖父母と親と子（3世代以上）」としていた。

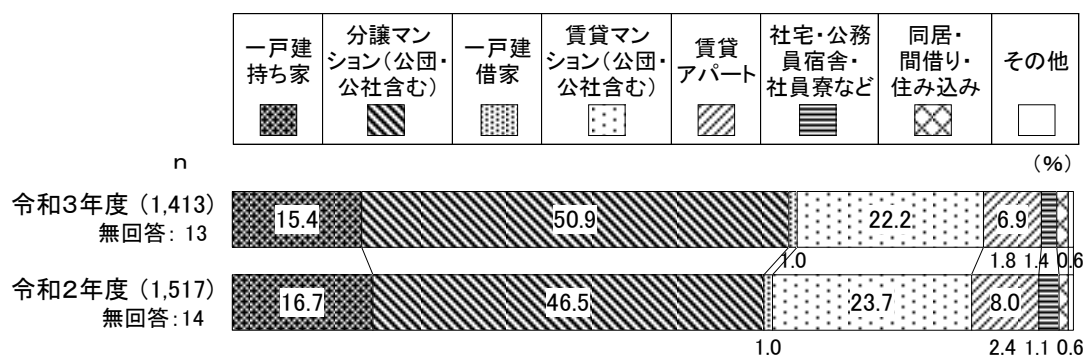
図表Ⅱ－6 世帯に中学校卒業前の子ども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



F 6 住宅の形態

- ・住宅の形態別では、分譲マンション（公団・公社含む）が50.9%で最も高く、次いで賃貸マンション（公団・公社含む）が22.2%となっている。

図表Ⅱ－７ 住宅の形態



※公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、
公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標

- ・本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、2つ以上の項目を合計した割合は、各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
- ・割合については、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
- ・問3-1、4-1、15-1、19-1、23②③、26-1、26-2、29-1、29-2は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「Ⅳ. 調査結果」を参照のこと。

■問1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP21）	
指標名：	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	74.1%

図表Ⅲ－1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,407	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
回答数	398	645	197	88	31	48
割合	28.3	45.8	14.0	6.3	2.2	3.4

無回答：19

■問2 地球温暖化対策と環境保全：施策2（詳細はP23）	
指標名：	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	66.5%

図表Ⅲ－2 地球温暖化対策と環境保全：施策2 集計結果

n=1,423	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	9個選択	10個選択	11個選択	特に何もしていない
回答数	33	60	157	210	206	210	180	158	123	60	9	17
割合	2.3	4.2	11.0	14.8	14.5	14.8	12.6	11.1	8.6	4.2	0.6	1.2

無回答：3

■問3 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 （詳細はP26）	
指標名：	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	57.3%

図表Ⅲ－3 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=328	そう感じる	どちらかとい えはそう 感じる	どちらかとい えはそう 感じない	そう感じない	わからない
回答数	36	152	54	44	42
割合	11.0	46.3	16.5	13.4	12.8

■問4 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 （詳細はP28）	
指標名：	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.7%

図表Ⅲ－4 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=312	そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	29	176	51	28	28
割合	9.3	56.4	16.3	9.0	9.0

■問5 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 （詳細はP30）	
指標名：	しつけであっても子どもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法：	「1. しつけであっても体罰はすべきでない」の割合を算出
指標値：	66.9%

図表Ⅲ－5 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,067	しつけであっ ても体罰はす べきではない	しつけのため なら、ある程 度の体罰も やむを得ない	しつけのため なら、体罰は 必要である	わからない
回答数	714	270	8	75
割合	66.9	25.3	0.7	7.0

無回答：359

■問 6 多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策 7 （詳細はP32）	
指標名：	一人一人を大切にしたい教育が行われていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	21.4%

図表Ⅲ－6 多様なニーズに応じた教育環境の充実：施策 7 集計結果

n=1,280	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	65	209	228	54	62	662
割合	5.1	16.3	17.8	4.2	4.8	51.7

無回答：146

■問 7 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策 8 （詳細はP34）	
指標名：	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	49.7%

図表Ⅲ－7 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策 8 集計結果

n=1,289	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	191	450	181	56	42	369
割合	14.8	34.9	14.0	4.3	3.3	28.6

無回答：137

■問 8 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策 9 （詳細はP36）	
指標名：	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	19.7%

図表Ⅲ－8 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策 9 集計結果

n=1,295	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	49	206	241	75	45	679
割合	3.8	15.9	18.6	5.8	3.5	52.4

無回答：131

■問9 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP38）	
指標名：	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	43.1%

図表Ⅲ－9 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,398	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	125	478	334	190	114	157
割合	8.9	34.2	23.9	13.6	8.2	11.2

無回答：28

■問10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 （詳細はP40）	
指標名：	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	61.0%

図表Ⅲ－10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,400	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない
回答数	334	520	278	159	109
割合	23.9	37.1	19.9	11.4	7.8

無回答：26

■問11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 （詳細はP42）	
指標名：	この1年間に地域活動に参加した区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	12.8%

図表Ⅲ－11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,405	よく参加 している	ときどき 参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	66	114	320	905
割合	4.7	8.1	22.8	64.4

無回答：21

■問12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 （詳細はP44）	
指標名：	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	38.9%

図表Ⅲ－12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,405	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	168	378	203	111	94	451
割合	12.0	26.9	14.4	7.9	6.7	32.1

無回答：21

■問13 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP46）	
指標名：	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	39.1%

図表Ⅲ－13 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,402	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	85	463	290	69	59	436
割合	6.1	33.0	20.7	4.9	4.2	31.1

無回答：24

■問14 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP48）	
指標名：	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ていると答えた区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	53.5%

図表Ⅲ－14 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,393	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	226	519	238	169	147	94
割合	16.2	37.3	17.1	12.1	10.6	6.7

無回答：33

■問15 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 （詳細はP50）	
指標名：	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	30.1%

図表Ⅲ－15 多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現:施策12 集計結果

n=1,337	知っている	知らない
回答数	403	934
割合	30.1	69.9

無回答：89

■問16 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 （詳細はP53）	
指標名：	趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	7.6%

図表Ⅲ－16 生涯にわたり学習できる環境の充実:施策13 集計結果

n=1,387	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	47	58	238	1,044
割合	3.4	4.2	17.2	75.3

無回答：39

■問17 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 （詳細はP55）	
指標名：	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	72.7%

図表Ⅲ－17 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,405	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
回答数	456	566	102	74	207
割合	32.5	40.3	7.3	5.3	14.7

無回答：21

■問18 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 （詳細はP57）	
指標名：	週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	週1日以上を選んだ区民の割合を算出
指標値：	58.8%

図表Ⅲ－18 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 集計結果

n=1,410	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
回答数	285	211	223	110	581
割合	20.2	15.0	15.8	7.8	41.2

無回答：16

■問19 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 （詳細はP59）	
指標名：	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	75.8%

図表Ⅲ－19 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,376	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	380	663	112	54	167
割合	27.6	48.2	8.1	3.9	12.1

無回答：50

■問20 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 （詳細はP62）	
指標名：	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.0%

図表Ⅲ－20 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 集計結果

n=343	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	77	146	39	22	14	45
割合	22.4	42.6	11.4	6.4	4.1	13.1

■問21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP63）	
指標名：	自分は健康だと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	71.7%

図表Ⅲ－21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,397	そう思う	どちらかとい えぱそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えぱそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	369	632	187	98	99	12
割合	26.4	45.2	13.4	7.0	7.1	0.9

無回答：29

■問22 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP65）	
指標名：	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法：	「5. がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 (n-「がん検診を受けていない」)/n
指標値：	52.3%

図表Ⅲ－22 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,388	区のがん検診	職場の がん検診	人間ドックな どのがん検診	その他	がん検診は 受けていない
回答数	292	230	212	59	662
割合	21.0	16.6	15.3	4.3	47.7

無回答：38

■問23 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 （詳細はP67）	
指標名：	かかりつけ医を持つ区民の割合
算出方法：	「1. もっている」の割合を算出
指標値：	64.2%

図表Ⅲ－23 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,401	もっている	もっていない
回答数	899	502
割合	64.2	35.8

無回答：25

■問24 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 （詳細はP70）	
指標名：	感染症予防のため「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合
算出方法：	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した区民の割合を算出
指標値：	98.5%

図表Ⅲ－24 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 集計結果

n=1,402	全てを行っている	それ以外
回答数	1,381	21
割合	98.5	1.5

無回答：24

■問25 高齢者支援と活躍の推進：施策19 （詳細はP73）	
指標名：	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.8%

図表Ⅲ－25 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=424	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	117	162	97	12	29	7
割合	27.6	38.2	22.9	2.8	6.8	1.7

無回答：8

■問26 高齢者支援と活躍の推進：施策19 （詳細はP74）	
指標名：	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法：	「1. 就労をしている」及び「2. 地域活動をしている」の割合を算出
指標値：	30.3%

図表Ⅲ－26 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=419	就労をしている	地域活動をしている	就労も地域活動もしている	何もしていない
回答数	50	69	8	292
割合	11.9	16.5	1.9	69.7

無回答：13

■問27 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP77）	
指標名：	地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」及び「2. ある程度の内容は知っている」の割合を算出
指標値：	25.6%

図表Ⅲ－27 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=1,287	内容を 知っている	ある程度 の内容は知っ ている	内容は知ら ないが、聞 いたこと はある	知らない
回答数	108	221	253	705
割合	8.4	17.2	19.7	54.8

無回答：139

■問28 障害者支援と共生社会の実現：施策20（詳細はP79）	
指標名：	障害者が社会参加しやすいまちだと思ふ区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	25.3%

図表Ⅲ－28 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,391	そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちら とも いえ ない	どちら かとい え ば そう 思 わ ない	そう 思 わ な い	わ か ら な い
回答数	67	285	161	59	32	787
割合	4.8	20.5	11.6	4.2	2.3	56.6

無回答：35

■問29 地域福祉と生活支援の充実：施策21（詳細はP81）	
指標名：	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合
算出方法：	「1. いる」の割合を算出
指標値：	76.9%

図表Ⅲ－29 地域福祉と生活支援の充実：施策21 集計結果

n=1,401	いる	いない	どちら とも いえ ない
回答数	1,078	203	120
割合	76.9	14.5	8.6

無回答：25

■問30 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP87）	
指標名：	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	51.0%

図表Ⅲ－30 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,405	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
回答数	158	559	230	90	50	318
割合	11.2	39.8	16.4	6.4	3.6	22.6

無回答：21

■問31 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP89）	
指標名：	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	57.1%

図表Ⅲ－31 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,407	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない
回答数	197	606	384	146	74
割合	14.0	43.1	27.3	10.4	5.3

無回答：19

■問32 計画的なまちづくりの推進：施策22 （詳細はP91）	
指標名：	ユニバーサルデザインの理念を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」の割合を算出
指標値：	41.2%

図表Ⅲ－32 計画的なまちづくりの推進：施策22 集計結果

n=1,407	内容を 知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
回答数	580	411	416
割合	41.2	29.2	29.6

無回答：19

■問33 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23 （詳細はP93）	
指標名：	住環境に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	75.4%

図表Ⅲ－33 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23 集計結果

n=1,409	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
回答数	412	651	203	106	37
割合	29.2	46.2	14.4	7.5	2.6

無回答：17

■問34 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 （詳細はP95）	
指標名：	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	61.8%

図表Ⅲ－34 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24 集計結果

n=1,410	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	334	537	188	200	132	19
割合	23.7	38.1	13.3	14.2	9.4	1.3

無回答：16

■問35 災害に強い都市の形成：施策25 （詳細はP97）	
指標名：	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	35.1%

図表Ⅲ－35 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,422	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
回答数	98	401	326	182	122	293
割合	6.9	28.2	22.9	12.8	8.6	20.6

無回答：4

■問36 災害に強い都市の形成：施策25 （詳細はP99）	
指標名：	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出
指標値：	59.2%

図表Ⅲ－36 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,421	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
回答数	841	442	114	24
割合	59.2	31.1	8.0	1.7

無回答：5

■問37 地域防災力の強化：施策26 （詳細はP101）	
指標名：	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法：	「1. 家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値：	45.1%

図表Ⅲ－37 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,421	家具などの転倒防止対策	1. を未選択
回答数	641	780
割合	45.1	54.9

無回答：5

■問38 犯罪のないまちづくり：施策27 （詳細はP104）	
指標名：	治安が良いと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	66.4%

図表Ⅲ－38 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,417	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	236	705	335	100	41
割合	16.7	49.8	23.6	7.1	2.9

無回答：9

IV. 調査結果

- ・各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、2つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
- ・回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
- ・属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位2つまでの項目を示している。
- ・性年齢別分析は、「その他」が極少数であったため、「その他」を除く男性・女性別のみで実施している。

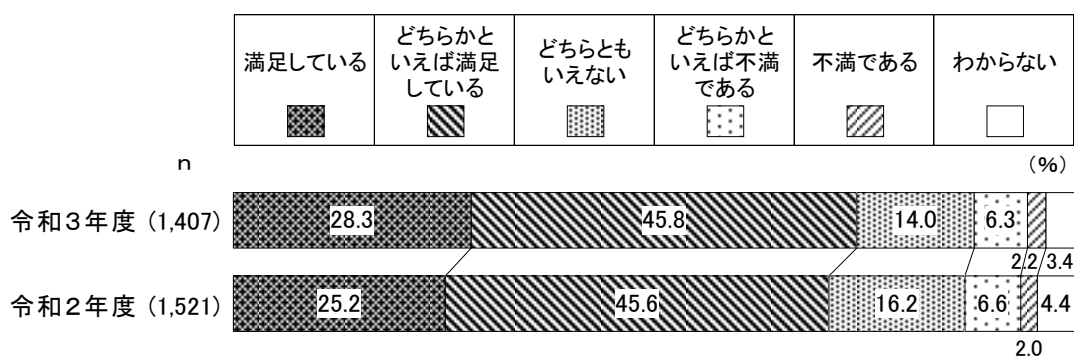
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえば満足している」が45.8%で最も高く、次いで「満足している」(28.3%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は74.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『満足している(計)』が3.3ポイント増加している。

図表Ⅳ－1 水辺と緑に対する満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、豊洲地区(79.9%)、小松橋地区(79.4%)、東陽地区(78.8%)、富岡地区(76.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－2 水辺と緑に対する満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全 体	1,407	28.3	45.8	14.0	6.3	2.2	3.4
白河	132	31.1	42.4	13.6	6.8	2.3	3.8
小松橋	97	35.1	44.3	9.3	9.3	0.0	2.1
富岡	96	31.3	44.8	13.5	7.3	1.0	2.1
東陽	118	34.7	44.1	11.0	6.8	1.7	1.7
豊洲	304	29.9	50.0	10.9	5.3	2.0	2.0
亀戸	152	21.7	42.1	18.4	7.9	3.9	5.9
大島	165	25.5	46.1	17.6	4.2	1.8	4.8
砂町	216	23.1	47.2	15.7	6.0	2.8	5.1
南砂	119	28.6	44.5	16.0	5.9	3.4	1.7
居住地区不詳	8	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では20～24歳、35～44歳、55～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～54歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－3 水辺と緑に対する満足度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	553	29.5	44.5	12.8	6.3	3.1	3.8
18～19歳	9	44.4	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1
20～24歳	14	35.7	50.0	7.1	0.0	7.1	0.0
25～29歳	33	24.2	48.5	18.2	3.0	3.0	3.0
30～34歳	38	31.6	36.8	10.5	13.2	0.0	7.9
35～39歳	46	28.3	50.0	6.5	10.9	0.0	4.3
40～44歳	42	33.3	47.6	14.3	2.4	2.4	0.0
45～49歳	67	26.9	43.3	14.9	10.4	1.5	3.0
50～54歳	59	32.2	37.3	15.3	5.1	5.1	5.1
55～59歳	48	25.0	56.3	8.3	0.0	2.1	8.3
60～64歳	35	31.4	54.3	5.7	2.9	2.9	2.9
65～69歳	49	24.5	55.1	10.2	2.0	6.1	2.0
70～74歳	54	22.2	40.7	16.7	13.0	5.6	1.9
75歳以上	58	39.7	31.0	17.2	5.2	3.4	3.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全 体	815	27.6	47.2	14.4	6.4	1.6	2.8
18～19歳	10	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	33.3	33.3	11.1	0.0	5.6	16.7
25～29歳	35	17.1	48.6	17.1	14.3	2.9	0.0
30～34歳	51	27.5	31.4	23.5	7.8	0.0	9.8
35～39歳	76	19.7	48.7	14.5	13.2	2.6	1.3
40～44歳	83	24.1	54.2	12.0	9.6	0.0	0.0
45～49歳	81	37.0	39.5	16.0	2.5	3.7	1.2
50～54歳	100	27.0	52.0	13.0	5.0	1.0	2.0
55～59歳	76	13.2	56.6	18.4	5.3	1.3	5.3
60～64歳	48	20.8	52.1	16.7	6.3	2.1	2.1
65～69歳	48	14.6	56.3	18.8	6.3	2.1	2.1
70～74歳	84	35.7	38.1	16.7	6.0	1.2	2.4
75歳以上	103	42.7	45.6	4.9	2.9	1.0	2.9
年齢不詳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

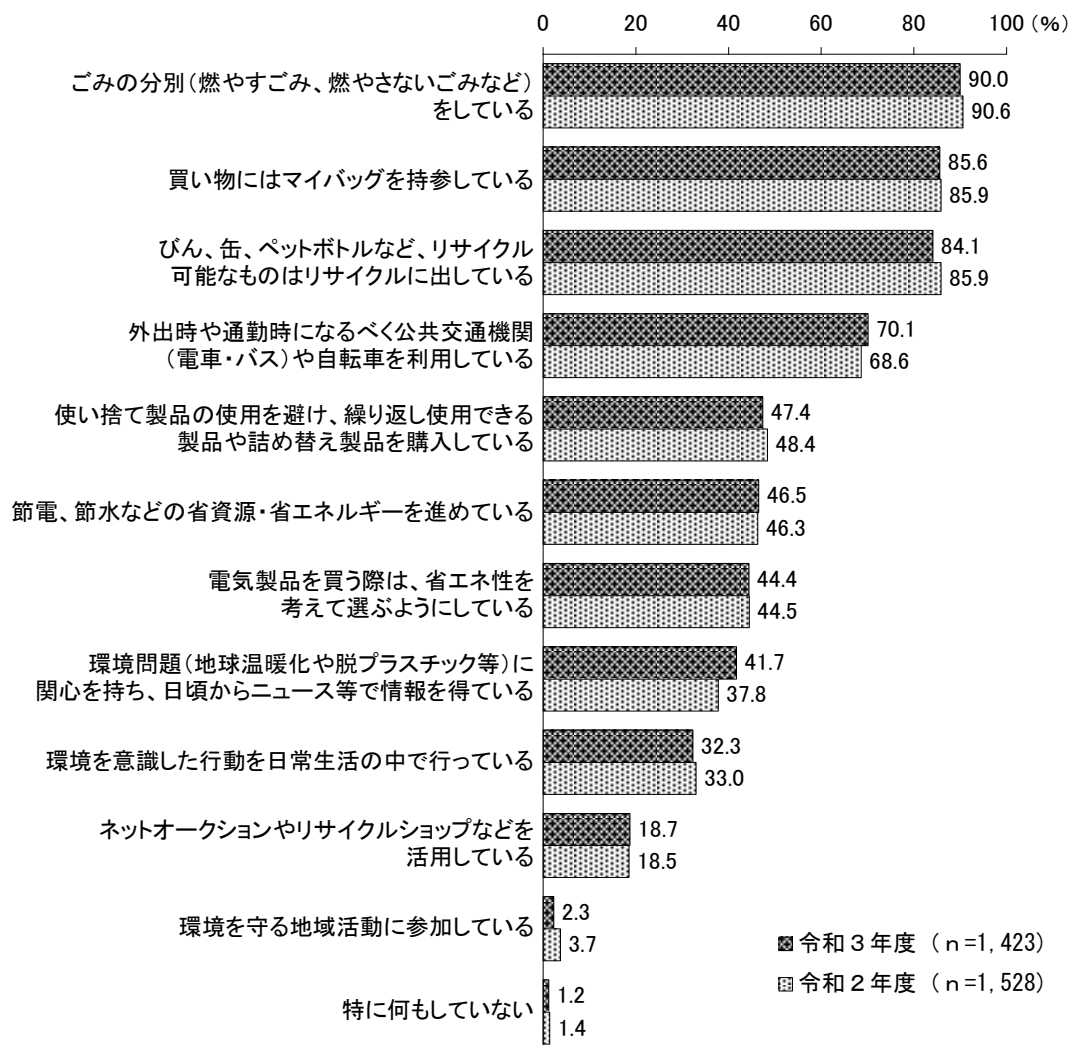
【地球温暖化対策と環境保全】

問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が90.0%で最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参している」（85.6%）、「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」（84.1%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている」が3.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－４ 環境に配慮した行動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で同率を含め1位は「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」となっている。小松橋地区では「買い物にはマイバッグを持参している」が同率で1位となっている。

図表Ⅳ－５ 環境に配慮した行動（地区別）

													(%)
	n	環境を 意識し た行動 を日常 生活の 中で 行っ ている	外出時 や通勤 時にな るべく 公共交 通機関 (電車・ バス) や自転 車を利用 している	節電、 節水な どの省 資源・ 省エネ を進め ている	電気製 品を買 う際は 、省エ ネ性を 考え て選ぶ ように している	使い捨 て製品 の使用 を避け 、繰り 返し使 用でき る製品 や詰め 替え製 品を購 入して いる	ネット オーク ション やリサ イクル ショップ などを 活用し ている	ごみの 分別 (燃や すごみ 、燃や さない ごみ など) をして いる	びん、 缶、 ペット ボトル など、 リサイ クル可 能なも のはリ サイクル に出 して いる	買い物 には マイ バッグ を持参 して いる	環境問 題(地球 温暖化 や脱プラ スチック 等)に関 心を持 ち、日頃 から ニュース 等で情 報を得 ている	環境を 守る 地域 活動に 参加 して いる	特に 何も して いない
全 体	1,423	32.3	70.1	46.5	44.4	47.4	18.7	90.0	84.1	85.6	41.7	2.3	1.2
白河	134	40.3	61.9	50.7	44.8	50.0	19.4	88.1	82.1	85.8	46.3	4.5	2.2
小松橋	98	38.8	73.5	48.0	40.8	55.1	10.2	90.8	88.8	90.8	44.9	6.1	0.0
富岡	96	32.3	63.5	41.7	40.6	45.8	27.1	88.5	82.3	84.4	40.6	4.2	3.1
東陽	120	23.3	71.7	42.5	45.0	36.7	10.0	88.3	86.7	81.7	40.0	2.5	0.0
豊洲	306	33.3	68.0	46.7	46.4	46.4	19.0	89.9	80.1	85.9	39.5	1.3	1.3
亀戸	153	33.3	72.5	50.3	43.8	49.0	17.6	91.5	86.3	83.7	44.4	1.3	2.0
大島	167	29.9	76.0	43.1	43.1	47.3	22.2	90.4	84.4	86.2	43.1	1.8	0.0
砂町	218	28.4	69.7	45.4	45.9	46.8	19.3	90.4	84.9	85.3	39.9	1.8	0.9
南砂	123	32.5	73.2	49.6	43.9	52.0	22.0	91.1	89.4	87.0	38.2	0.8	0.8
居住地区不詳	8	50.0	87.5	37.5	50.0	37.5	12.5	87.5	50.0	87.5	62.5	0.0	12.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、ほとんどの項目において、割合は女性の方が男性よりポイントが高くなっている。男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が1位となっている。女性では「買い物にはマイバッグを持参している」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、45～54歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では「買い物にはマイバッグを持参している」の割合は、30～34歳、50～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－6 環境に配慮した行動（性年齢別）

<男 性>		(%)											
	n	環境を 意識した行動を日常生活 の中で 行っている	外出時 や通勤 時になるべく公共交通機関 (電車・バス)や自転車を利用している	節電、 節水などの省資源・省エネルギーを進めている	電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている	捨てる製品の使用を避け、繰り返し使用する製品や詰め替え製品を購入している	ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している	ごみの分別(燃やすごみ、燃やさないごみなど)をしている	びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している	買い物にはマイバッグを持参している	環境問題(地球温暖化や脱プラスチック等)に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている	環境を守る地域活動に参加している	特に何もしていない
全 体	561	31.2	65.6	42.4	38.0	39.8	17.8	89.1	81.5	75.2	41.9	3.4	1.8
18～19歳	9	22.2	77.8	22.2	0.0	22.2	0.0	77.8	44.4	55.6	33.3	0.0	0.0
20～24歳	14	35.7	64.3	35.7	7.1	21.4	35.7	78.6	64.3	71.4	7.1	0.0	0.0
25～29歳	33	9.1	60.6	24.2	9.1	33.3	12.1	84.8	75.8	57.6	18.2	3.0	3.0
30～34歳	38	31.6	65.8	44.7	39.5	42.1	39.5	73.7	81.6	73.7	39.5	5.3	5.3
35～39歳	46	30.4	69.6	28.3	32.6	39.1	10.9	89.1	78.3	71.7	32.6	0.0	4.3
40～44歳	42	33.3	69.0	35.7	31.0	35.7	31.0	76.2	78.6	61.9	42.9	2.4	4.8
45～49歳	69	29.0	62.3	39.1	46.4	47.8	20.3	91.3	81.2	81.2	40.6	1.4	0.0
50～54歳	60	21.7	66.7	30.0	36.7	36.7	18.3	93.3	85.0	80.0	33.3	1.7	1.7
55～59歳	48	29.2	60.4	52.1	39.6	37.5	16.7	87.5	83.3	75.0	41.7	0.0	2.1
60～64歳	36	36.1	47.2	63.9	36.1	36.1	16.7	88.9	86.1	75.0	47.2	8.3	2.8
65～69歳	49	36.7	59.2	42.9	49.0	44.9	12.2	95.9	77.6	77.6	57.1	4.1	0.0
70～74歳	55	43.6	76.4	56.4	45.5	40.0	10.9	96.4	89.1	80.0	50.9	5.5	0.0
75歳以上	61	37.7	75.4	54.1	50.8	45.9	11.5	96.7	86.9	83.6	59.0	8.2	0.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>		(%)											
	n	環境を 意識し た行動 を日常 生活の 中で 行っ てい る	外出時 や通勤 時にな るべく 公共交 通機関 (電車・ バス) や自転 車を利用 している	節電、 節水な どの省 資源・ 省エネ ルギー を進め ている	電気製 品を買 う際 は、省 エネ 性を考 えて選 ぶよう にしてい る	使い捨 て製品 の使用 を避け 、繰 り返し 使用で きる製 品や詰 め替え 製品を 購入し ている	ネット オーク ション やリサ イクル ショッ プなど を活用 している	ごみの 分別 (燃や すごみ 、燃や さない ごみ など) をして いる	びん、 缶、 ペット ボトル など、 リサイ クル可 能なも のはリ サイク ルに出 してい る	買い物 には マイバ ッグを 持参し ている	環境問 題(地球 温暖化 や脱プ ラステ ック等) に関心 を持ち 、日頃 から ニュース 等で情 報を得 ている	環境を 守る地 域活動 に参加 してい る	特に 何も して いない
全 体	822	33.3	72.7	49.1	48.9	53.3	20.0	90.4	86.1	92.5	41.0	1.7	0.9
18～19歳	10	10.0	70.0	60.0	0.0	30.0	20.0	80.0	60.0	90.0	30.0	0.0	0.0
20～24歳	18	11.1	83.3	16.7	0.0	44.4	22.2	55.6	44.4	66.7	22.2	0.0	5.6
25～29歳	36	22.2	83.3	33.3	22.2	41.7	36.1	72.2	69.4	83.3	19.4	0.0	0.0
30～34歳	51	25.5	72.5	39.2	25.5	49.0	33.3	74.5	68.6	96.1	23.5	0.0	2.0
35～39歳	76	28.9	63.2	38.2	38.2	47.4	31.6	89.5	82.9	89.5	28.9	0.0	0.0
40～44歳	83	30.1	67.5	47.0	45.8	42.2	30.1	89.2	90.4	91.6	32.5	0.0	2.4
45～49歳	82	31.7	65.9	34.1	45.1	42.7	17.1	92.7	87.8	90.2	23.2	2.4	1.2
50～54歳	101	35.6	73.3	56.4	57.4	51.5	17.8	88.1	88.1	95.0	35.6	4.0	0.0
55～59歳	76	38.2	75.0	60.5	48.7	69.7	23.7	93.4	90.8	97.4	44.7	0.0	0.0
60～64歳	48	50.0	79.2	68.8	68.8	64.6	16.7	97.9	85.4	95.8	54.2	4.2	2.1
65～69歳	50	24.0	82.0	64.0	70.0	68.0	16.0	100.0	96.0	98.0	60.0	0.0	0.0
70～74歳	85	41.2	74.1	48.2	61.2	58.8	9.4	98.8	91.8	96.5	61.2	2.4	0.0
75歳以上	104	39.4	73.1	54.8	57.7	57.7	4.8	96.2	93.3	89.4	60.6	3.8	1.0
年齢不詳	2	0.0	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

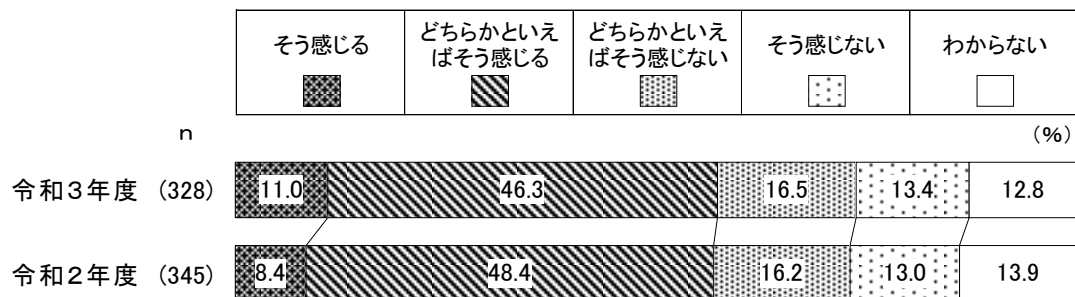
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう感じる」が46.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じない」(16.5%)となっている。
- ・「そう感じる」(11.0%)と「どちらかといえばそう感じる」(46.3%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は57.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－7 地域に見守られた子育てに対する評価



問３－１ 問３で「３. どちらかといえばそう感じない」「４. そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

- ・問３の質問において「どちらかといえばそう感じない」または「そう感じない」と回答された方に、その（地域に見守られて子育てしていると感じない）理由を自由記述でたずねたところ、91人から延べ105件の回答をいただいた。
- ・回答を分類した結果、「近所付き合い等、地域での接点がない」が34件で最も多く、次いで「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」（22件）、「子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい」（18件）となっている。
- ・最も多かった「近所付き合い等、地域での接点がない」の具体的な内容をみると、「地域の方と接する機会がない」、「地域や近所との付き合いがほとんどない」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－８ 地域に見守られて子育てしていると感じない理由

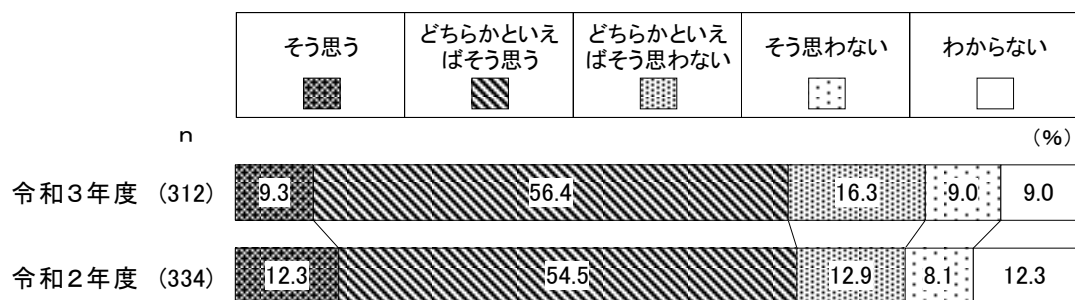
近所付き合い等、地域での接点がない	34件
実体験がないなど、具体的に思い当たらない	22件
子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい	18件
コロナ禍の影響で交流ができない	9件
子育てや子どもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい	7件
防犯・安全面での不安	7件
定義がわからない	3件
その他	5件

問4 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が56.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(16.3%)となっている。
- ・「そう思う」(9.3%)と「どちらかといえばそう思う」(56.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は65.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」が3.4ポイント増加している。

図表Ⅳ－9 子育て情報の入手の容易さ



問４－１ 問４で「３．どちらかといえばそう思わない」「４．そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

- ・問４の質問において「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方に、その（必要な子育て情報を入手しやすいと思わない）理由を自由記述でたずねたところ、70人から延べ72件の回答をいただいた。
- ・回答を分類した結果、「区の情報がわかりにくい」が21件で最も多く、次いで「区の情報発信が不足している」（18件）、「必要な情報が受動的だと届かない」（16件）となっている。
- ・最も多かった「区の情報がわかりにくい」の具体的な内容を見ると、「区のホームページにいろいろな情報は載っているが、その中から探したり検索したりがしづらい」といった意見がみられた。

図表Ⅳ－10 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

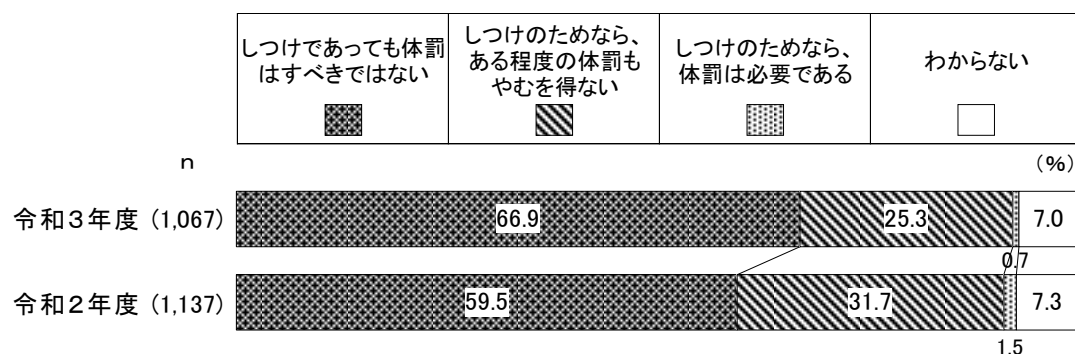
区の情報がわかりにくい	21件
区の情報発信が不足している	18件
必要な情報が受動的だと届かない	16件
情報の入手方法がわからない	5件
コロナ禍の影響	1件
その他	11件

問5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「しつけであっても体罰はすべきではない」が66.9%で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」(25.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が7.4ポイント増加している。

図表Ⅳ－11 しつけと体罰の認識



① 地区別

- ・地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、亀戸地区 (73.1%)、豊洲地区 (70.6%)、東陽地区 (69.7%)、大島地区 (68.6%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－12 しつけと体罰の認識 (地区別)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全 体	1,067	66.9	25.3	0.7	7.0
白河	94	66.0	25.5	1.1	7.4
小松橋	77	59.7	31.2	1.3	7.8
富岡	72	63.9	25.0	0.0	11.1
東陽	89	69.7	25.8	0.0	4.5
豊洲	252	70.6	23.0	0.0	6.3
亀戸	108	73.1	23.1	0.9	2.8
大島	121	68.6	22.3	0.8	8.3
砂町	159	64.2	27.0	2.5	6.3
南砂	88	61.4	27.3	0.0	11.4
居住地区不詳	7	28.6	57.1	0.0	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性（70.7%）の方が男性（62.0%）より8.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では20～34歳、40～49歳、60～64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－13 しつけと体罰の認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	440	62.0	32.0	1.6	4.3
18～19歳	9	55.6	33.3	0.0	11.1
20～24歳	11	63.6	36.4	0.0	0.0
25～29歳	27	74.1	25.9	0.0	0.0
30～34歳	34	67.6	23.5	0.0	8.8
35～39歳	42	57.1	35.7	2.4	4.8
40～44歳	38	73.7	23.7	0.0	2.6
45～49歳	62	67.7	21.0	0.0	11.3
50～54歳	52	59.6	34.6	3.8	1.9
55～59歳	41	48.8	48.8	2.4	0.0
60～64歳	22	63.6	27.3	4.5	4.5
65～69歳	37	56.8	40.5	0.0	2.7
70～74歳	35	48.6	42.9	5.7	2.9
75歳以上	30	70.0	26.7	0.0	3.3
年齢不詳	0	—	—	—	—

<女 性>

(%)

	n	しつけであっても 体罰はすべきでは ない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全 体	607	70.7	19.9	0.2	9.2
18～19歳	9	88.9	11.1	0.0	0.0
20～24歳	14	78.6	7.1	0.0	14.3
25～29歳	31	74.2	19.4	0.0	6.5
30～34歳	45	86.7	8.9	0.0	4.4
35～39歳	66	80.3	15.2	0.0	4.5
40～44歳	71	67.6	23.9	0.0	8.5
45～49歳	75	62.7	20.0	0.0	17.3
50～54歳	83	66.3	25.3	0.0	8.4
55～59歳	60	76.7	13.3	0.0	10.0
60～64歳	32	65.6	21.9	0.0	12.5
65～69歳	38	65.8	23.7	2.6	7.9
70～74歳	41	56.1	34.1	0.0	9.8
75歳以上	41	70.7	19.5	0.0	9.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

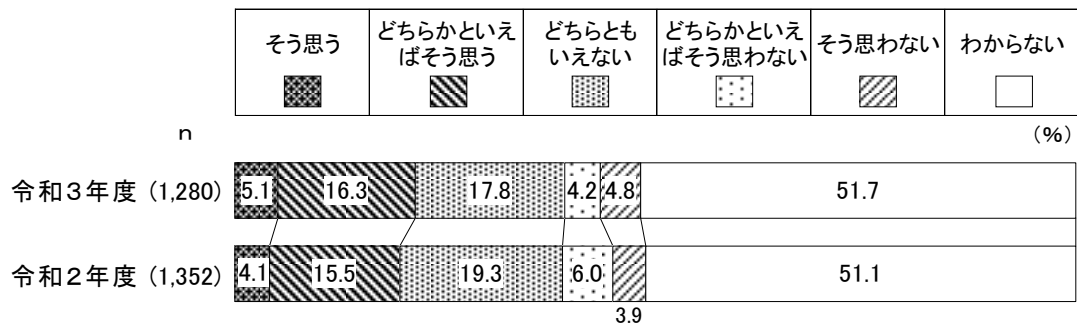
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問6 江東区では、一人一人を大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(17.8%)となっている。
- ・「そう思う」(5.1%)と「どちらかといえばそう思う」(16.3%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は21.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-14 一人一人を大切にした教育への認知度



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(29.3%)、南砂地区(25.5%)、大島地区(21.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-15 一人一人を大切にした教育への認知度(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,280	5.1	16.3	17.8	4.2	4.8	51.7
白河	115	2.6	14.8	14.8	3.5	4.3	60.0
小松橋	92	6.5	22.8	8.7	1.1	4.3	56.5
富岡	86	3.5	15.1	18.6	5.8	3.5	53.5
東陽	108	3.7	16.7	15.7	2.8	3.7	57.4
豊洲	287	4.9	16.4	18.1	5.2	4.9	50.5
亀戸	136	5.1	15.4	14.7	8.8	4.4	51.5
大島	143	6.3	15.4	18.2	2.8	4.9	52.4
砂町	193	5.7	14.5	25.9	2.1	6.7	45.1
南砂	110	5.5	20.0	17.3	5.5	4.5	47.3
居住地区不詳	10	20.0	0.0	30.0	0.0	10.0	40.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、45～49歳、65～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、35～49歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－16 一人一人を大切にした教育への認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	521	5.4	14.8	19.2	4.0	5.8	50.9
18～19歳	9	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1
20～24歳	14	7.1	42.9	7.1	7.1	7.1	28.6
25～29歳	32	0.0	18.8	9.4	0.0	6.3	65.6
30～34歳	38	2.6	5.3	28.9	2.6	7.9	52.6
35～39歳	44	2.3	9.1	9.1	2.3	4.5	72.7
40～44歳	42	9.5	9.5	26.2	7.1	4.8	42.9
45～49歳	67	3.0	26.9	22.4	3.0	3.0	41.8
50～54歳	58	1.7	17.2	13.8	6.9	3.4	56.9
55～59歳	48	0.0	18.8	16.7	0.0	10.4	54.2
60～64歳	30	0.0	13.3	36.7	3.3	3.3	43.3
65～69歳	45	8.9	13.3	26.7	6.7	2.2	42.2
70～74歳	48	8.3	2.1	16.7	4.2	10.4	58.3
75歳以上	45	17.8	13.3	11.1	4.4	4.4	48.9
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	732	4.6	17.8	16.3	4.2	4.2	52.9
18～19歳	10	30.0	40.0	10.0	10.0	0.0	10.0
20～24歳	18	16.7	11.1	5.6	11.1	11.1	44.4
25～29歳	36	8.3	11.1	11.1	0.0	0.0	69.4
30～34歳	48	4.2	16.7	10.4	2.1	2.1	64.6
35～39歳	72	2.8	23.6	20.8	4.2	8.3	40.3
40～44歳	81	8.6	22.2	18.5	3.7	4.9	42.0
45～49歳	81	4.9	21.0	25.9	8.6	6.2	33.3
50～54歳	99	2.0	20.2	14.1	7.1	3.0	53.5
55～59歳	74	4.1	16.2	10.8	1.4	6.8	60.8
60～64歳	42	0.0	28.6	14.3	2.4	2.4	52.4
65～69歳	46	2.2	10.9	19.6	4.3	2.2	60.9
70～74歳	64	1.6	12.5	18.8	0.0	1.6	65.6
75歳以上	60	5.0	5.0	11.7	5.0	3.3	70.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

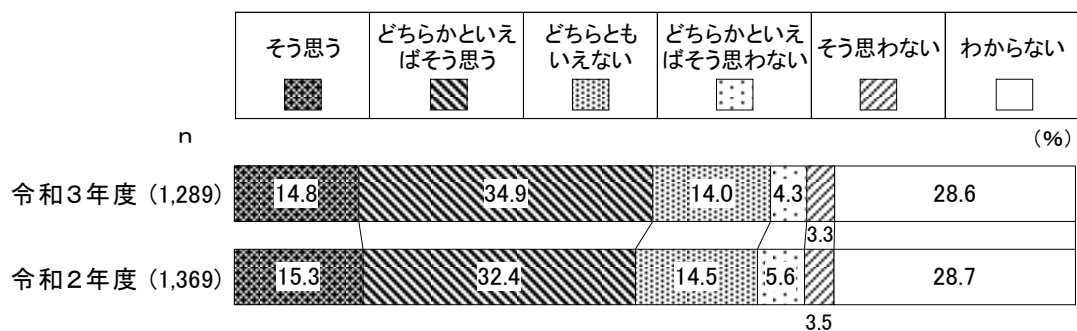
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問7 あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.9%で最も高く、次いで「わからない」（28.6%）となっている。
- ・「そう思う」（14.8%）と「どちらかといえばそう思う」（34.9%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は49.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－17 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、南砂地区（57.2%）、白河地区（52.1%）、豊洲地区（50.0%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－18 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（地区別）
(%)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,289	14.8	34.9	14.0	4.3	3.3	28.6
白河	117	17.9	34.2	12.8	6.0	1.7	27.4
小松橋	92	10.9	38.0	12.0	3.3	3.3	32.6
富岡	87	11.5	37.9	13.8	4.6	3.4	28.7
東陽	108	11.1	36.1	11.1	3.7	1.9	36.1
豊洲	288	15.6	34.4	12.2	4.2	3.8	29.9
亀戸	134	17.9	30.6	21.6	3.0	3.0	23.9
大島	148	15.5	33.8	13.5	4.1	4.1	29.1
砂町	194	13.4	34.5	18.6	5.2	3.6	24.7
南砂	112	17.0	40.2	7.1	4.5	2.7	28.6
居住地区不詳	9	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（51.8％）の方が女性（48.7％）より3.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～49歳、55～59歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、45～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－19 行政地域の活動が子どもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（性年齢別）

＜男 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	527	16.7	35.1	12.7	5.1	3.8	26.6
18～19歳	9	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1
20～24歳	14	21.4	50.0	0.0	7.1	14.3	7.1
25～29歳	33	21.2	30.3	12.1	3.0	6.1	27.3
30～34歳	37	13.5	32.4	18.9	0.0	8.1	27.0
35～39歳	44	18.2	34.1	6.8	4.5	0.0	36.4
40～44歳	42	16.7	40.5	9.5	9.5	2.4	21.4
45～49歳	67	11.9	47.8	11.9	4.5	1.5	22.4
50～54歳	60	10.0	40.0	15.0	8.3	3.3	23.3
55～59歳	47	14.9	40.4	10.6	4.3	2.1	27.7
60～64歳	30	16.7	20.0	16.7	3.3	3.3	40.0
65～69歳	45	20.0	33.3	13.3	11.1	4.4	17.8
70～74歳	49	16.3	24.5	16.3	2.0	8.2	32.7
75歳以上	49	22.4	24.5	14.3	4.1	2.0	32.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	735	13.6	35.1	14.6	3.7	2.7	30.3
18～19歳	10	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0
20～24歳	18	27.8	33.3	11.1	5.6	5.6	16.7
25～29歳	36	8.3	36.1	5.6	2.8	5.6	41.7
30～34歳	48	16.7	25.0	10.4	4.2	4.2	39.6
35～39歳	72	6.9	34.7	22.2	5.6	1.4	29.2
40～44歳	80	15.0	30.0	10.0	7.5	2.5	35.0
45～49歳	81	8.6	40.7	18.5	2.5	3.7	25.9
50～54歳	99	12.1	37.4	17.2	4.0	2.0	27.3
55～59歳	73	12.3	39.7	19.2	1.4	1.4	26.0
60～64歳	42	11.9	47.6	9.5	4.8	0.0	26.2
65～69歳	46	13.0	45.7	10.9	4.3	2.2	23.9
70～74歳	66	18.2	25.8	13.6	1.5	3.0	37.9
75歳以上	63	15.9	30.2	14.3	0.0	4.8	34.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

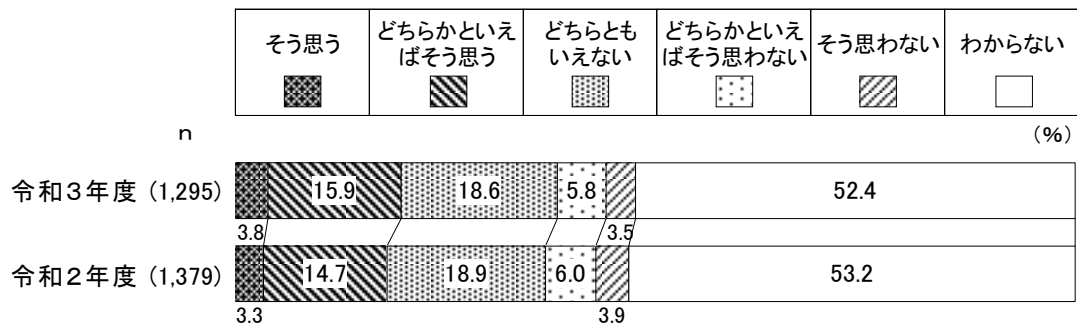
【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が52.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(18.6%)となっている。
- ・「そう思う」(3.8%)と「どちらかといえばそう思う」(15.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は19.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－20 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(25.9%)、南砂地区(23.3%)、小松橋地区(21.8%)、白河地区(21.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－21 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,295	3.8	15.9	18.6	5.8	52.4	3.5
白河	116	3.4	18.1	14.7	5.2	56.9	1.7
小松橋	92	3.3	18.5	10.9	4.3	58.7	4.3
富岡	87	2.3	13.8	21.8	6.9	52.9	2.3
東陽	108	4.6	21.3	14.8	5.6	49.1	4.6
豊洲	289	4.5	14.5	18.3	5.5	54.7	2.4
亀戸	136	3.7	12.5	21.3	6.6	47.8	8.1
大島	149	5.4	14.1	18.8	6.7	53.0	2.0
砂町	197	2.0	15.2	23.9	6.1	49.2	3.6
南砂	112	4.5	18.8	17.9	3.6	51.8	3.6
居住地区不詳	9	0.0	22.2	22.2	22.2	33.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、45～49歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、50～54歳、60～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－22 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	529	4.2	15.3	20.4	6.4	3.6	50.1
18～19歳	9	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	44.4
20～24歳	14	14.3	28.6	0.0	7.1	7.1	42.9
25～29歳	32	6.3	9.4	25.0	0.0	0.0	59.4
30～34歳	37	8.1	10.8	10.8	2.7	10.8	56.8
35～39歳	44	0.0	9.1	9.1	4.5	0.0	77.3
40～44歳	42	2.4	9.5	26.2	19.0	0.0	42.9
45～49歳	67	1.5	29.9	22.4	3.0	1.5	41.8
50～54歳	60	1.7	13.3	23.3	6.7	0.0	55.0
55～59歳	47	2.1	8.5	27.7	4.3	6.4	51.1
60～64歳	31	0.0	19.4	25.8	0.0	3.2	51.6
65～69歳	45	0.0	13.3	20.0	13.3	6.7	46.7
70～74歳	51	5.9	5.9	21.6	11.8	7.8	47.1
75歳以上	49	14.3	28.6	16.3	4.1	2.0	34.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	737	3.3	16.4	16.8	5.4	3.3	54.8
18～19歳	10	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	18	16.7	22.2	11.1	16.7	5.6	27.8
25～29歳	36	2.8	19.4	16.7	2.8	0.0	58.3
30～34歳	48	4.2	12.5	6.3	4.2	2.1	70.8
35～39歳	72	1.4	15.3	11.1	8.3	8.3	55.6
40～44歳	81	2.5	14.8	12.3	3.7	4.9	61.7
45～49歳	81	4.9	13.6	28.4	6.2	2.5	44.4
50～54歳	99	1.0	19.2	23.2	5.1	3.0	48.5
55～59歳	73	0.0	17.8	16.4	8.2	4.1	53.4
60～64歳	43	2.3	20.9	25.6	2.3	2.3	46.5
65～69歳	46	8.7	15.2	17.4	4.3	0.0	54.3
70～74歳	66	1.5	12.1	13.6	3.0	3.0	66.7
75歳以上	63	0.0	17.5	12.7	6.3	1.6	61.9
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

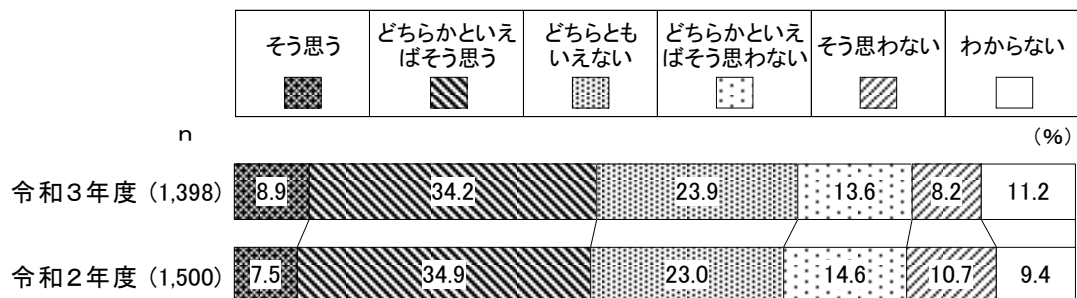
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.9%)となっている。
- ・「そう思う」(8.9%)と「どちらかといえばそう思う」(34.2%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は43.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-23 区内の産業やお店が元気に活動している認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(53.2%)、白河地区(48.5%)、豊洲地区(48.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-24 区内の産業やお店が元気に活動している認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,398	8.9	34.2	23.9	13.6	8.2	11.2
白河	132	9.1	39.4	25.8	13.6	4.5	7.6
小松橋	98	8.2	26.5	27.6	15.3	10.2	12.2
富岡	92	15.2	38.0	18.5	17.4	5.4	5.4
東陽	119	5.0	35.3	21.8	19.3	7.6	10.9
豊洲	301	9.0	39.2	24.6	8.0	4.7	14.6
亀戸	147	11.6	29.3	24.5	13.6	13.6	7.5
大島	166	9.0	30.7	24.1	14.5	8.4	13.3
砂町	215	6.5	32.6	24.7	14.4	11.2	10.7
南砂	119	9.2	31.1	21.0	15.1	10.1	13.4
居住地区不詳	9	11.1	44.4	22.2	11.1	0.0	11.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－25 区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

＜男 性＞		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	554	8.8	33.8	23.8	13.2	10.8	9.6
18～19歳	9	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
20～24歳	14	7.1	50.0	21.4	0.0	7.1	14.3
25～29歳	33	12.1	45.5	15.2	12.1	12.1	3.0
30～34歳	38	15.8	36.8	10.5	13.2	13.2	10.5
35～39歳	45	11.1	42.2	11.1	17.8	6.7	11.1
40～44歳	42	14.3	38.1	26.2	11.9	4.8	4.8
45～49歳	67	4.5	41.8	31.3	10.4	4.5	7.5
50～54歳	60	10.0	36.7	31.7	8.3	5.0	8.3
55～59歳	48	2.1	35.4	29.2	22.9	6.3	4.2
60～64歳	35	5.7	31.4	31.4	11.4	8.6	11.4
65～69歳	48	4.2	25.0	22.9	16.7	20.8	10.4
70～74歳	54	3.7	14.8	18.5	13.0	37.0	13.0
75歳以上	60	11.7	25.0	28.3	13.3	5.0	16.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

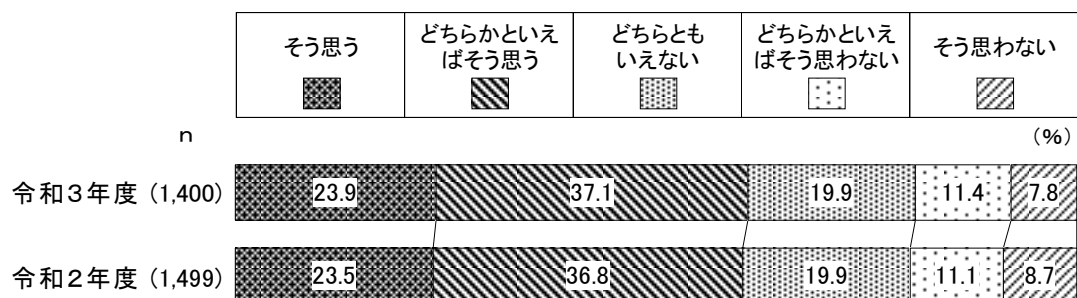
＜女 性＞		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	805	9.1	34.9	23.9	13.9	6.1	12.2
18～19歳	10	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	18	0.0	22.2	44.4	16.7	11.1	5.6
25～29歳	36	13.9	55.6	16.7	5.6	2.8	5.6
30～34歳	51	17.6	37.3	17.6	11.8	3.9	11.8
35～39歳	75	5.3	40.0	26.7	13.3	2.7	12.0
40～44歳	81	11.1	48.1	14.8	12.3	2.5	11.1
45～49歳	81	6.2	43.2	19.8	14.8	3.7	12.3
50～54歳	100	4.0	37.0	30.0	13.0	4.0	12.0
55～59歳	76	3.9	46.1	19.7	14.5	6.6	9.2
60～64歳	46	6.5	28.3	32.6	15.2	10.9	6.5
65～69歳	50	0.0	20.0	34.0	26.0	10.0	10.0
70～74歳	82	13.4	17.1	22.0	15.9	12.2	19.5
75歳以上	97	13.4	23.7	25.8	10.3	8.2	18.6
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.1%で最も高く、次いで「そう思う」(23.9%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は61.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-26 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(63.3%)、東陽地区(63.0%)、富岡地区(62.4%)、砂町地区(61.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-27 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全 体	1,400	23.9	37.1	19.9	11.4	7.8
白河	131	26.7	36.6	19.8	12.2	4.6
小松橋	98	28.6	29.6	21.4	9.2	11.2
富岡	93	26.9	35.5	18.3	12.9	6.5
東陽	119	19.3	43.7	16.8	10.9	9.2
豊洲	302	21.5	39.4	18.9	12.6	7.6
亀戸	149	24.8	34.2	18.8	10.7	11.4
大島	166	21.7	38.0	21.7	15.1	3.6
砂町	214	26.6	35.0	21.0	8.4	8.9
南砂	119	20.2	40.3	21.8	9.2	8.4
居住地区不詳	9	44.4	22.2	22.2	11.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－28 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	553	24.6	37.4	18.3	11.4	8.3
18～19歳	9	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0
20～24歳	14	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3
25～29歳	33	39.4	39.4	9.1	0.0	12.1
30～34歳	38	36.8	34.2	5.3	10.5	13.2
35～39歳	45	26.7	40.0	20.0	11.1	2.2
40～44歳	42	26.2	40.5	14.3	14.3	4.8
45～49歳	67	25.4	40.3	10.4	17.9	6.0
50～54歳	60	21.7	46.7	21.7	8.3	1.7
55～59歳	48	18.8	52.1	12.5	12.5	4.2
60～64歳	35	17.1	45.7	22.9	5.7	8.6
65～69歳	48	25.0	22.9	22.9	12.5	16.7
70～74歳	53	11.3	20.8	34.0	15.1	18.9
75歳以上	60	21.7	30.0	28.3	13.3	6.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	808	23.4	37.6	20.3	11.8	6.9
18～19歳	10	70.0	10.0	10.0	0.0	10.0
20～24歳	18	33.3	38.9	11.1	0.0	16.7
25～29歳	36	36.1	47.2	13.9	0.0	2.8
30～34歳	51	35.3	37.3	23.5	3.9	0.0
35～39歳	75	18.7	49.3	17.3	9.3	5.3
40～44歳	82	24.4	40.2	14.6	19.5	1.2
45～49歳	81	30.9	43.2	8.6	12.3	4.9
50～54歳	100	17.0	44.0	22.0	14.0	3.0
55～59歳	76	19.7	42.1	18.4	15.8	3.9
60～64歳	46	17.4	39.1	23.9	4.3	15.2
65～69歳	50	8.0	30.0	26.0	22.0	14.0
70～74歳	84	22.6	25.0	26.2	11.9	14.3
75歳以上	97	22.7	24.7	30.9	11.3	10.3
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

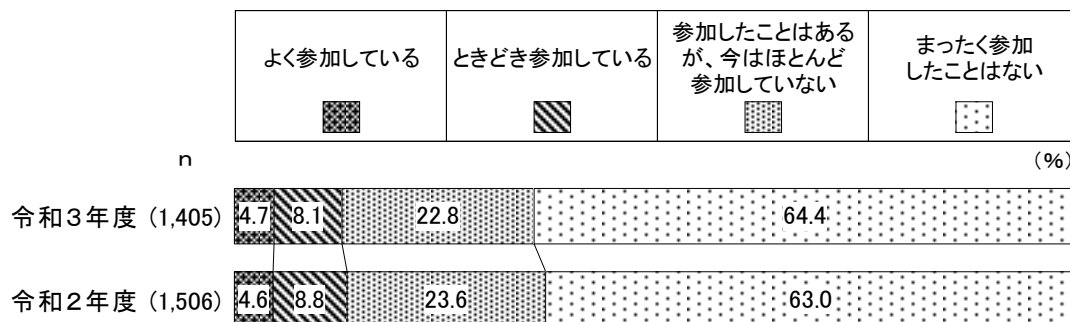
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問11 町会・自治会、NP0、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「まったく参加したことはない」が64.4%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」(22.8%)となっている。
- ・「よく参加している」(4.7%)と「ときどき参加している」(8.1%)を合わせた『参加している(計)』の割合は12.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－29 地域活動に参加したことがある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している(計)』の割合は、東陽地区(20.0%)、小松橋地区(19.3%)、南砂地区(15.2%)、白河地区(14.5%)、砂町地区(12.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－30 地域活動に参加したことがある区民の割合(地区別)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	1,405	4.7	8.1	22.8	64.4
白河	131	6.9	7.6	20.6	64.9
小松橋	98	7.1	12.2	19.4	61.2
富岡	93	7.5	4.3	24.7	63.4
東陽	120	10.0	10.0	29.2	50.8
豊洲	303	1.7	8.9	17.8	71.6
亀戸	149	2.7	8.1	24.2	65.1
大島	166	1.8	5.4	22.9	69.9
砂町	216	6.9	6.0	25.9	61.1
南砂	119	3.4	11.8	23.5	61.3
居住地区不詳	10	0.0	10.0	40.0	50.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性（14.3%）の方が女性（11.2%）より3.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－31 地域活動に参加したことがある区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（%）			
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	553	6.3	8.0	19.0	66.7
18～19歳	9	0.0	0.0	33.3	66.7
20～24歳	14	0.0	14.3	21.4	64.3
25～29歳	33	0.0	6.1	18.2	75.8
30～34歳	38	0.0	5.3	7.9	86.8
35～39歳	45	6.7	4.4	8.9	80.0
40～44歳	42	0.0	4.8	14.3	81.0
45～49歳	67	6.0	7.5	17.9	68.7
50～54歳	60	5.0	5.0	23.3	66.7
55～59歳	48	10.4	12.5	10.4	66.7
60～64歳	35	8.6	0.0	28.6	62.9
65～69歳	48	10.4	8.3	20.8	60.4
70～74歳	54	9.3	13.0	22.2	55.6
75歳以上	59	11.9	15.3	28.8	44.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

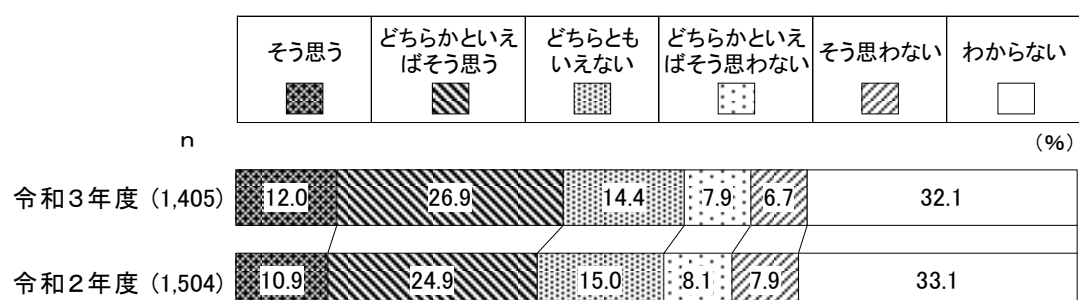
＜女 性＞		（%）			
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	812	3.7	7.5	24.5	64.3
18～19歳	10	10.0	10.0	10.0	70.0
20～24歳	18	0.0	0.0	33.3	66.7
25～29歳	36	0.0	0.0	5.6	94.4
30～34歳	51	0.0	2.0	0.0	98.0
35～39歳	75	1.3	5.3	13.3	80.0
40～44歳	82	0.0	11.0	19.5	69.5
45～49歳	81	3.7	6.2	25.9	64.2
50～54歳	100	4.0	5.0	24.0	67.0
55～59歳	76	2.6	7.9	31.6	57.9
60～64歳	48	2.1	14.6	29.2	54.2
65～69歳	50	4.0	8.0	48.0	40.0
70～74歳	84	8.3	11.9	29.8	50.0
75歳以上	99	9.1	9.1	31.3	50.5
年齢不詳	2	0.0	0.0	50.0	50.0

問12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「わからない」が32.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(26.9%)となっている。
- ・「そう思う」(12.0%)と「どちらかといえばそう思う」(26.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は38.9%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－32 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(47.5%)、大島地区(39.8%)、豊洲地区(39.6%)、亀戸地区(39.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－33 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,405	12.0	26.9	14.4	7.9	6.7	32.1
白河	131	13.7	25.2	14.5	6.9	6.9	32.8
小松橋	98	13.3	23.5	16.3	10.2	7.1	29.6
富岡	93	11.8	26.9	17.2	8.6	7.5	28.0
東陽	120	15.0	32.5	12.5	5.0	8.3	26.7
豊洲	303	11.9	27.7	12.2	6.3	6.3	35.6
亀戸	148	11.5	27.7	13.5	9.5	10.1	27.7
大島	166	13.3	26.5	13.3	6.0	6.6	34.3
砂町	217	10.1	28.1	17.1	7.8	5.1	31.8
南砂	119	7.6	22.7	15.1	14.3	4.2	36.1
居住地区不詳	10	20.0	10.0	30.0	10.0	0.0	30.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～49歳、55～64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、45～49歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－34 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞								(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全 体	554	12.5	27.1	15.9	8.5	7.0	29.1	
18～19歳	9	11.1	55.6	11.1	0.0	22.2	0.0	
20～24歳	14	14.3	50.0	14.3	0.0	7.1	14.3	
25～29歳	33	9.1	30.3	12.1	15.2	6.1	27.3	
30～34歳	38	18.4	21.1	10.5	5.3	5.3	39.5	
35～39歳	45	17.8	24.4	6.7	6.7	4.4	40.0	
40～44歳	42	16.7	28.6	16.7	11.9	7.1	19.0	
45～49歳	67	7.5	35.8	10.4	4.5	10.4	31.3	
50～54歳	60	15.0	15.0	21.7	8.3	6.7	33.3	
55～59歳	48	8.3	33.3	16.7	12.5	2.1	27.1	
60～64歳	35	8.6	31.4	20.0	8.6	0.0	31.4	
65～69歳	48	14.6	20.8	16.7	8.3	12.5	27.1	
70～74歳	54	7.4	20.4	20.4	9.3	14.8	27.8	
75歳以上	60	15.0	26.7	21.7	10.0	1.7	25.0	
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

＜女 性＞								(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全 体	811	11.7	26.8	12.9	7.6	6.4	34.5	
18～19歳	10	60.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	
20～24歳	18	5.6	38.9	11.1	11.1	5.6	27.8	
25～29歳	36	8.3	30.6	8.3	11.1	2.8	38.9	
30～34歳	51	13.7	13.7	15.7	7.8	3.9	45.1	
35～39歳	75	8.0	25.3	9.3	4.0	13.3	40.0	
40～44歳	82	12.2	24.4	12.2	9.8	6.1	35.4	
45～49歳	81	11.1	33.3	14.8	6.2	4.9	29.6	
50～54歳	100	8.0	26.0	14.0	10.0	5.0	37.0	
55～59歳	76	1.3	22.4	13.2	11.8	3.9	47.4	
60～64歳	48	6.3	33.3	14.6	6.3	14.6	25.0	
65～69歳	50	10.0	30.0	20.0	6.0	8.0	26.0	
70～74歳	82	20.7	28.0	7.3	7.3	4.9	31.7	
75歳以上	100	19.0	27.0	16.0	5.0	4.0	29.0	
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

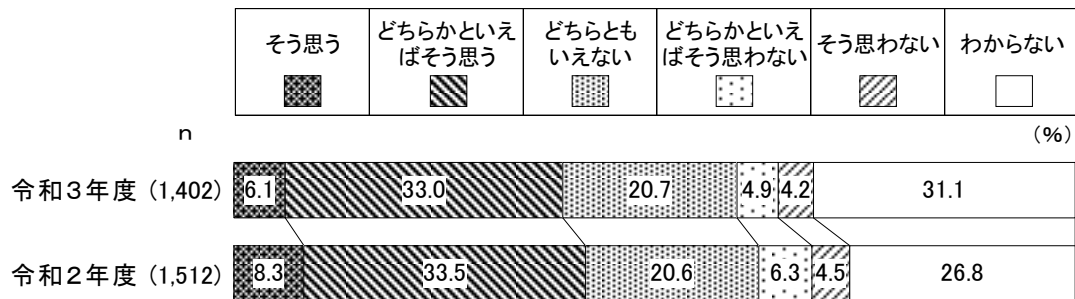
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が33.0%で最も高く、次いで「わからない」（31.1%）となっている。
- ・「そう思う」（6.1%）と「どちらかといえばそう思う」（33.0%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は39.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が4.3ポイント増加している。

図表Ⅳ－35 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、大島地区（43.7%）、東陽地区（42.5%）、富岡地区（39.6%）、砂町地区（39.6%）、豊洲地区（39.3%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－36 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,402	6.1	33.0	20.7	4.9	4.2	31.1
白河	131	6.1	32.1	17.6	3.1	4.6	36.6
小松橋	98	9.2	26.5	23.5	5.1	5.1	30.6
富岡	91	4.4	35.2	18.7	4.4	5.5	31.9
東陽	120	6.7	35.8	22.5	6.7	1.7	26.7
豊洲	303	5.3	34.0	21.1	4.3	4.0	31.4
亀戸	149	10.7	26.8	22.1	3.4	3.4	33.6
大島	165	7.3	36.4	16.4	3.0	3.6	33.3
砂町	217	4.1	35.5	19.8	7.8	5.5	27.2
南砂	118	1.7	33.1	25.4	6.8	5.1	28.0
居住地区不詳	10	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	50.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、40～49歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～34歳、40～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－37 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	552	5.6	32.6	20.7	5.1	5.6	30.4
18～19歳	9	11.1	33.3	0.0	11.1	22.2	22.2
20～24歳	14	7.1	57.1	0.0	0.0	7.1	28.6
25～29歳	33	9.1	33.3	15.2	6.1	3.0	33.3
30～34歳	38	2.6	44.7	15.8	0.0	5.3	31.6
35～39歳	45	8.9	22.2	20.0	2.2	2.2	44.4
40～44歳	42	11.9	33.3	16.7	9.5	2.4	26.2
45～49歳	67	3.0	35.8	22.4	1.5	7.5	29.9
50～54歳	60	1.7	31.7	23.3	10.0	3.3	30.0
55～59歳	48	2.1	33.3	27.1	10.4	6.3	20.8
60～64歳	35	2.9	28.6	22.9	5.7	0.0	40.0
65～69歳	48	6.3	29.2	18.8	4.2	8.3	33.3
70～74歳	53	5.7	24.5	18.9	5.7	13.2	32.1
75歳以上	59	8.5	35.6	28.8	1.7	3.4	22.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

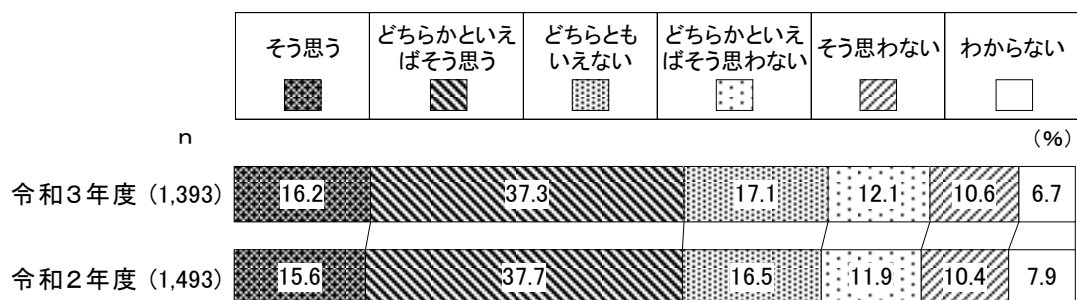
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	810	6.2	34.3	20.4	4.7	3.1	31.4
18～19歳	10	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0
20～24歳	18	0.0	61.1	16.7	0.0	0.0	22.2
25～29歳	36	0.0	27.8	19.4	5.6	2.8	44.4
30～34歳	51	2.0	41.2	13.7	7.8	2.0	33.3
35～39歳	75	0.0	34.7	17.3	6.7	5.3	36.0
40～44歳	82	7.3	36.6	18.3	4.9	3.7	29.3
45～49歳	81	8.6	38.3	19.8	3.7	6.2	23.5
50～54歳	100	3.0	42.0	24.0	4.0	1.0	26.0
55～59歳	76	2.6	39.5	18.4	3.9	5.3	30.3
60～64歳	48	12.5	35.4	27.1	6.3	0.0	18.8
65～69歳	50	8.0	16.0	36.0	2.0	2.0	36.0
70～74歳	82	8.5	26.8	17.1	3.7	4.9	39.0
75歳以上	99	10.1	26.3	20.2	6.1	1.0	36.4
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問14 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（17.1%）となっている。
- ・「そう思う」（16.2%）と「どちらかといえばそう思う」（37.3%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は53.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－38 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、小松橋地区（59.5%）、富岡地区（57.5%）、大島地区（57.4%）、豊洲地区（55.3%）、白河地区（54.2%）、東陽地区（53.8%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－39 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,393	16.2	37.3	17.1	12.1	10.6	6.7
白河	129	11.6	42.6	17.1	14.7	7.8	6.2
小松橋	94	22.3	37.2	20.2	8.5	10.6	1.1
富岡	94	18.1	39.4	20.2	8.5	8.5	5.3
東陽	119	15.1	38.7	19.3	9.2	10.9	6.7
豊洲	304	14.8	40.5	13.5	14.1	12.5	4.6
亀戸	149	18.1	30.2	20.8	10.7	11.4	8.7
大島	164	16.5	40.9	11.6	9.8	11.0	10.4
砂町	213	13.6	32.9	19.2	15.5	9.9	8.9
南砂	118	21.2	32.2	18.6	11.0	9.3	7.6
居住地区不詳	9	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～54歳、60～64歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－40 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	549	16.0	37.0	18.4	10.6	11.3	6.7
18～19歳	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	14	14.3	57.1	0.0	14.3	7.1	7.1
25～29歳	33	36.4	21.2	24.2	12.1	6.1	0.0
30～34歳	38	15.8	34.2	13.2	15.8	13.2	7.9
35～39歳	44	13.6	43.2	13.6	9.1	13.6	6.8
40～44歳	42	16.7	42.9	14.3	11.9	11.9	2.4
45～49歳	68	11.8	44.1	19.1	7.4	17.6	0.0
50～54歳	60	13.3	41.7	20.0	10.0	11.7	3.3
55～59歳	48	8.3	35.4	18.8	16.7	10.4	10.4
60～64歳	36	13.9	30.6	22.2	16.7	11.1	5.6
65～69歳	47	14.9	34.0	23.4	6.4	12.8	8.5
70～74歳	53	17.0	30.2	28.3	7.5	9.4	7.5
75歳以上	56	16.1	33.9	14.3	7.1	7.1	21.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

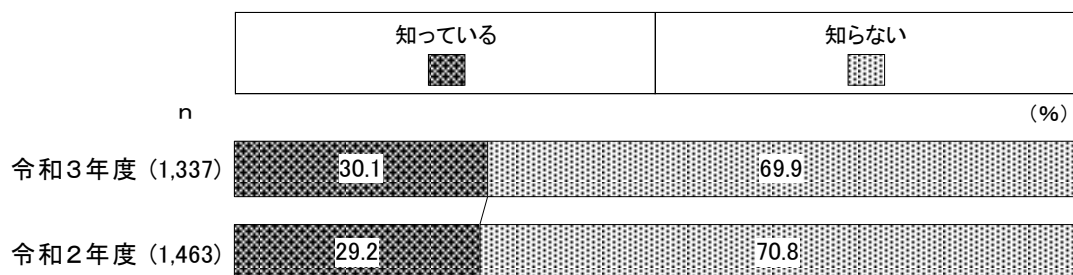
＜女 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	806	16.5	37.7	16.1	13.4	9.7	6.6
18～19歳	10	50.0	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0
20～24歳	17	35.3	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9
25～29歳	36	25.0	44.4	8.3	11.1	11.1	0.0
30～34歳	51	7.8	51.0	11.8	15.7	13.7	0.0
35～39歳	76	10.5	38.2	14.5	23.7	11.8	1.3
40～44歳	83	21.7	41.0	13.3	15.7	7.2	1.2
45～49歳	81	18.5	38.3	14.8	12.3	12.3	3.7
50～54歳	100	12.0	43.0	16.0	15.0	11.0	3.0
55～59歳	76	10.5	36.8	17.1	17.1	10.5	7.9
60～64歳	47	19.1	40.4	10.6	12.8	10.6	6.4
65～69歳	48	10.4	27.1	27.1	16.7	6.3	12.5
70～74歳	82	13.4	34.1	24.4	4.9	11.0	12.2
75歳以上	97	23.7	30.9	18.6	8.2	2.1	16.5
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

問15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス (DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「知らない」が69.9%で、「知っている」(30.1%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－41 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、富岡地区 (35.6%)、小松橋地区 (34.0%)、東陽地区 (33.9%)、南砂地区 (31.8%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－42 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度 (地区別)

	n	知っている (%)	知らない (%)
全 体	1,337	30.1	69.9
白河	125	24.0	76.0
小松橋	97	34.0	66.0
富岡	90	35.6	64.4
東陽	112	33.9	66.1
豊洲	298	29.5	70.5
亀戸	143	29.4	70.6
大島	153	28.8	71.2
砂町	201	29.4	70.6
南砂	110	31.8	68.2
居住地区不詳	8	25.0	75.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（36.0％）の方が男性（21.5％）より14.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、40～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～29歳、40～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－43 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（性年齢別）

＜男 性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全 体	539	21.5	78.5
18～19歳	9	22.2	77.8
20～24歳	13	7.7	92.3
25～29歳	33	27.3	72.7
30～34歳	38	7.9	92.1
35～39歳	43	11.6	88.4
40～44歳	41	26.8	73.2
45～49歳	68	26.5	73.5
50～54歳	60	26.7	73.3
55～59歳	47	19.1	80.9
60～64歳	35	31.4	68.6
65～69歳	46	19.6	80.4
70～74歳	49	20.4	79.6
75歳以上	56	21.4	78.6
年齢不詳	1	0.0	100.0

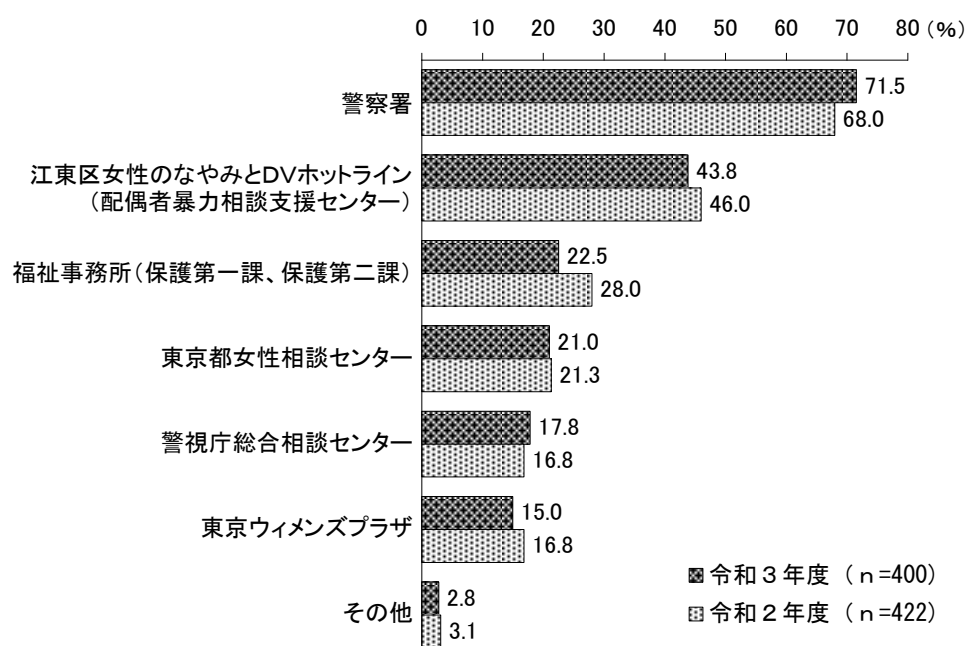
＜女 性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全 体	767	36.0	64.0
18～19歳	10	50.0	50.0
20～24歳	17	29.4	70.6
25～29歳	36	36.1	63.9
30～34歳	51	33.3	66.7
35～39歳	74	25.7	74.3
40～44歳	83	49.4	50.6
45～49歳	82	37.8	62.2
50～54歳	98	40.8	59.2
55～59歳	75	40.0	60.0
60～64歳	42	45.2	54.8
65～69歳	47	42.6	57.4
70～74歳	76	23.7	76.3
75歳以上	74	24.3	75.7
年齢不詳	2	0.0	100.0

問15－1 問15で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
相談できると知っていた窓口(機関)を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が71.5%で最も高く、次いで「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」(43.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「警察署」が3.5ポイント増加、「福祉事務所（保護第一課、保護第二課）」が5.5ポイント減少している。

図表Ⅳ－44 ドメスティックバイオレンスについての相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

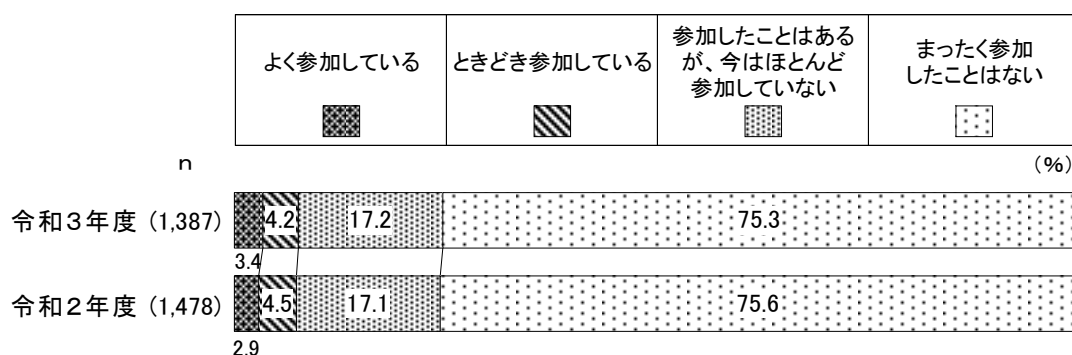
【学習講座や地域の集まりの例】

- ①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、②教養（英会話など）、③芸術、④文化、
⑤教室（料理など）

＜全体／経年比較＞

- ・「まったく参加したことはない」が75.3%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（17.2%）となっている。
- ・「よく参加している」（3.4%）と「ときどき参加している」（4.2%）を合わせた『参加している（計）』の割合は7.6%となっている。
- ・前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－45 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している（計）』の割合は、富岡地区（12.7%）、東陽地区（11.2%）、小松橋地区（10.6%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－46 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（地区別）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	1,387	3.4	4.2	17.2	75.3
白河	130	3.1	3.8	16.2	76.9
小松橋	94	5.3	5.3	17.0	72.3
富岡	94	5.3	7.4	14.9	72.3
東陽	116	5.2	6.0	19.8	69.0
豊洲	302	3.3	3.6	15.6	77.5
亀戸	147	1.4	4.1	17.0	77.6
大島	164	3.0	4.3	18.3	74.4
砂町	210	2.9	2.4	17.1	77.6
南砂	120	2.5	4.2	19.2	74.2
居住地区不詳	10	10.0	0.0	30.0	60.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～39歳、55～59歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では45～49歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－47 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）			
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	549	3.1	3.1	8.2	85.6
18～19歳	9	0.0	11.1	0.0	88.9
20～24歳	14	0.0	7.1	14.3	78.6
25～29歳	33	3.0	0.0	9.1	87.9
30～34歳	38	0.0	7.9	2.6	89.5
35～39歳	44	4.5	2.3	6.8	86.4
40～44歳	41	0.0	2.4	0.0	97.6
45～49歳	67	1.5	3.0	4.5	91.0
50～54歳	60	0.0	0.0	6.7	93.3
55～59歳	48	4.2	2.1	10.4	83.3
60～64歳	36	2.8	0.0	5.6	91.7
65～69歳	46	8.7	2.2	13.0	76.1
70～74歳	54	3.7	3.7	7.4	85.2
75歳以上	58	6.9	6.9	19.0	67.2
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

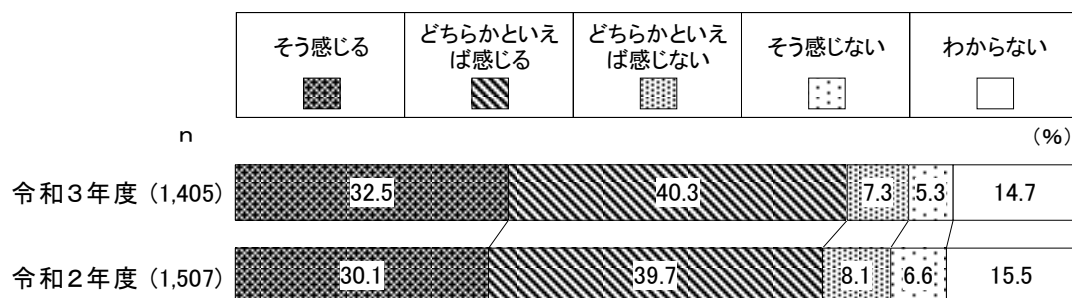
＜女 性＞		（％）			
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全 体	800	3.6	5.0	22.6	68.8
18～19歳	10	0.0	0.0	40.0	60.0
20～24歳	17	5.9	0.0	11.8	82.4
25～29歳	36	0.0	5.6	13.9	80.6
30～34歳	51	2.0	0.0	2.0	96.1
35～39歳	75	0.0	2.7	18.7	78.7
40～44歳	83	0.0	2.4	10.8	86.7
45～49歳	81	4.9	4.9	18.5	71.6
50～54歳	101	2.0	3.0	25.7	69.3
55～59歳	75	4.0	0.0	24.0	72.0
60～64歳	45	4.4	8.9	22.2	64.4
65～69歳	48	6.3	6.3	31.3	56.3
70～74歳	82	6.1	9.8	37.8	46.3
75歳以上	94	8.5	12.8	31.9	46.8
年齢不詳	2	0.0	0.0	50.0	50.0

問17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえば感じる」が40.3%で最も高く、次いで「そう感じる」(32.5%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう感じる(計)』の割合は72.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－48 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、大島地区(77.3%)、東陽地区(75.8%)、豊洲地区(75.8%)、南砂地区(75.4%)、砂町地区(73.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－49 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合(地区別)

	n	そう感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全 体	1,405	32.5	40.3	7.3	5.3	14.7
白河	132	33.3	37.9	7.6	6.1	15.2
小松橋	98	29.6	37.8	9.2	6.1	17.3
富岡	94	33.0	39.4	7.4	4.3	16.0
東陽	120	33.3	42.5	3.3	3.3	17.5
豊洲	306	30.7	45.1	5.9	5.9	12.4
亀戸	151	28.5	31.8	15.2	8.6	15.9
大島	163	35.6	41.7	4.3	2.5	16.0
砂町	214	30.8	43.0	7.5	5.6	13.1
南砂	118	39.0	36.4	5.9	3.4	15.3
居住地区不詳	9	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では20～24歳、30～49歳、60～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～39歳、45～54歳、60～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－50 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）				
	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全 体	555	34.2	36.9	7.0	6.5	15.3
18～19歳	9	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2
20～24歳	14	50.0	35.7	7.1	7.1	0.0
25～29歳	33	36.4	27.3	9.1	6.1	21.2
30～34歳	38	39.5	34.2	10.5	5.3	10.5
35～39歳	44	40.9	34.1	6.8	4.5	13.6
40～44歳	42	42.9	31.0	11.9	2.4	11.9
45～49歳	68	25.0	51.5	8.8	7.4	7.4
50～54歳	60	33.3	36.7	1.7	10.0	18.3
55～59歳	48	31.3	35.4	10.4	4.2	18.8
60～64歳	36	25.0	50.0	5.6	2.8	16.7
65～69歳	47	27.7	44.7	6.4	6.4	14.9
70～74歳	54	25.9	29.6	3.7	20.4	20.4
75歳以上	61	47.5	27.9	4.9	0.0	19.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女 性＞		（％）				
	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全 体	809	31.1	42.4	7.2	4.6	14.7
18～19歳	10	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	47.1	29.4	0.0	11.8	11.8
25～29歳	36	41.7	33.3	5.6	8.3	11.1
30～34歳	51	23.5	39.2	9.8	5.9	21.6
35～39歳	76	36.8	40.8	3.9	1.3	17.1
40～44歳	83	30.1	43.4	6.0	6.0	14.5
45～49歳	82	35.4	40.2	7.3	4.9	12.2
50～54歳	101	20.8	54.5	6.9	4.0	13.9
55～59歳	76	21.1	51.3	13.2	5.3	9.2
60～64歳	48	31.3	43.8	8.3	6.3	10.4
65～69歳	48	27.1	47.9	6.3	4.2	14.6
70～74歳	83	36.1	39.8	9.6	4.8	9.6
75歳以上	96	33.3	32.3	5.2	2.1	27.1
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

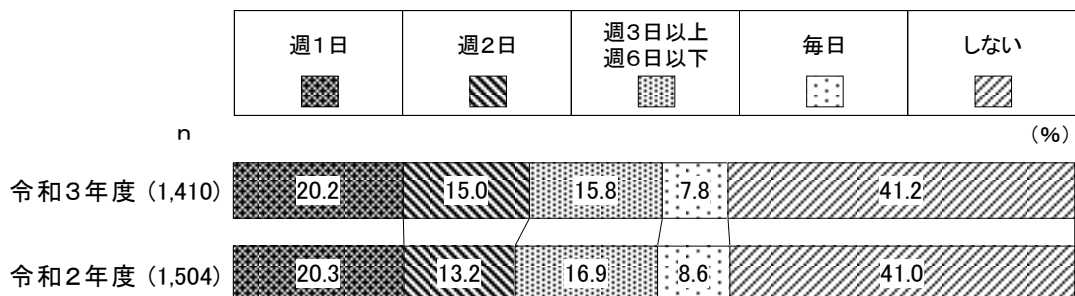
【スポーツを楽しめる環境の充実】

問18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「しない」が41.2%で最も高く、次いで「週1日」(20.2%)となっている。
- ・「しない」(41.2%)を除いた『週1日以上』スポーツ・運動を行う人の割合は58.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-51 スポーツ・運動の頻度



① 地区別

- ・地区別では、『週1日以上』の割合は、富岡地区(67.3%)、南砂地区(65.8%)、豊洲地区(62.6%)、小松橋地区(61.2%)、白河地区(60.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-52 スポーツ・運動の頻度(地区別)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	1,410	20.2	15.0	15.8	7.8	41.2
白河	133	22.6	15.8	19.5	3.0	39.1
小松橋	98	20.4	20.4	15.3	5.1	38.8
富岡	95	20.0	14.7	26.3	6.3	32.6
東陽	120	21.7	15.0	15.0	5.8	42.5
豊洲	305	25.2	14.1	14.1	9.2	37.4
亀戸	150	17.3	16.0	11.3	10.0	45.3
大島	166	16.3	14.5	16.3	10.8	42.2
砂町	213	15.0	11.3	14.1	8.5	51.2
南砂	120	23.3	16.7	18.3	7.5	34.2
居住地区不詳	10	0.0	30.0	0.0	0.0	70.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『週1日以上』の割合は、男性（63.1%）の方が女性（55.5%）より7.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『週1日以上』の割合は、男性では20～29歳、40～44歳、55～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、45～49歳、55歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－53 スポーツ・運動の頻度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	553	23.1	15.0	17.9	7.1	36.9
18～19歳	9	22.2	11.1	11.1	11.1	44.4
20～24歳	14	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6
25～29歳	33	36.4	9.1	24.2	6.1	24.2
30～34歳	38	15.8	18.4	15.8	0.0	50.0
35～39歳	45	31.1	13.3	11.1	0.0	44.4
40～44歳	42	28.6	4.8	26.2	7.1	33.3
45～49歳	68	26.5	13.2	19.1	1.5	39.7
50～54歳	60	25.0	15.0	15.0	1.7	43.3
55～59歳	48	29.2	14.6	14.6	12.5	29.2
60～64歳	36	27.8	11.1	13.9	13.9	33.3
65～69歳	47	12.8	27.7	8.5	14.9	36.2
70～74歳	54	13.0	14.8	22.2	13.0	37.0
75歳以上	58	10.3	20.7	27.6	10.3	31.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	週1日	週2日	週3日以上 週6日以下	毎日	しない
全 体	816	17.8	15.1	14.3	8.3	44.5
18～19歳	10	30.0	30.0	0.0	0.0	40.0
20～24歳	17	11.8	5.9	0.0	11.8	70.6
25～29歳	36	19.4	19.4	5.6	11.1	44.4
30～34歳	50	18.0	8.0	4.0	6.0	64.0
35～39歳	76	23.7	17.1	9.2	5.3	44.7
40～44歳	83	19.3	10.8	13.3	8.4	48.2
45～49歳	82	22.0	12.2	20.7	1.2	43.9
50～54歳	101	20.8	11.9	10.9	5.9	50.5
55～59歳	76	17.1	13.2	21.1	6.6	42.1
60～64歳	48	16.7	18.8	12.5	10.4	41.7
65～69歳	49	14.3	28.6	16.3	2.0	38.8
70～74歳	85	11.8	18.8	23.5	14.1	31.8
75歳以上	101	12.9	14.9	16.8	17.8	37.6
年齢不詳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

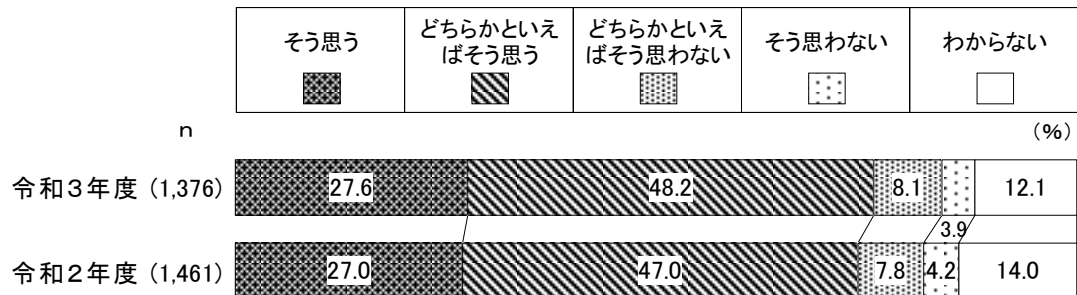
【文化・歴史の継承と観光振興】

問19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が48.2%で最も高く、次いで「そう思う」(27.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は75.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－54 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(88.7%)、東陽地区(81.2%)、白河地区(80.9%)、富岡地区(80.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－55 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,376	27.6	48.2	8.1	3.9	12.1
白河	131	35.1	45.8	6.1	0.8	12.2
小松橋	97	36.1	52.6	4.1	1.0	6.2
富岡	94	35.1	45.7	8.5	2.1	8.5
東陽	117	32.5	48.7	6.0	4.3	8.5
豊洲	300	23.7	49.0	10.7	5.7	11.0
亀戸	149	24.8	47.0	6.7	6.0	15.4
大島	155	29.0	45.2	7.7	3.2	14.8
砂町	208	20.2	53.8	10.6	3.4	12.0
南砂	117	25.6	42.7	7.7	5.1	18.8
居住地区不詳	8	37.5	37.5	0.0	12.5	12.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（80.0％）の方が男性（70.3％）より9.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～24歳、35～44歳、55～59歳、65～69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～54歳、60～64歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－56 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	545	28.3	42.0	11.2	6.6	11.9
18～19歳	9	22.2	33.3	0.0	0.0	44.4
20～24歳	14	42.9	28.6	14.3	7.1	7.1
25～29歳	33	36.4	30.3	12.1	12.1	9.1
30～34歳	38	34.2	34.2	0.0	7.9	23.7
35～39歳	42	31.0	40.5	7.1	9.5	11.9
40～44歳	41	29.3	43.9	9.8	7.3	9.8
45～49歳	68	29.4	38.2	23.5	5.9	2.9
50～54歳	60	21.7	40.0	11.7	8.3	18.3
55～59歳	48	16.7	58.3	14.6	4.2	6.3
60～64歳	34	14.7	52.9	11.8	2.9	17.6
65～69歳	46	30.4	41.3	10.9	4.3	13.0
70～74歳	53	28.3	41.5	9.4	13.2	7.5
75歳以上	58	36.2	46.6	6.9	0.0	10.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

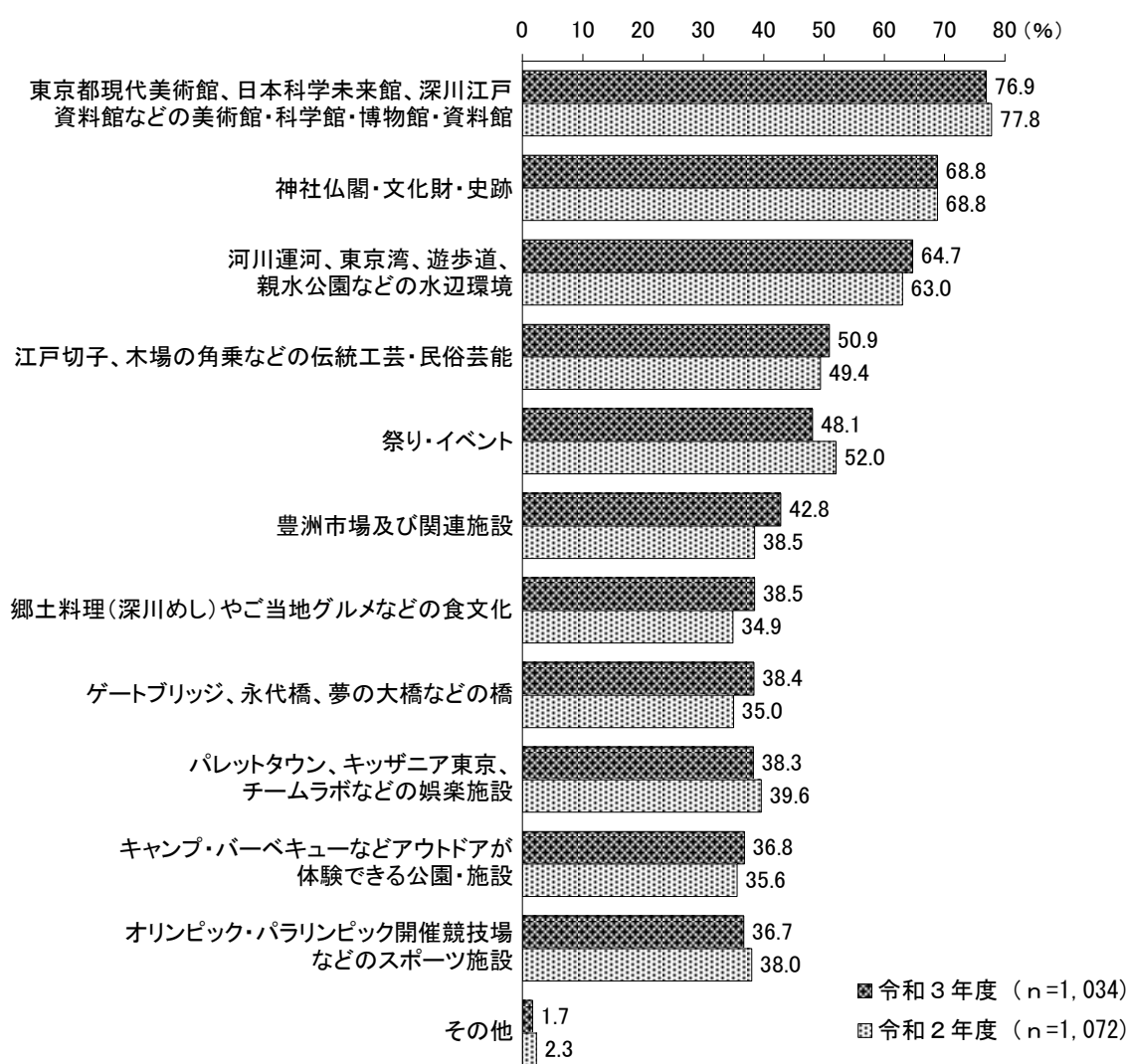
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	794	27.5	52.5	6.0	2.0	12.0
18～19歳	10	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0
20～24歳	17	41.2	35.3	5.9	5.9	11.8
25～29歳	35	22.9	48.6	5.7	5.7	17.1
30～34歳	50	18.0	60.0	6.0	6.0	10.0
35～39歳	75	26.7	50.7	8.0	1.3	13.3
40～44歳	83	24.1	56.6	8.4	3.6	7.2
45～49歳	81	42.0	40.7	4.9	1.2	11.1
50～54歳	99	30.3	54.5	6.1	1.0	8.1
55～59歳	76	22.4	56.6	13.2	0.0	7.9
60～64歳	46	19.6	63.0	2.2	0.0	15.2
65～69歳	47	19.1	55.3	8.5	2.1	14.9
70～74歳	80	28.8	52.5	3.8	3.8	11.3
75歳以上	93	28.0	50.5	1.1	0.0	20.4
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

問19ー1 問19で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。
あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が76.9%で最も高く、次いで「神社仏閣・文化財・史跡」(68.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「豊洲市場及び関連施設」が4.3ポイント、「郷土料理(深川めし)やご当地グルメなどの食文化」が3.6ポイント、「ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋」が3.4ポイント増加、「祭り・イベント」が3.9ポイント減少している。

図表Ⅳ－57 魅力的だと思う文化観光資源



【切れ目のない支援による母子保健の充実】

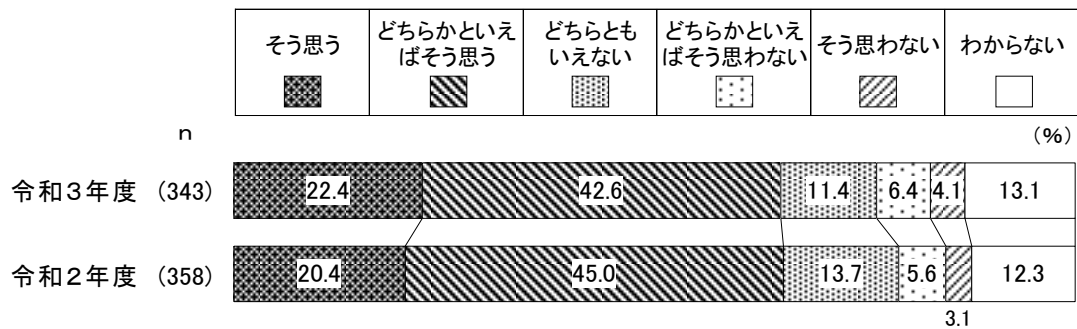
問20 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が42.6%で最も高く、次いで「そう思う」(22.4%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は65.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－58 母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



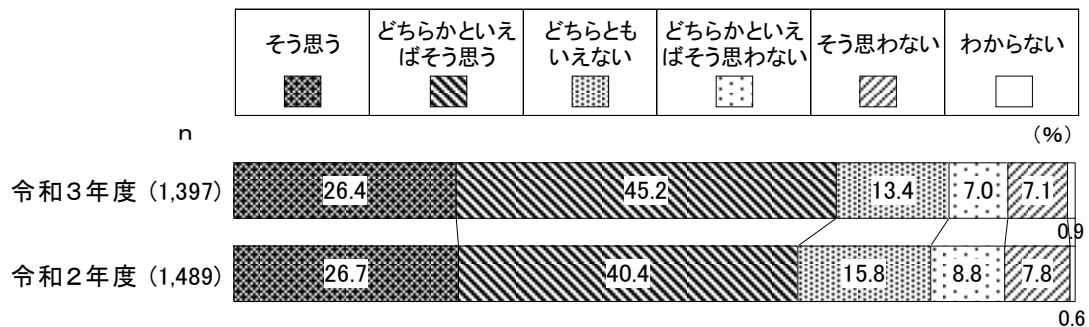
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が45.2%で最も高く、次いで「そう思う」(26.4%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は71.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.5ポイント増加している。

図表Ⅳ－59 自分が健康である認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(77.9%)、小松橋地区(76.3%)、白河地区(76.0%)、富岡地区(74.2%)、豊洲地区(74.2%)、南砂地区(74.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－60 自分が健康である認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,397	26.4	45.2	13.4	7.0	7.1	0.9
白河	129	31.0	45.0	13.2	7.0	3.1	0.8
小松橋	97	25.8	50.5	10.3	8.2	4.1	1.0
富岡	93	34.4	39.8	11.8	3.2	8.6	2.2
東陽	118	23.7	54.2	11.9	4.2	5.1	0.8
豊洲	306	28.1	46.1	13.4	4.2	7.8	0.3
亀戸	148	23.0	45.9	10.1	10.8	9.5	0.7
大島	163	23.3	42.9	16.6	9.8	7.4	0.0
砂町	212	21.2	43.4	16.5	9.0	8.5	1.4
南砂	120	31.7	42.5	11.7	7.5	5.8	0.8
居住地区不詳	11	27.3	18.2	27.3	0.0	18.2	9.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－61 自分が健康である認識（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	551	27.6	43.7	12.0	7.6	8.0	1.1
18～19歳	9	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	14	50.0	42.9	7.1	0.0	0.0	0.0
25～29歳	33	27.3	45.5	18.2	3.0	6.1	0.0
30～34歳	38	28.9	44.7	7.9	13.2	5.3	0.0
35～39歳	46	34.8	37.0	8.7	13.0	2.2	4.3
40～44歳	42	38.1	35.7	14.3	4.8	7.1	0.0
45～49歳	68	26.5	48.5	10.3	7.4	7.4	0.0
50～54歳	58	25.9	56.9	8.6	5.2	3.4	0.0
55～59歳	47	25.5	51.1	6.4	14.9	0.0	2.1
60～64歳	34	14.7	41.2	17.6	8.8	14.7	2.9
65～69歳	49	10.2	46.9	20.4	6.1	16.3	0.0
70～74歳	52	26.9	40.4	9.6	9.6	11.5	1.9
75歳以上	60	30.0	31.7	16.7	3.3	16.7	1.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

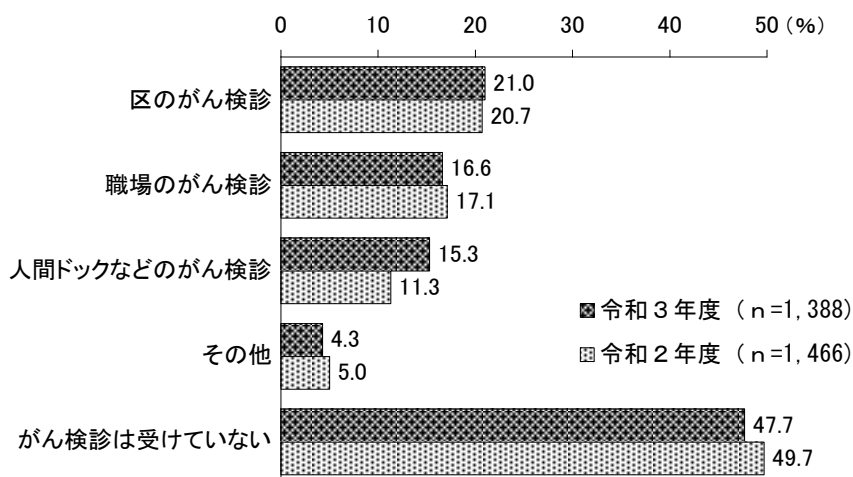
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	808	25.9	46.9	14.0	6.6	5.9	0.7
18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	41.2	47.1	5.9	5.9	0.0	0.0
25～29歳	36	41.7	47.2	5.6	2.8	2.8	0.0
30～34歳	51	43.1	33.3	13.7	7.8	2.0	0.0
35～39歳	75	24.0	53.3	12.0	6.7	4.0	0.0
40～44歳	83	22.9	51.8	14.5	6.0	3.6	1.2
45～49歳	81	32.1	49.4	7.4	6.2	4.9	0.0
50～54歳	100	18.0	56.0	12.0	7.0	7.0	0.0
55～59歳	76	14.5	51.3	15.8	10.5	6.6	1.3
60～64歳	48	31.3	31.3	14.6	10.4	8.3	4.2
65～69歳	50	16.0	46.0	16.0	6.0	14.0	2.0
70～74歳	84	26.2	41.7	21.4	3.6	7.1	0.0
75歳以上	95	18.9	46.3	20.0	6.3	7.4	1.1
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問22 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「がん検診は受けていない」が47.7%で最も高く、次いで「区のがん検診」(21.0%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「人間ドックなどのがん検診」が4.0ポイント増加している。

図表Ⅳ－62 がん検診を受けた区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「がん検診は受けていない」となっている。2位は、白河地区では「職場のがん検診」、東陽地区では「人間ドックなどのがん検診」、それ以外の地区では「区のがん検診」となっている。

図表Ⅳ－63 がん検診を受けた区民の割合（地区別）

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	1,388	21.0	16.6	15.3	4.3	47.7
白河	128	14.1	22.7	14.8	3.1	47.7
小松橋	96	26.0	14.6	17.7	6.3	41.7
富岡	93	20.4	19.4	16.1	1.1	47.3
東陽	117	17.9	12.0	19.7	4.3	50.4
豊洲	302	22.5	16.9	18.9	6.3	41.4
亀戸	150	23.3	14.0	12.7	2.0	53.3
大島	165	19.4	14.5	13.3	3.0	53.3
砂町	207	18.4	17.4	13.5	4.3	51.7
南砂	119	27.7	17.6	10.1	5.0	44.5
居住地区不詳	11	27.3	18.2	0.0	9.1	45.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合（n－がん検診は受けていない／n）は、女性（58.4%）の方が男性（43.5%）より14.9ポイント高くなっている。
- ・何らかのがん検診を受けた区民の内、男性では「人間ドックなどのがん検診」が18.0%で最も高く、女性では「区のがん検診」が27.4%で最も高くなっている。
- ・年齢別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合は、男性では50歳以上で男性全体を上回っている。女性では30～34歳、40～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－64 がん検診を受けた区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	543	11.6	15.7	18.0	2.6	56.5
18～19歳	9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	14	7.1	7.1	0.0	0.0	85.7
25～29歳	32	0.0	6.3	3.1	0.0	90.6
30～34歳	38	0.0	0.0	10.5	0.0	89.5
35～39歳	45	0.0	17.8	6.7	0.0	75.6
40～44歳	42	4.8	16.7	16.7	0.0	61.9
45～49歳	68	1.5	27.9	13.2	0.0	64.7
50～54歳	58	8.6	22.4	25.9	1.7	43.1
55～59歳	46	6.5	39.1	21.7	2.2	37.0
60～64歳	32	15.6	18.8	34.4	3.1	40.6
65～69歳	48	18.8	14.6	35.4	6.3	35.4
70～74歳	51	23.5	7.8	21.6	5.9	47.1
75歳以上	59	40.7	0.0	16.9	8.5	39.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

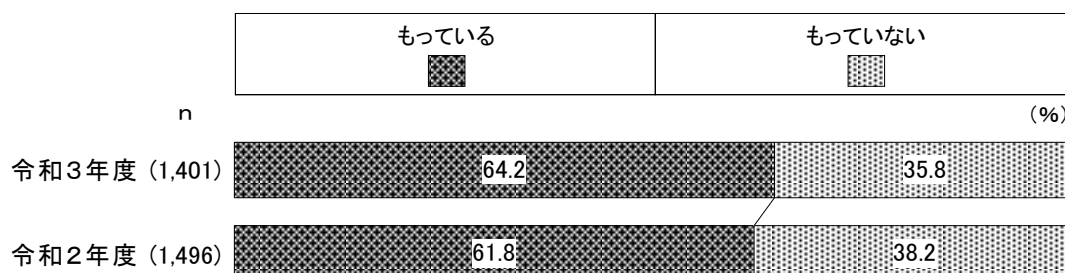
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全 体	806	27.4	17.6	13.6	5.1	41.6
18～19歳	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	17	23.5	0.0	0.0	5.9	70.6
25～29歳	36	19.4	25.0	0.0	5.6	52.8
30～34歳	50	26.0	22.0	10.0	6.0	40.0
35～39歳	75	22.7	21.3	14.7	5.3	42.7
40～44歳	83	19.3	25.3	22.9	1.2	37.3
45～49歳	81	21.0	25.9	19.8	4.9	33.3
50～54歳	100	17.0	38.0	13.0	3.0	33.0
55～59歳	76	25.0	15.8	26.3	3.9	36.8
60～64歳	47	36.2	8.5	25.5	12.8	25.5
65～69歳	50	36.0	14.0	6.0	2.0	46.0
70～74歳	85	44.7	1.2	8.2	7.1	44.7
75歳以上	94	40.4	1.1	4.3	7.4	52.1
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

問23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

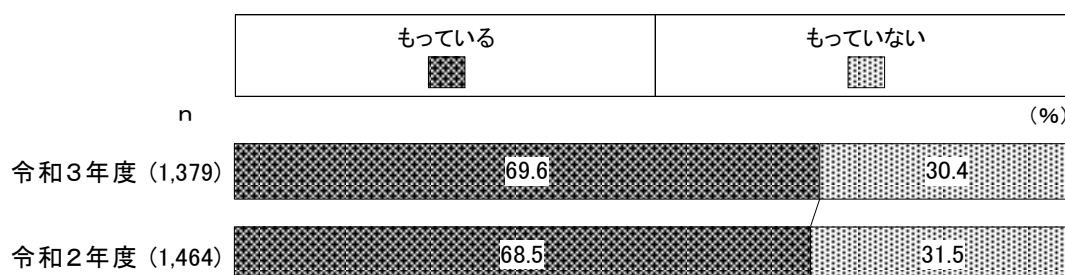
<全体／経年比較>

- ・「もっている」の割合でみると、“かかりつけ歯科医”が69.6%で最も高く、次いで“かかりつけ医”（64.2%）、“かかりつけ薬局”（55.9%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

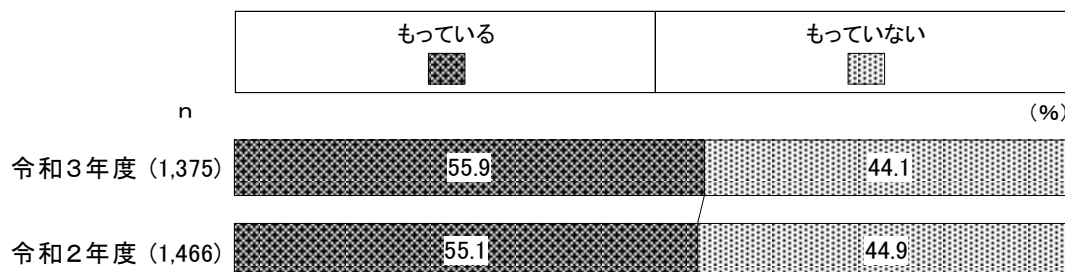
図表Ⅳ－65 かかりつけ医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－66 かかりつけ歯科医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－67 かかりつけ薬局を持っている区民の割合



① 地区別

- ・地区別でみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、砂町地区（69.7％）が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、東陽地区（76.5％）が最も高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、大島地区（63.4％）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－68 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（地区別）

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	1,401	64.2	35.8	1,379	69.6	30.4	1,375	55.9	44.1
白河	131	58.8	41.2	130	74.6	25.4	129	48.1	51.9
小松橋	97	67.0	33.0	95	71.6	28.4	93	52.7	47.3
富岡	92	60.9	39.1	93	67.7	32.3	90	53.3	46.7
東陽	119	63.9	36.1	119	76.5	23.5	119	60.5	39.5
豊洲	303	58.4	41.6	302	65.9	34.1	301	51.5	48.5
亀戸	150	65.3	34.7	146	74.0	26.0	146	51.4	48.6
大島	166	69.3	30.7	161	65.8	34.2	164	63.4	36.6
砂町	211	69.7	30.3	206	68.4	31.6	205	60.0	40.0
南砂	122	66.4	33.6	116	67.2	32.8	119	61.3	38.7
居住地区不詳	10	70.0	30.0	11	81.8	18.2	9	77.8	22.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、女性（66.8％）の方が男性（58.6％）より8.2ポイント高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、女性（72.9％）の方が男性（63.9％）より9.0ポイント高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、女性（61.9％）の方が男性（45.5％）より16.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男女ともに“かかりつけ医”“かかりつけ歯科医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高くなっている。

図表Ⅳ－69 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	551	58.6	41.4	540	63.9	36.1	539	45.5	54.5
18～19歳	9	66.7	33.3	9	55.6	44.4	9	66.7	33.3
20～24歳	14	71.4	28.6	14	42.9	57.1	14	50.0	50.0
25～29歳	33	45.5	54.5	33	51.5	48.5	33	30.3	69.7
30～34歳	38	34.2	65.8	38	42.1	57.9	38	28.9	71.1
35～39歳	45	28.9	71.1	46	60.9	39.1	44	31.8	68.2
40～44歳	42	31.0	69.0	41	56.1	43.9	42	28.6	71.4
45～49歳	68	39.7	60.3	67	56.7	43.3	68	30.9	69.1
50～54歳	58	51.7	48.3	58	56.9	43.1	58	31.0	69.0
55～59歳	47	66.0	34.0	46	71.7	28.3	47	44.7	55.3
60～64歳	35	60.0	40.0	35	57.1	42.9	35	40.0	60.0
65～69歳	49	81.6	18.4	49	83.7	16.3	48	58.3	41.7
70～74歳	52	90.4	9.6	52	71.2	28.8	50	76.0	24.0
75歳以上	60	95.0	5.0	51	94.1	5.9	52	86.5	13.5
年齢不詳	1	0.0	100.0	1	0.0	100.0	1	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全 体	810	66.8	33.2	801	72.9	27.1	800	61.9	38.1
18～19歳	10	40.0	60.0	10	70.0	30.0	10	10.0	90.0
20～24歳	17	64.7	35.3	17	23.5	76.5	17	52.9	47.1
25～29歳	36	41.7	58.3	36	38.9	61.1	36	33.3	66.7
30～34歳	51	45.1	54.9	51	60.8	39.2	51	43.1	56.9
35～39歳	75	54.7	45.3	75	80.0	20.0	75	62.7	37.3
40～44歳	83	50.6	49.4	83	72.3	27.7	83	54.2	45.8
45～49歳	81	61.7	38.3	82	69.5	30.5	82	58.5	41.5
50～54歳	99	70.7	29.3	100	74.0	26.0	96	61.5	38.5
55～59歳	76	63.2	36.8	76	65.8	34.2	76	48.7	51.3
60～64歳	48	77.1	22.9	48	81.3	18.8	48	68.8	31.3
65～69歳	50	72.0	28.0	50	84.0	16.0	50	66.0	34.0
70～74歳	84	82.1	17.9	79	78.5	21.5	81	76.5	23.5
75歳以上	98	94.9	5.1	93	90.3	9.7	94	91.5	8.5
年齢不詳	2	100.0	0.0	1	0.0	100.0	1	100.0	0.0

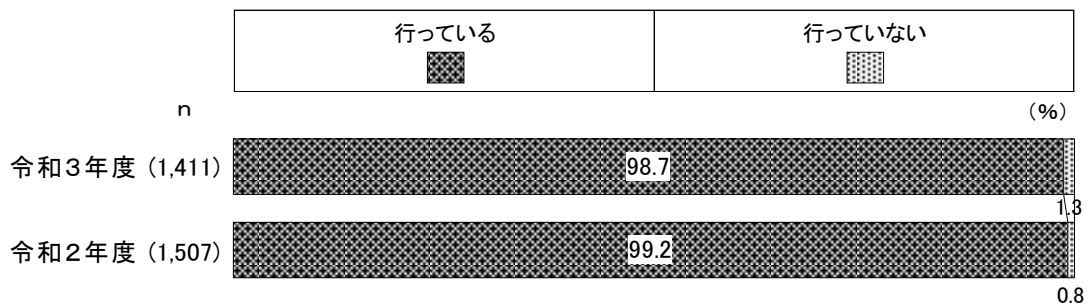
【感染症対策と生活衛生の確保】

問24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。
それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つずつ）
※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

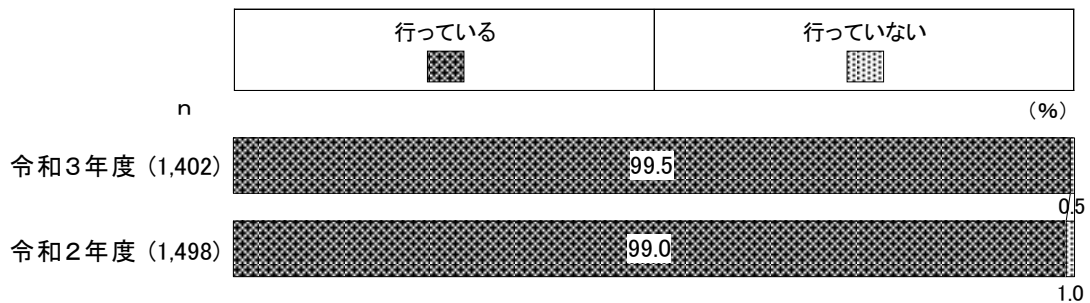
＜全体／経年比較＞

- ・「行っている」の割合でみると、“咳エチケット”が99.5%、“手洗い”が98.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－70 手洗いの励行状況



図表Ⅳ－71 咳エチケットの励行状況



① 地区別

- ・地区別でみると、“手洗い”を行っている割合は、富岡地区（100.0％）が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、東陽地区（100.0％）と亀戸地区（100.0％）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－72 手洗い、咳エチケットの励行状況（地区別）

	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	1,411	98.7	1.3	1,402	99.5	0.5
白河	131	97.7	2.3	131	99.2	0.8
小松橋	97	99.0	1.0	95	98.9	1.1
富岡	94	100.0	0.0	94	98.9	1.1
東陽	119	97.5	2.5	119	100.0	0.0
豊洲	306	99.7	0.3	304	99.7	0.3
亀戸	151	97.4	2.6	150	100.0	0.0
大島	166	98.8	1.2	166	99.4	0.6
砂町	213	98.1	1.9	211	99.5	0.5
南砂	123	99.2	0.8	122	99.2	0.8
居住地区不詳	11	100.0	0.0	10	100.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“手洗い”及び“咳エチケット”を行っている割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、男性では“手洗い”を行っている割合は、18～19歳、30～39歳、45～49歳、65～69歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～39歳、45～49歳、75歳以上が最も高くなっている。女性では“手洗い”を行っている割合は、18～19歳、30～74歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～74歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－73 手洗い、咳エチケットの励行状況（性年齢別）

＜男 性＞		(%)				
	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	554	97.3	2.7	550	98.9	1.1
18～19歳	9	100.0	0.0	9	100.0	0.0
20～24歳	14	92.9	7.1	14	100.0	0.0
25～29歳	33	93.9	6.1	33	100.0	0.0
30～34歳	38	100.0	0.0	38	100.0	0.0
35～39歳	46	100.0	0.0	46	100.0	0.0
40～44歳	42	95.2	4.8	42	97.6	2.4
45～49歳	68	100.0	0.0	68	100.0	0.0
50～54歳	58	96.6	3.4	58	98.3	1.7
55～59歳	47	97.9	2.1	47	97.9	2.1
60～64歳	35	94.3	5.7	35	97.1	2.9
65～69歳	49	100.0	0.0	49	98.0	2.0
70～74歳	53	96.2	3.8	52	98.1	1.9
75歳以上	61	95.1	4.9	58	100.0	0.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

＜女 性＞		(%)				
	n	手洗い		n	咳エチケット	
		行っている	行っていない		行っている	行っていない
全 体	816	99.5	0.5	814	99.9	0.1
18～19歳	10	100.0	0.0	10	100.0	0.0
20～24歳	17	88.2	11.8	17	100.0	0.0
25～29歳	36	97.2	2.8	36	100.0	0.0
30～34歳	51	100.0	0.0	51	100.0	0.0
35～39歳	76	100.0	0.0	76	100.0	0.0
40～44歳	83	100.0	0.0	83	100.0	0.0
45～49歳	82	100.0	0.0	82	100.0	0.0
50～54歳	101	100.0	0.0	101	100.0	0.0
55～59歳	76	100.0	0.0	76	100.0	0.0
60～64歳	48	100.0	0.0	48	100.0	0.0
65～69歳	50	100.0	0.0	50	100.0	0.0
70～74歳	85	100.0	0.0	84	100.0	0.0
75歳以上	99	99.0	1.0	98	99.0	1.0
年齢不詳	2	100.0	0.0	2	100.0	0.0

【高齢者支援と活躍の推進】

問25 65歳以上の方におたずねします。

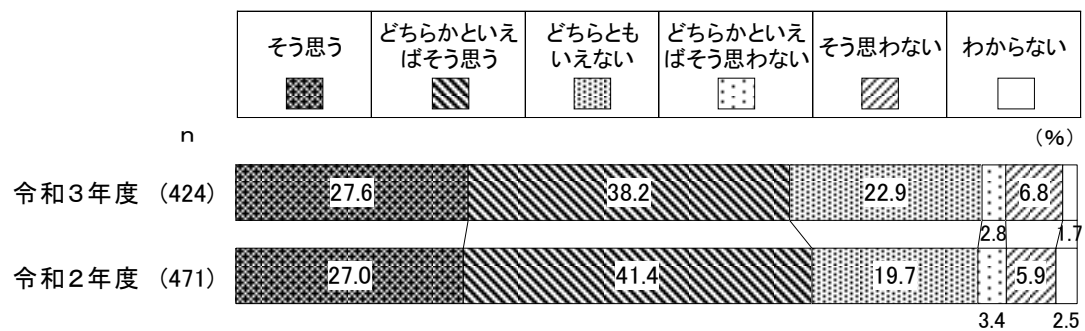
あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。

あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が38.2%で最も高く、次いで「そう思う」(27.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は65.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－74 生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識



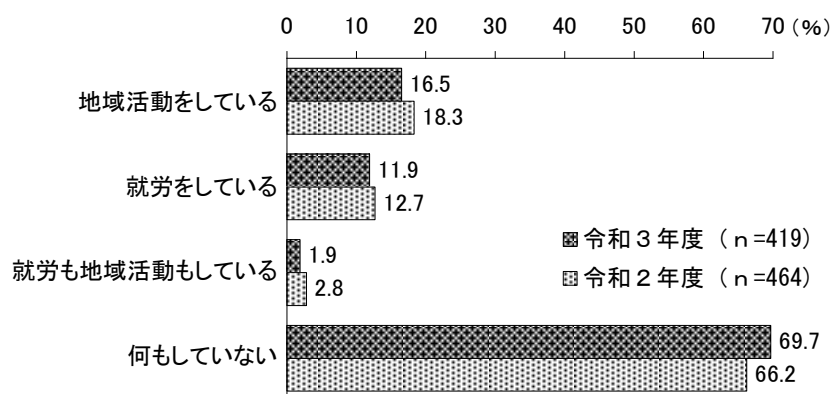
問26 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「何もしていない」が69.7%で最も高く、次いで「地域活動をしている」(16.5%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「何もしていない」が3.5ポイント増加している。

図表Ⅳ－75 地域活動や就労を行っている 65 歳以上の区民の割合

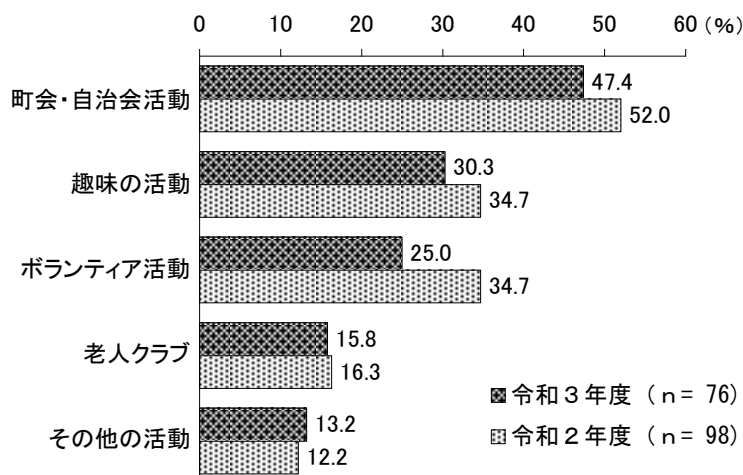


問26－1 問26で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
 (○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「町会・自治会活動」が47.4%で最も高く、次いで「趣味の活動」(30.3%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ボランティア活動」が9.7ポイント、「町会・自治会活動」が4.6ポイント、「趣味の活動」が4.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－76 具体的な活動

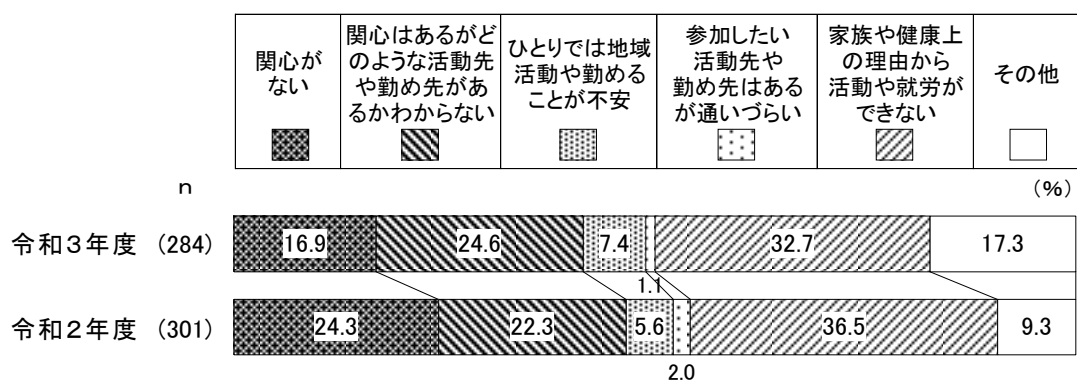


問26－2 問26で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。
地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が32.7%で最も高く、次いで「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」(24.6%)、「関心がない」(16.9%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「関心がない」が7.4ポイント、「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が3.8ポイント減少している。

図表Ⅳ－77 地域活動や就労を行っていない理由

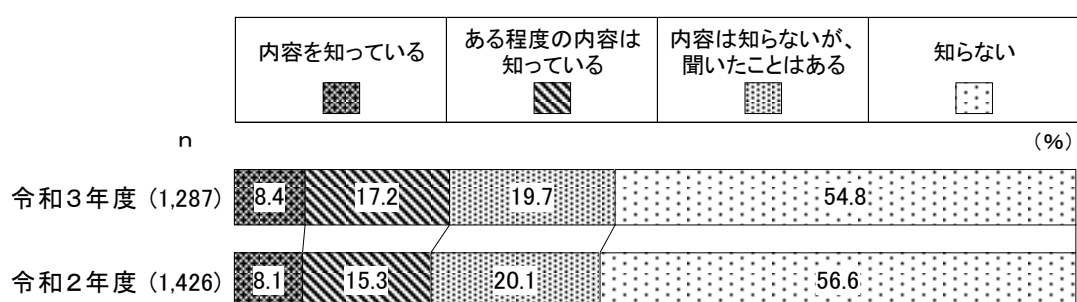


問27 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「知らない」が54.8%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」（19.7%）となっている。
- ・「内容を知っている」（8.4%）と「ある程度の内容は知っている」（17.2%）を合わせた『内容を知っている（計）』の割合は25.6%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－78 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度



① 地区別

- ・地区別では、『内容を知っている（計）』の割合は、砂町地区（32.3%）、小松橋地区（32.1%）、南砂地区（27.1%）、亀戸地区（26.5%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－79 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（地区別）

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	1,287	8.4	17.2	19.7	54.8
白河	118	5.9	16.9	18.6	58.5
小松橋	87	10.3	21.8	14.9	52.9
富岡	92	8.7	13.0	19.6	58.7
東陽	111	7.2	15.3	25.2	52.3
豊洲	275	6.9	14.2	17.1	61.8
亀戸	136	10.3	16.2	22.1	51.5
大島	153	5.9	19.6	19.0	55.6
砂町	198	12.1	20.2	21.7	46.0
南砂	107	9.3	17.8	19.6	53.3
居住地区不詳	10	0.0	30.0	20.0	50.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、女性（28.9％）の方が男性（18.8％）より10.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、男性では60歳以上で男性全体を上回っている。女性でも60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－80 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	515	6.0	12.8	17.9	63.3
18～19歳	9	0.0	11.1	22.2	66.7
20～24歳	13	7.7	7.7	0.0	84.6
25～29歳	32	0.0	12.5	12.5	75.0
30～34歳	36	0.0	5.6	16.7	77.8
35～39歳	41	4.9	0.0	7.3	87.8
40～44歳	33	0.0	3.0	15.2	81.8
45～49歳	59	1.7	11.9	15.3	71.2
50～54歳	56	5.4	12.5	8.9	73.2
55～59歳	45	6.7	6.7	20.0	66.7
60～64歳	31	6.5	16.1	19.4	58.1
65～69歳	49	8.2	14.3	24.5	53.1
70～74歳	51	9.8	13.7	33.3	43.1
75歳以上	59	16.9	35.6	23.7	23.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

<女 性>

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全 体	732	10.0	18.9	21.0	50.1
18～19歳	9	11.1	11.1	22.2	55.6
20～24歳	14	0.0	7.1	28.6	64.3
25～29歳	30	3.3	3.3	10.0	83.3
30～34歳	45	4.4	6.7	6.7	82.2
35～39歳	63	3.2	11.1	17.5	68.3
40～44歳	72	9.7	11.1	11.1	68.1
45～49歳	65	9.2	12.3	15.4	63.1
50～54歳	85	8.2	15.3	22.4	54.1
55～59歳	71	11.3	14.1	22.5	52.1
60～64歳	45	11.1	26.7	28.9	33.3
65～69歳	48	8.3	22.9	37.5	31.3
70～74歳	80	10.0	30.0	26.3	33.8
75歳以上	103	21.4	36.9	24.3	17.5
年齢不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0

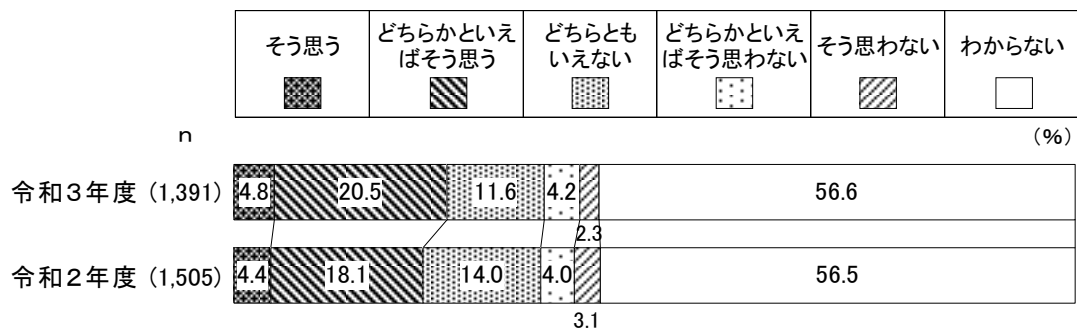
【障害者支援と共生社会の実現】

問28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が56.6%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(20.5%)となっている。
- ・「そう思う」(4.8%)と「どちらかといえばそう思う」(20.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は25.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－81 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(31.2%)、東陽地区(30.5%)、白河地区(29.2%)、砂町地区(27.9%)、富岡地区(26.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－82 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,391	4.8	20.5	11.6	4.2	2.3	56.6
白河	130	3.8	25.4	10.0	3.1	0.8	56.9
小松橋	96	8.3	22.9	13.5	3.1	2.1	50.0
富岡	96	5.2	20.8	10.4	4.2	2.1	57.3
東陽	118	3.4	27.1	11.9	2.5	1.7	53.4
豊洲	302	4.3	16.6	11.9	3.3	1.7	62.3
亀戸	146	5.5	15.1	13.0	5.5	3.4	57.5
大島	162	3.7	19.1	9.9	4.3	3.7	59.3
砂町	211	6.6	21.3	12.3	5.2	3.3	51.2
南砂	119	2.5	21.0	11.8	7.6	1.7	55.5
居住地区不詳	11	9.1	45.5	0.0	0.0	0.0	45.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、40～49歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、40～44歳、50～54歳、60～64歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－83 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	546	4.4	20.1	13.0	4.0	3.5	54.9
18～19歳	9	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	55.6
20～24歳	13	0.0	23.1	7.7	7.7	7.7	53.8
25～29歳	33	3.0	27.3	6.1	0.0	6.1	57.6
30～34歳	38	0.0	13.2	21.1	2.6	0.0	63.2
35～39歳	46	2.2	17.4	4.3	0.0	0.0	76.1
40～44歳	40	12.5	20.0	10.0	5.0	5.0	47.5
45～49歳	68	0.0	27.9	14.7	4.4	4.4	48.5
50～54歳	59	1.7	11.9	11.9	3.4	3.4	67.8
55～59歳	47	2.1	19.1	12.8	4.3	4.3	57.4
60～64歳	34	2.9	35.3	11.8	0.0	0.0	50.0
65～69歳	49	2.0	16.3	16.3	6.1	6.1	53.1
70～74歳	51	7.8	17.6	15.7	9.8	5.9	43.1
75歳以上	58	12.1	20.7	15.5	5.2	1.7	44.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	804	4.7	20.1	11.1	4.1	1.5	58.5
18～19歳	10	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	40.0
20～24歳	17	11.8	29.4	11.8	0.0	0.0	47.1
25～29歳	36	0.0	19.4	11.1	0.0	0.0	69.4
30～34歳	51	0.0	15.7	9.8	7.8	0.0	66.7
35～39歳	75	0.0	14.7	10.7	1.3	1.3	72.0
40～44歳	83	7.2	19.3	3.6	4.8	2.4	62.7
45～49歳	80	2.5	16.3	13.8	3.8	3.8	60.0
50～54歳	99	3.0	30.3	7.1	4.0	1.0	54.5
55～59歳	76	1.3	19.7	14.5	6.6	0.0	57.9
60～64歳	48	8.3	29.2	14.6	4.2	2.1	41.7
65～69歳	48	6.3	14.6	20.8	6.3	0.0	52.1
70～74歳	79	6.3	12.7	10.1	5.1	5.1	60.8
75歳以上	100	9.0	23.0	12.0	3.0	0.0	53.0
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

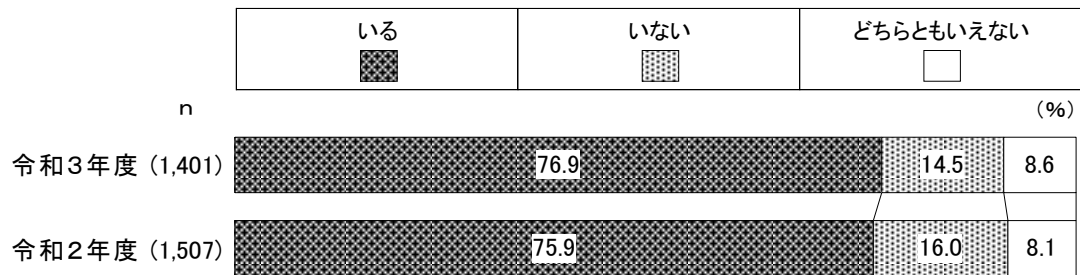
【地域福祉と生活支援の充実】

問29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があるあなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「いる」が76.9%で、「いない」(14.5%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－84 身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「いる」の割合は、小松橋地区(82.5%)、白河地区(79.4%)、大島地区(78.9%)、豊洲地区(77.9%)、亀戸地区(77.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－85 身近に相談相手がいる区民の割合(地区別)

	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	1,401	76.9	14.5	8.6
白河	131	79.4	12.2	8.4
小松橋	97	82.5	10.3	7.2
富岡	95	72.6	15.8	11.6
東陽	120	74.2	15.8	10.0
豊洲	303	77.9	15.2	6.9
亀戸	148	77.0	14.2	8.8
大島	166	78.9	13.9	7.2
砂町	211	74.9	15.6	9.5
南砂	120	75.0	15.8	9.2
居住地区不詳	10	70.0	10.0	20.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「いる」の割合は、女性（83.6％）の方が男性（67.3％）より16.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では18～29歳、35～44歳、50～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～49歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－86 身近に相談相手がいる区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）		
	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	548	67.3	21.0	11.7
18～19歳	9	88.9	0.0	11.1
20～24歳	14	85.7	7.1	7.1
25～29歳	32	78.1	12.5	9.4
30～34歳	37	64.9	21.6	13.5
35～39歳	44	70.5	15.9	13.6
40～44歳	41	75.6	19.5	4.9
45～49歳	68	58.8	23.5	17.6
50～54歳	60	76.7	13.3	10.0
55～59歳	48	66.7	27.1	6.3
60～64歳	34	61.8	29.4	8.8
65～69歳	49	61.2	22.4	16.3
70～74歳	51	56.9	29.4	13.7
75歳以上	60	66.7	21.7	11.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0

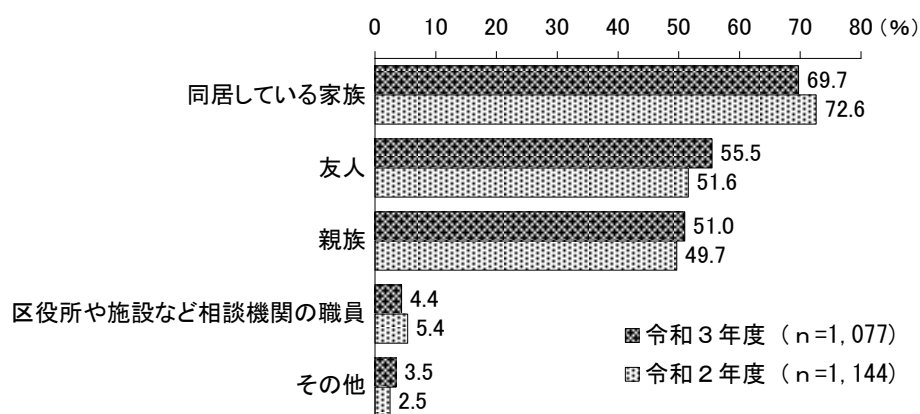
＜女 性＞		（％）		
	n	いる	いない	どちらともいえない
全 体	812	83.6	10.2	6.2
18～19歳	10	100.0	0.0	0.0
20～24歳	17	88.2	5.9	5.9
25～29歳	36	88.9	5.6	5.6
30～34歳	51	86.3	9.8	3.9
35～39歳	75	80.0	9.3	10.7
40～44歳	83	86.7	4.8	8.4
45～49歳	80	86.3	8.8	5.0
50～54歳	101	79.2	12.9	7.9
55～59歳	76	82.9	11.8	5.3
60～64歳	48	81.3	14.6	4.2
65～69歳	48	81.3	14.6	4.2
70～74歳	83	80.7	13.3	6.0
75歳以上	102	85.3	9.8	4.9
年齢不詳	2	100.0	0.0	0.0

問29－1 問29で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。(〇はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「同居している家族」が69.7%で最も高く、次いで「友人」(55.5%)、「親族」(51.0%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「友人」が3.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－87 具体的な相談相手



① 地区別

- ・地区別では、東陽地区を除くすべての地区で1位は「同居している家族」となっている。東陽地区では「友人」が1位となっている。

図表Ⅳ－88 具体的な相談相手（地区別）

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全 体	1,077	69.7	51.0	55.5	4.4	3.5
白河	104	66.3	55.8	55.8	5.8	0.0
小松橋	80	71.3	40.0	47.5	5.0	5.0
富岡	69	65.2	50.7	47.8	1.4	7.2
東陽	89	60.7	50.6	65.2	4.5	5.6
豊洲	236	77.1	48.3	54.2	2.1	3.0
亀戸	114	60.5	48.2	58.8	8.8	2.6
大島	130	70.0	51.5	60.8	2.3	5.4
砂町	158	70.9	55.7	56.3	7.0	2.5
南砂	90	73.3	56.7	47.8	3.3	3.3
居住地区不詳	7	85.7	57.1	71.4	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が1位となっており、男性（72.9％）の方が女性（68.7％）より4.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では18～24歳、30歳以上で「同居している家族」が同率を含め1位となっている。女性では18～24歳、30～59歳、64～74歳で「同居している家族」が1位となっている。

図表Ⅳ－89 具体的な相談相手（性年齢別）

＜男 性＞

(%)

	n	同居している 家族	親族	友人	区役所や施設 など相談機関 の職員	その他
全 体	369	72.9	45.8	45.8	3.8	3.8
18～19歳	8	87.5	37.5	75.0	0.0	0.0
20～24歳	12	58.3	33.3	58.3	0.0	0.0
25～29歳	25	52.0	48.0	76.0	0.0	8.0
30～34歳	24	70.8	66.7	62.5	4.2	4.2
35～39歳	31	83.9	51.6	38.7	0.0	9.7
40～44歳	31	77.4	58.1	67.7	0.0	3.2
45～49歳	40	80.0	37.5	32.5	0.0	2.5
50～54歳	46	84.8	41.3	34.8	6.5	2.2
55～59歳	32	75.0	50.0	37.5	0.0	0.0
60～64歳	21	61.9	52.4	52.4	14.3	0.0
65～69歳	30	70.0	30.0	46.7	10.0	6.7
70～74歳	29	69.0	44.8	31.0	0.0	3.4
75歳以上	40	65.0	42.5	35.0	10.0	5.0
年齢不詳	0	－	－	－	－	－

＜女 性＞

(%)

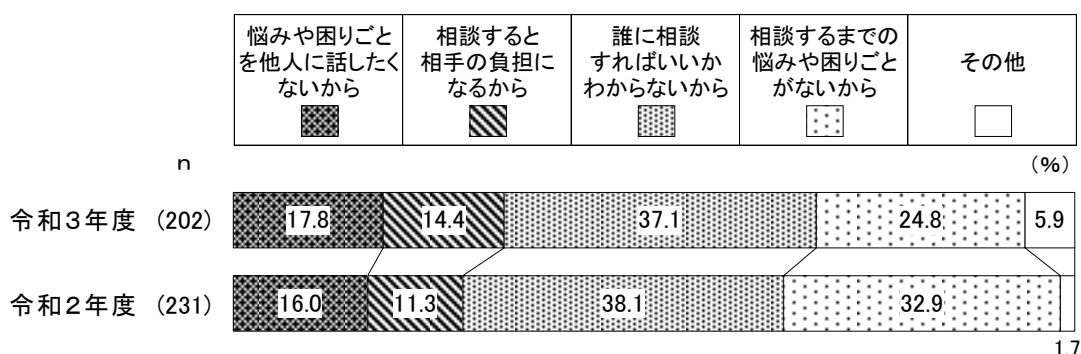
	n	同居している 家族	親族	友人	区役所や施設 など相談機関 の職員	その他
全 体	678	68.7	54.1	60.8	4.4	3.5
18～19歳	10	100.0	0.0	70.0	0.0	10.0
20～24歳	15	80.0	13.3	46.7	6.7	13.3
25～29歳	32	75.0	68.8	78.1	9.4	9.4
30～34歳	44	70.5	68.2	59.1	2.3	2.3
35～39歳	60	76.7	60.0	56.7	6.7	6.7
40～44歳	72	69.4	51.4	62.5	0.0	1.4
45～49歳	69	81.2	56.5	68.1	7.2	7.2
50～54歳	80	71.3	52.5	67.5	2.5	0.0
55～59歳	63	71.4	49.2	54.0	1.6	1.6
60～64歳	39	64.1	51.3	71.8	10.3	2.6
65～69歳	39	66.7	48.7	59.0	0.0	0.0
70～74歳	66	60.6	51.5	51.5	4.5	4.5
75歳以上	87	49.4	60.9	55.2	6.9	2.3
年齢不詳	2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問29－2 問29で「2. いない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいなくて感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「誰に相談すればいいかわからないから」が37.1%で最も高く、次いで「相談するまでの悩みや困りごとがないから」(24.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「相談すると相手の負担になるから」が3.1ポイント増加、「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が8.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－90 相談相手がいらない理由



① 地区別

- ・地区別では、富岡地区を除くすべての地区で同率を含め1位は「誰に相談すればいいかわからないから」となっている。富岡地区と南砂地区では同率を含め「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が1位となっている。

図表Ⅳ－91 相談相手がいらない理由（地区別）

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全 体	202	17.8	14.4	37.1	24.8	5.9
白河	16	6.3	6.3	43.8	37.5	6.3
小松橋	10	10.0	10.0	50.0	30.0	0.0
富岡	15	13.3	20.0	26.7	40.0	0.0
東陽	19	10.5	21.1	42.1	26.3	0.0
豊洲	46	19.6	13.0	39.1	26.1	2.2
亀戸	20	20.0	15.0	30.0	25.0	10.0
大島	23	13.0	17.4	43.5	13.0	13.0
砂町	33	33.3	9.1	36.4	12.1	9.1
南砂	19	15.8	21.1	26.3	26.3	10.5
居住地区不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっており、割合に特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、男性では20～44歳、55～64歳、70歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。女性では25～34歳、55～69歳、75歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。

図表Ⅳ－92 相談相手がいない理由（性年齢別）

＜男 性＞							(%)
	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他	
全 体	115	20.9	7.8	38.3	27.8	5.2	
18～19歳	0	－	－	－	－	－	
20～24歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
25～29歳	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	
30～34歳	8	25.0	0.0	37.5	37.5	0.0	
35～39歳	7	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	
40～44歳	8	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	
45～49歳	16	18.8	6.3	18.8	56.3	0.0	
50～54歳	8	12.5	0.0	37.5	50.0	0.0	
55～59歳	13	30.8	7.7	38.5	23.1	0.0	
60～64歳	10	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0	
65～69歳	11	9.1	0.0	36.4	45.5	9.1	
70～74歳	15	6.7	20.0	33.3	33.3	6.7	
75歳以上	13	23.1	15.4	53.8	7.7	0.0	
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

＜女 性＞							(%)
	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他	
全 体	82	12.2	24.4	36.6	19.5	7.3	
18～19歳	0	－	－	－	－	－	
20～24歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
25～29歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
30～34歳	5	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	
35～39歳	7	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	
40～44歳	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	
45～49歳	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	
50～54歳	13	7.7	38.5	30.8	15.4	7.7	
55～59歳	9	11.1	11.1	66.7	0.0	11.1	
60～64歳	7	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	
65～69歳	7	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0	
70～74歳	11	9.1	36.4	18.2	36.4	0.0	
75歳以上	9	0.0	11.1	44.4	33.3	11.1	
年齢不詳	0	－	－	－	－	－	

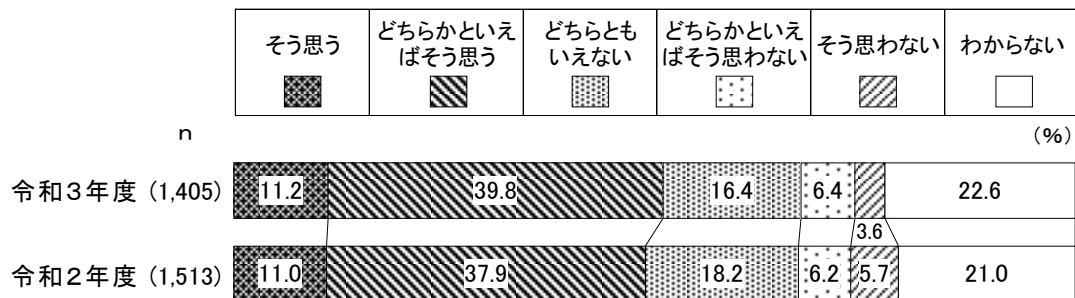
【計画的なまちづくりの推進】

問30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.8%で最も高く、次いで「わからない」(22.6%)となっている。
- ・「そう思う」(11.2%)と「どちらかといえばそう思う」(39.8%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は51.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－93 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(67.0%)、豊洲地区(58.9%)、富岡地区(55.8%)、白河地区(54.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－94 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,405	11.2	39.8	16.4	6.4	3.6	22.6
白河	133	13.5	41.4	13.5	8.3	3.8	19.5
小松橋	97	14.4	52.6	10.3	4.1	1.0	17.5
富岡	95	14.7	41.1	15.8	9.5	1.1	17.9
東陽	120	13.3	37.5	16.7	5.0	2.5	25.0
豊洲	302	15.2	43.7	12.9	4.6	3.3	20.2
亀戸	148	8.1	33.8	18.2	6.8	8.8	24.3
大島	166	7.2	36.7	15.7	6.6	6.0	27.7
砂町	212	8.0	36.8	23.1	9.0	2.4	20.8
南砂	121	6.6	38.0	19.8	5.0	0.8	29.8
居住地区不詳	11	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	45.5

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～49歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～49歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－95 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	552	12.0	38.4	16.3	7.6	6.0	19.7
18～19歳	9	11.1	66.7	0.0	0.0	11.1	11.1
20～24歳	14	21.4	42.9	14.3	0.0	0.0	21.4
25～29歳	33	9.1	39.4	12.1	15.2	6.1	18.2
30～34歳	38	10.5	31.6	15.8	7.9	2.6	31.6
35～39歳	46	13.0	45.7	6.5	6.5	2.2	26.1
40～44歳	40	17.5	37.5	15.0	15.0	2.5	12.5
45～49歳	68	17.6	45.6	14.7	10.3	4.4	7.4
50～54歳	60	8.3	36.7	18.3	5.0	8.3	23.3
55～59歳	48	4.2	45.8	16.7	6.3	4.2	22.9
60～64歳	35	11.4	42.9	22.9	2.9	0.0	20.0
65～69歳	49	12.2	32.7	22.4	6.1	10.2	16.3
70～74歳	52	7.7	25.0	19.2	9.6	19.2	19.2
75歳以上	59	15.3	33.9	16.9	5.1	3.4	25.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

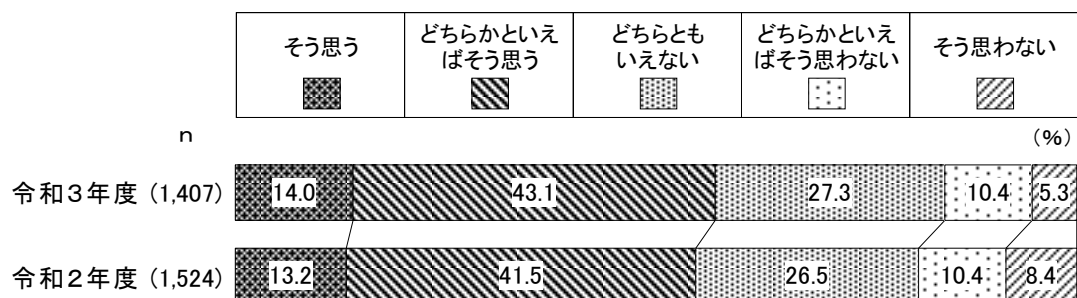
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	812	10.8	40.8	16.1	5.8	1.8	24.6
18～19歳	10	30.0	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0
20～24歳	17	29.4	35.3	0.0	0.0	0.0	35.3
25～29歳	36	8.3	41.7	13.9	0.0	0.0	36.1
30～34歳	50	6.0	46.0	12.0	10.0	2.0	24.0
35～39歳	75	6.7	45.3	13.3	6.7	0.0	28.0
40～44歳	83	14.5	38.6	13.3	6.0	6.0	21.7
45～49歳	81	13.6	45.7	9.9	8.6	4.9	17.3
50～54歳	101	12.9	37.6	18.8	9.9	0.0	20.8
55～59歳	76	3.9	46.1	18.4	5.3	0.0	26.3
60～64歳	48	10.4	54.2	8.3	6.3	0.0	20.8
65～69歳	48	4.2	29.2	27.1	2.1	0.0	37.5
70～74歳	83	8.4	37.3	21.7	2.4	4.8	25.3
75歳以上	102	15.7	33.3	21.6	4.9	1.0	23.5
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が43.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(27.3%)となっている。
- ・「そう思う」(14.0%)と「どちらかといえばそう思う」(43.1%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は57.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「そう思わない」が3.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－96 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(69.4%)、白河地区(66.9%)、小松橋地区(64.9%)、富岡地区(61.5%)、東陽地区(60.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－97 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,407	14.0	43.1	27.3	10.4	5.3
白河	133	16.5	50.4	22.6	5.3	5.3
小松橋	97	11.3	53.6	26.8	7.2	1.0
富岡	96	19.8	41.7	24.0	10.4	4.2
東陽	120	17.5	43.3	20.0	15.8	3.3
豊洲	304	19.7	49.7	20.1	6.6	3.9
亀戸	148	8.8	33.8	34.5	11.5	11.5
大島	166	9.6	38.6	33.1	12.7	6.0
砂町	212	9.9	35.4	33.5	13.7	7.5
南砂	121	10.7	42.1	33.1	11.6	2.5
居住地区不詳	10	10.0	40.0	30.0	20.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、35～49歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－98 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	551	14.2	43.0	27.2	9.4	6.2
18～19歳	9	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0
20～24歳	14	28.6	50.0	21.4	0.0	0.0
25～29歳	33	12.1	48.5	21.2	12.1	6.1
30～34歳	38	10.5	47.4	18.4	18.4	5.3
35～39歳	45	20.0	53.3	13.3	6.7	6.7
40～44歳	40	25.0	45.0	20.0	2.5	7.5
45～49歳	68	23.5	44.1	23.5	5.9	2.9
50～54歳	60	8.3	41.7	31.7	10.0	8.3
55～59歳	48	8.3	54.2	27.1	6.3	4.2
60～64歳	35	11.4	42.9	28.6	14.3	2.9
65～69歳	49	6.1	30.6	32.7	16.3	14.3
70～74歳	52	7.7	32.7	38.5	11.5	9.6
75歳以上	59	11.9	39.0	39.0	6.8	3.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

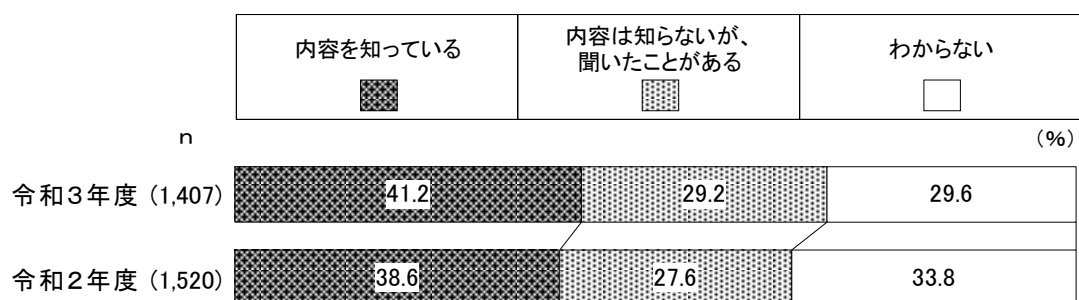
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	814	14.4	43.5	26.4	10.9	4.8
18～19歳	10	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0
20～24歳	17	29.4	29.4	35.3	0.0	5.9
25～29歳	36	11.1	44.4	25.0	13.9	5.6
30～34歳	51	7.8	47.1	31.4	9.8	3.9
35～39歳	76	14.5	48.7	23.7	7.9	5.3
40～44歳	83	19.3	43.4	18.1	10.8	8.4
45～49歳	81	22.2	48.1	16.0	8.6	4.9
50～54歳	101	10.9	41.6	26.7	17.8	3.0
55～59歳	76	3.9	46.1	26.3	18.4	5.3
60～64歳	47	8.5	42.6	36.2	10.6	2.1
65～69歳	48	6.3	39.6	43.8	6.3	4.2
70～74歳	83	18.1	34.9	31.3	9.6	6.0
75歳以上	103	19.4	44.7	25.2	7.8	2.9
年齢不詳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

問32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「内容を知っている」が41.2%で最も高く、次いで「わからない」(29.6%)、「内容は知らないが、聞いたことがある」(29.2%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が4.2ポイント減少している。

図表Ⅳ－99 「ユニバーサルデザイン」の認知状況



① 地区別

- ・地区別では、「内容を知っている」の割合は、富岡地区 (51.0%)、豊洲地区 (49.2%)、小松橋地区 (45.8%)、東陽地区 (45.0%)、白河地区 (44.4%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－100 「ユニバーサルデザイン」の認知状況 (地区別)

	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	1,407	41.2	29.2	29.6
白河	133	44.4	27.8	27.8
小松橋	96	45.8	30.2	24.0
富岡	96	51.0	29.2	19.8
東陽	120	45.0	29.2	25.8
豊洲	303	49.2	26.4	24.4
亀戸	148	35.8	30.4	33.8
大島	166	38.0	27.7	34.3
砂町	213	28.2	35.7	36.2
南砂	121	37.2	25.6	37.2
居住地区不詳	11	36.4	36.4	27.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「内容を知っている」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「内容を知っている」の割合は、男性では18～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳、65～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－101 「ユニバーサルデザイン」の認知状況（性年齢別）

＜男 性＞		(%)		
	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	551	40.1	30.3	29.6
18～19歳	9	88.9	11.1	0.0
20～24歳	14	64.3	21.4	14.3
25～29歳	33	57.6	33.3	9.1
30～34歳	38	47.4	26.3	26.3
35～39歳	46	52.2	26.1	21.7
40～44歳	40	42.5	30.0	27.5
45～49歳	68	47.1	36.8	16.2
50～54歳	60	40.0	30.0	30.0
55～59歳	48	45.8	31.3	22.9
60～64歳	35	28.6	31.4	40.0
65～69歳	49	30.6	18.4	51.0
70～74歳	51	21.6	41.2	37.3
75歳以上	59	18.6	32.2	49.2
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

＜女 性＞		(%)		
	n	内容を知っている	内容は知らないが、聞いたことがある	わからない
全 体	815	43.1	27.9	29.1
18～19歳	10	100.0	0.0	0.0
20～24歳	17	76.5	17.6	5.9
25～29歳	36	77.8	11.1	11.1
30～34歳	51	45.1	37.3	17.6
35～39歳	76	51.3	22.4	26.3
40～44歳	83	54.2	25.3	20.5
45～49歳	81	63.0	21.0	16.0
50～54歳	101	48.5	30.7	20.8
55～59歳	76	40.8	27.6	31.6
60～64歳	48	39.6	39.6	20.8
65～69歳	48	43.8	16.7	39.6
70～74歳	83	15.7	36.1	48.2
75歳以上	103	8.7	35.9	55.3
年齢不詳	2	0.0	0.0	100.0

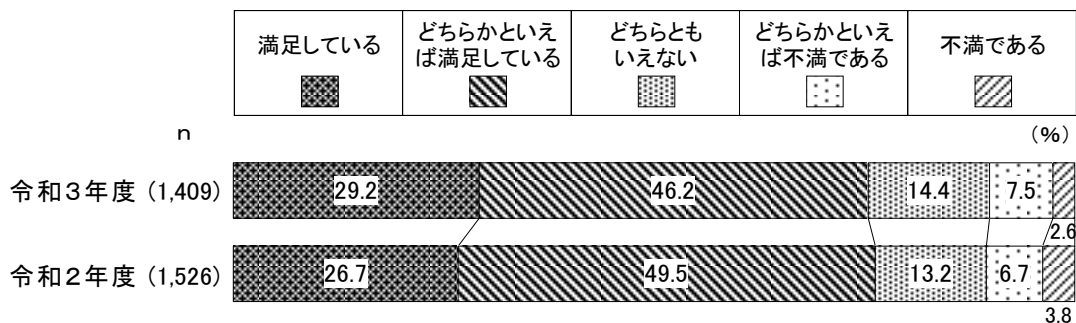
【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問33 あなたは、今お住まいの周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえば満足している」が46.2%で最も高く、次いで「満足している」(29.2%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している (計)』の割合は75.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－102 住宅の周辺環境への満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している (計)』の割合は、東陽地区 (85.0%)、豊洲地区 (80.3%)、南砂地区 (77.7%)、白河地区 (77.3%)、小松橋地区 (77.3%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－103 住宅の周辺環境への満足度 (地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全 体	1,409	29.2	46.2	14.4	7.5	2.6
白河	132	32.6	44.7	15.2	6.1	1.5
小松橋	97	37.1	40.2	16.5	6.2	0.0
富岡	96	30.2	43.8	13.5	9.4	3.1
東陽	120	32.5	52.5	6.7	5.8	2.5
豊洲	304	29.3	51.0	10.5	6.6	2.6
亀戸	149	28.2	40.3	16.8	9.4	5.4
大島	166	25.9	47.6	15.7	8.4	2.4
砂町	213	25.4	41.8	20.2	9.4	3.3
南砂	121	28.1	49.6	14.0	6.6	1.7
居住地区不詳	11	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では18～44歳、50～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、40～49歳、60～69歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－104 住宅の周辺環境への満足度（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	552	30.4	46.2	13.0	6.5	3.8
18～19歳	9	55.6	22.2	11.1	11.1	0.0
20～24歳	14	50.0	35.7	7.1	7.1	0.0
25～29歳	33	36.4	45.5	9.1	9.1	0.0
30～34歳	38	36.8	42.1	13.2	5.3	2.6
35～39歳	46	43.5	39.1	13.0	2.2	2.2
40～44歳	40	35.0	47.5	12.5	5.0	0.0
45～49歳	68	22.1	51.5	14.7	5.9	5.9
50～54歳	60	28.3	50.0	8.3	11.7	1.7
55～59歳	48	35.4	52.1	6.3	6.3	0.0
60～64歳	35	28.6	37.1	22.9	8.6	2.9
65～69歳	49	24.5	51.0	6.1	6.1	12.2
70～74歳	52	19.2	46.2	19.2	5.8	9.6
75歳以上	59	25.4	47.5	20.3	3.4	3.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全 体	814	28.6	46.7	14.7	8.0	2.0
18～19歳	10	40.0	40.0	10.0	10.0	0.0
20～24歳	17	41.2	35.3	11.8	11.8	0.0
25～29歳	36	41.7	44.4	2.8	5.6	5.6
30～34歳	51	29.4	41.2	19.6	7.8	2.0
35～39歳	76	25.0	43.4	17.1	14.5	0.0
40～44歳	83	22.9	55.4	10.8	7.2	3.6
45～49歳	81	29.6	49.4	11.1	7.4	2.5
50～54歳	101	26.7	46.5	13.9	11.9	1.0
55～59歳	76	22.4	47.4	19.7	6.6	3.9
60～64歳	48	18.8	64.6	8.3	8.3	0.0
65～69歳	48	22.9	56.3	12.5	6.3	2.1
70～74歳	82	24.4	43.9	23.2	6.1	2.4
75歳以上	103	43.7	35.9	16.5	3.9	0.0
年齢不詳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

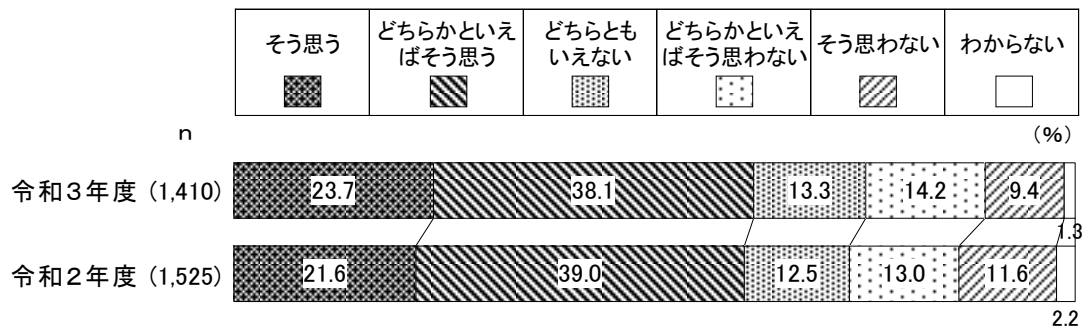
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が38.1%で最も高く、次いで「そう思う」(23.7%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は61.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－105 公共交通による移動の利便性



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(75.0%)、白河地区(68.4%)、大島地区(66.9%)、小松橋地区(66.0%)、東陽地区(65.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－106 公共交通による移動の利便性(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,410	23.7	38.1	13.3	14.2	9.4	1.3
白河	133	31.6	36.8	14.3	9.8	4.5	3.0
小松橋	97	25.8	40.2	10.3	12.4	11.3	0.0
富岡	96	38.5	36.5	10.4	8.3	5.2	1.0
東陽	120	23.3	42.5	13.3	12.5	8.3	0.0
豊洲	304	17.4	40.5	13.2	16.4	12.2	0.3
亀戸	149	24.2	28.9	18.1	12.1	16.1	0.7
大島	166	27.7	39.2	12.0	12.7	5.4	3.0
砂町	213	18.8	39.4	15.5	16.0	9.9	0.5
南砂	121	18.2	37.2	10.7	22.3	7.4	4.1
居住地区不詳	11	45.5	27.3	0.0	18.2	0.0	9.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～24歳、35～49歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～54歳、60～64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－107 公共交通による移動の利便性（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	552	23.0	38.8	13.2	13.2	10.7	1.1
18～19歳	9	22.2	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0
20～24歳	14	35.7	28.6	0.0	14.3	21.4	0.0
25～29歳	33	27.3	33.3	12.1	18.2	9.1	0.0
30～34歳	38	34.2	23.7	13.2	15.8	10.5	2.6
35～39歳	46	26.1	39.1	8.7	10.9	10.9	4.3
40～44歳	40	30.0	32.5	15.0	15.0	7.5	0.0
45～49歳	68	17.6	45.6	5.9	11.8	17.6	1.5
50～54歳	60	15.0	43.3	18.3	18.3	5.0	0.0
55～59歳	48	12.5	45.8	14.6	18.8	8.3	0.0
60～64歳	35	22.9	40.0	14.3	11.4	11.4	0.0
65～69歳	49	20.4	32.7	20.4	14.3	10.2	2.0
70～74歳	52	23.1	46.2	11.5	7.7	11.5	0.0
75歳以上	59	28.8	42.4	15.3	3.4	8.5	1.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	815	23.9	37.8	12.6	15.2	8.8	1.6
18～19歳	10	70.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0
20～24歳	17	23.5	29.4	11.8	29.4	5.9	0.0
25～29歳	36	33.3	25.0	13.9	13.9	13.9	0.0
30～34歳	51	11.8	35.3	19.6	21.6	11.8	0.0
35～39歳	76	15.8	28.9	13.2	31.6	10.5	0.0
40～44歳	83	22.9	47.0	12.0	8.4	9.6	0.0
45～49歳	81	19.8	43.2	12.3	13.6	8.6	2.5
50～54歳	101	19.8	42.6	8.9	17.8	10.9	0.0
55～59歳	76	19.7	32.9	11.8	18.4	17.1	0.0
60～64歳	48	22.9	52.1	8.3	14.6	2.1	0.0
65～69歳	48	22.9	31.3	27.1	14.6	2.1	2.1
70～74歳	83	26.5	41.0	9.6	9.6	10.8	2.4
75歳以上	103	37.9	34.0	12.6	5.8	1.9	7.8
年齢不詳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

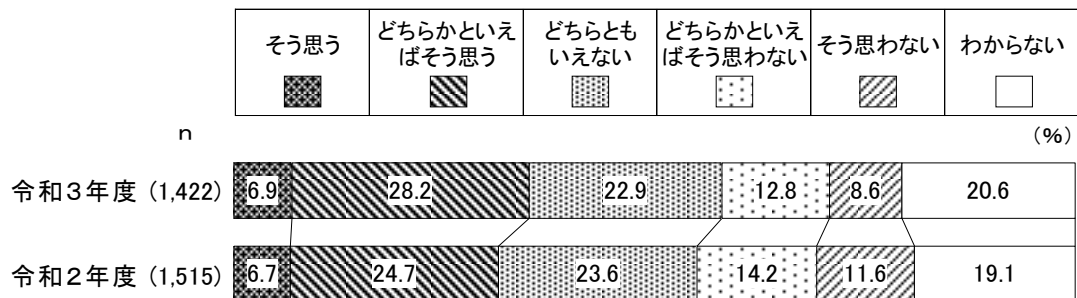
【災害に強い都市の形成】

問35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が28.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(22.9%)となっている。
- ・「そう思う」(6.9%)と「どちらかといえばそう思う」(28.2%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は35.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.7ポイント増加している。

図表Ⅳ－108 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(43.9%)、富岡地区(40.6%)、白河地区(38.9%)、砂町地区(37.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－109 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わない	わからない
全 体	1,422	6.9	28.2	22.9	12.8	8.6	20.6
白河	134	9.0	29.9	19.4	16.4	5.2	20.1
小松橋	98	8.2	35.7	24.5	12.2	9.2	10.2
富岡	96	7.3	33.3	19.8	16.7	7.3	15.6
東陽	119	11.8	22.7	23.5	10.1	5.9	26.1
豊洲	306	6.2	28.8	21.9	7.5	6.2	29.4
亀戸	152	5.3	25.0	19.7	16.4	19.1	14.5
大島	166	2.4	27.7	27.7	13.9	7.8	20.5
砂町	217	8.3	29.0	21.2	14.3	10.6	16.6
南砂	123	4.9	23.6	32.5	13.0	6.5	19.5
居住地区不詳	11	18.2	27.3	0.0	18.2	0.0	36.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（37.9％）の方が女性（33.0％）より4.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、40～49歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、40～44歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－110 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（性年齢別）

＜男 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	558	7.3	30.6	21.0	13.1	10.9	17.0
18～19歳	9	11.1	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1
20～24歳	14	14.3	7.1	14.3	21.4	14.3	28.6
25～29歳	33	6.1	27.3	6.1	27.3	9.1	24.2
30～34歳	38	7.9	23.7	10.5	21.1	21.1	15.8
35～39歳	46	8.7	26.1	26.1	10.9	4.3	23.9
40～44歳	42	4.8	33.3	21.4	19.0	7.1	14.3
45～49歳	68	10.3	39.7	17.6	10.3	8.8	13.2
50～54歳	59	5.1	28.8	16.9	10.2	16.9	22.0
55～59歳	48	4.2	18.8	29.2	18.8	10.4	18.8
60～64歳	36	8.3	36.1	16.7	5.6	11.1	22.2
65～69歳	49	2.0	36.7	32.7	8.2	12.2	8.2
70～74歳	55	1.8	40.0	20.0	10.9	16.4	10.9
75歳以上	60	16.7	26.7	26.7	8.3	5.0	16.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

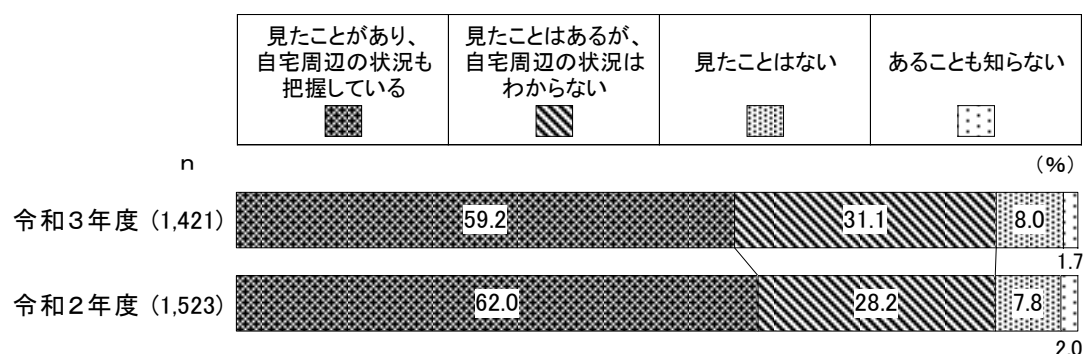
＜女 性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全 体	822	6.7	26.3	24.3	12.3	7.2	23.2
18～19歳	10	20.0	70.0	0.0	0.0	0.0	10.0
20～24歳	18	5.6	27.8	16.7	11.1	5.6	33.3
25～29歳	36	8.3	8.3	25.0	19.4	11.1	27.8
30～34歳	51	0.0	25.5	15.7	13.7	5.9	39.2
35～39歳	76	2.6	21.1	22.4	14.5	7.9	31.6
40～44歳	83	6.0	36.1	21.7	10.8	4.8	20.5
45～49歳	82	6.1	25.6	22.0	17.1	12.2	17.1
50～54歳	101	3.0	26.7	30.7	15.8	4.0	19.8
55～59歳	76	2.6	28.9	22.4	14.5	9.2	22.4
60～64歳	48	6.3	22.9	35.4	8.3	6.3	20.8
65～69歳	50	10.0	20.0	28.0	10.0	6.0	26.0
70～74歳	85	9.4	28.2	20.0	10.6	7.1	24.7
75歳以上	104	14.4	26.0	29.8	5.8	6.7	17.3
年齢不詳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

問36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が59.2%で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」(31.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－111 江東区のハザードマップの認知度



① 地区別

- ・地区別では、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、豊洲地区(62.5%)、亀戸地区(60.5%)、富岡地区(60.4%)、大島地区(59.9%)、白河地区(59.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－112 江東区のハザードマップの認知度（地区別）

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	1,421	59.2	31.1	8.0	1.7
白河	134	59.7	29.9	8.2	2.2
小松橋	98	57.1	39.8	3.1	0.0
富岡	96	60.4	28.1	10.4	1.0
東陽	118	56.8	33.1	6.8	3.4
豊洲	304	62.5	27.0	9.2	1.3
亀戸	152	60.5	31.6	6.6	1.3
大島	167	59.9	34.1	6.0	0.0
砂町	218	54.1	32.1	11.5	2.3
南砂	123	58.5	31.7	6.5	3.3
居住地区不詳	11	72.7	9.1	9.1	9.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では25～34歳、40～49歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～29歳、35～54歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－113 江東区ハザードマップの認知度（性年齢別）

＜男 性＞

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	559	60.1	30.9	6.6	2.3
18～19歳	9	55.6	33.3	11.1	0.0
20～24歳	14	35.7	64.3	0.0	0.0
25～29歳	33	66.7	18.2	12.1	3.0
30～34歳	38	63.2	28.9	2.6	5.3
35～39歳	46	52.2	32.6	10.9	4.3
40～44歳	42	69.0	21.4	9.5	0.0
45～49歳	69	79.7	14.5	4.3	1.4
50～54歳	60	55.0	33.3	10.0	1.7
55～59歳	48	47.9	45.8	6.3	0.0
60～64歳	36	55.6	41.7	0.0	2.8
65～69歳	49	59.2	32.7	4.1	4.1
70～74歳	55	56.4	32.7	9.1	1.8
75歳以上	59	59.3	32.2	5.1	3.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女 性＞

(%)

	n	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
全 体	821	58.6	31.3	8.9	1.2
18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	18	38.9	38.9	22.2	0.0
25～29歳	36	61.1	30.6	5.6	2.8
30～34歳	51	47.1	39.2	13.7	0.0
35～39歳	76	64.5	27.6	7.9	0.0
40～44歳	83	69.9	25.3	4.8	0.0
45～49歳	82	78.0	22.0	0.0	0.0
50～54歳	101	63.4	25.7	8.9	2.0
55～59歳	76	56.6	38.2	5.3	0.0
60～64歳	48	72.9	18.8	4.2	4.2
65～69歳	50	48.0	34.0	18.0	0.0
70～74歳	84	42.9	42.9	13.1	1.2
75歳以上	104	44.2	38.5	13.5	3.8
年齢不詳	2	50.0	0.0	50.0	0.0

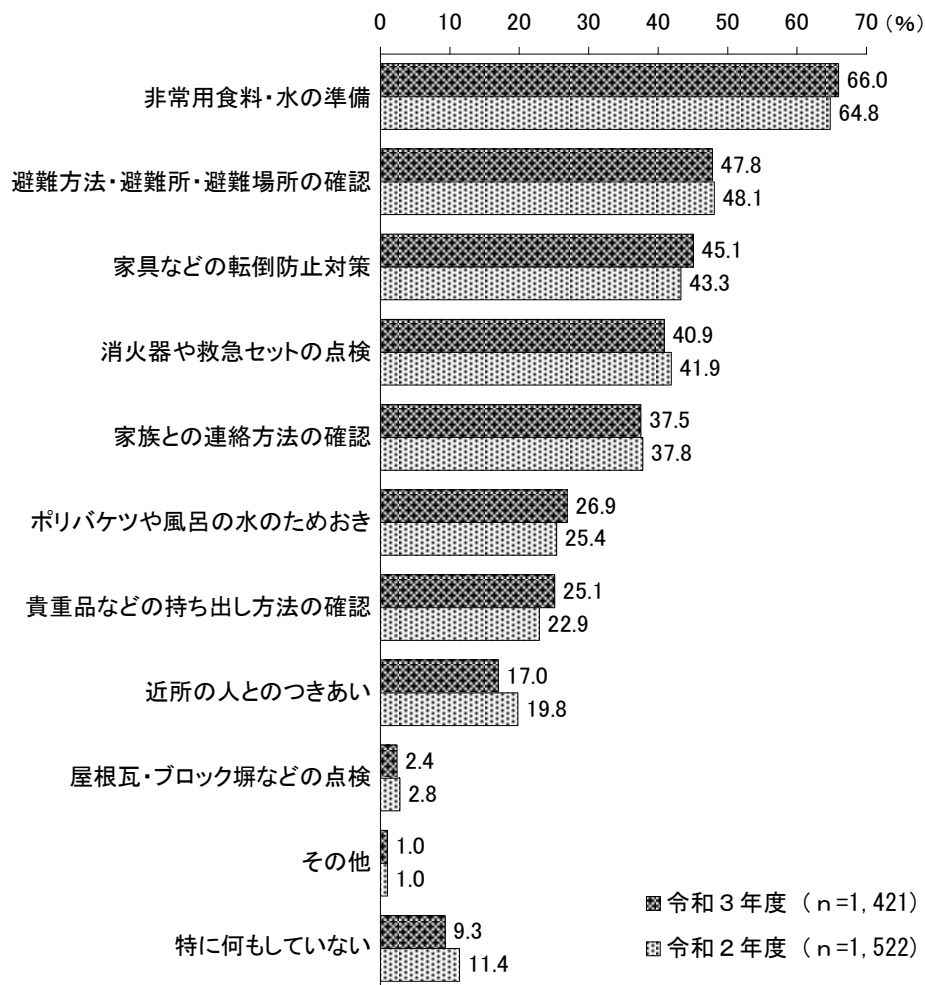
【地域防災力の強化】

問37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「非常用食料・水の準備」が66.0%で最も高く、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確認」(47.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－114 自宅における防災対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「非常用食料・水の準備」となっている。2位は、白河地区、小松橋地区、富岡地区、亀戸地区、南砂地区では「避難方法・避難所・避難場所の確認」、東陽地区、大島地区、砂町地区では「家具などの転倒防止対策」、豊洲地区では「消火器や救急セットの点検」となっている。

図表Ⅳ－115 自宅における防災対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	家具などの 転倒 防止 対策	屋根瓦・ ブロック 塀など の点検	消火器 や救急 セットの 点検	非常用 食料・ 水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の 確認	貴重品 などの 持ち出し 方法の 確認	家族と の連絡 方法の 確認	ポリバケ ツや風呂 の水の ためおき	近所の 人との つきあい	その他	特に 何も して いない
全 体	1,421	45.1	2.4	40.9	66.0	47.8	25.1	37.5	26.9	17.0	1.0	9.3
白河	133	44.4	6.8	39.8	67.7	48.9	25.6	33.8	27.1	13.5	0.0	9.0
小松橋	98	49.0	4.1	42.9	70.4	58.2	29.6	39.8	25.5	19.4	1.0	9.2
富岡	95	44.2	1.1	30.5	69.5	47.4	23.2	31.6	25.3	15.8	2.1	10.5
東陽	119	51.3	5.0	32.8	62.2	45.4	22.7	37.0	31.9	23.5	0.0	10.9
豊洲	306	44.1	0.3	53.6	72.9	52.3	24.8	37.9	23.5	15.0	2.0	5.9
亀戸	153	38.6	3.9	35.9	60.1	51.6	20.3	37.9	34.0	19.6	0.7	13.7
大島	166	49.4	1.8	41.6	63.9	37.3	28.3	40.4	25.3	13.9	0.6	6.0
砂町	217	45.2	1.8	32.7	58.5	42.9	23.5	36.9	24.4	17.1	0.9	12.0
南砂	123	43.9	0.0	44.7	67.5	48.0	29.3	38.2	30.9	18.7	0.8	8.9
居住地区不詳	11	27.3	0.0	36.4	72.7	45.5	27.3	63.6	18.2	18.2	0.0	18.2

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに1位が「非常用食料・水の準備」、2位が「避難方法・避難所・避難場所の確認」となっている。
- ・年齢別にみると、男性ではすべての年齢で同率を含め1位が「非常用食料・水の準備」となっている。65～69歳では「家具などの転倒防止対策」と「消火器や救急セットの点検」が同率で1位、70～74歳では「避難方法・避難所・避難場所の確認」が同率で1位となっている。女性では25～29歳を除くすべての年齢で1位が「非常用食料・水の準備」となっている。25～29歳では「家族との連絡方法の確認」が1位となっている。

図表Ⅳ－116 自宅における防災対策の実施状況（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	家具などの 転倒 防止 対策	屋根瓦・ ブロック 塀など の点検	消火器 や救急 セットの 点検	非常用 食料・ 水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の 確認	貴重品 などの 持ち出し 方法の 確認	家族と の連絡 方法 の確認	ポリバケ ツや風呂 の水の ためおき	近所の 人との つきあい	その他	特に 何も して いない
全 体	557	45.1	2.7	39.7	61.4	47.8	24.6	35.2	24.6	14.9	1.3	12.4
18～19歳	9	33.3	0.0	55.6	100.0	22.2	22.2	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0
20～24歳	14	35.7	0.0	14.3	64.3	57.1	14.3	35.7	28.6	21.4	0.0	7.1
25～29歳	33	21.2	0.0	21.2	57.6	45.5	12.1	27.3	9.1	6.1	0.0	18.2
30～34歳	38	44.7	0.0	28.9	57.9	34.2	23.7	26.3	7.9	2.6	0.0	23.7
35～39歳	46	39.1	0.0	39.1	63.0	41.3	13.0	15.2	13.0	2.2	2.2	21.7
40～44歳	41	48.8	0.0	46.3	68.3	56.1	24.4	41.5	12.2	9.8	0.0	9.8
45～49歳	69	44.9	1.4	31.9	69.6	47.8	23.2	31.9	21.7	14.5	0.0	10.1
50～54歳	59	50.8	3.4	44.1	66.1	45.8	27.1	44.1	18.6	18.6	0.0	10.2
55～59歳	48	45.8	2.1	47.9	54.2	47.9	33.3	45.8	33.3	12.5	4.2	10.4
60～64歳	36	50.0	0.0	38.9	58.3	50.0	22.2	27.8	27.8	19.4	0.0	8.3
65～69歳	48	54.2	2.1	54.2	54.2	50.0	31.3	37.5	37.5	22.9	2.1	10.4
70～74歳	55	45.5	9.1	45.5	50.9	50.9	30.9	40.0	34.5	25.5	0.0	9.1
75歳以上	60	48.3	8.3	38.3	61.7	55.0	26.7	36.7	41.7	21.7	5.0	13.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	家具などの 転倒 防止 対策	屋根瓦・ ブロック 塀など の点検	消火器 や救急 セットの 点検	非常用 食料・ 水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の 確認	貴重品 などの 持ち出し 方法の 確認	家族と の連絡 方法 の確認	ポリバケ ツや風呂 の水の ためおき	近所の 人との つきあい	その他	特に 何も して いない
全 体	821	45.3	2.2	42.1	69.8	47.9	25.2	39.0	28.3	17.9	0.9	7.1
18～19歳	10	50.0	0.0	0.0	90.0	40.0	0.0	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0
20～24歳	18	27.8	0.0	16.7	38.9	33.3	22.2	33.3	5.6	11.1	0.0	33.3
25～29歳	36	33.3	2.8	25.0	50.0	41.7	19.4	52.8	2.8	11.1	0.0	13.9
30～34歳	51	17.6	0.0	29.4	54.9	45.1	21.6	35.3	5.9	9.8	3.9	13.7
35～39歳	76	42.1	0.0	44.7	73.7	43.4	21.1	32.9	21.1	18.4	0.0	11.8
40～44歳	83	47.0	0.0	38.6	69.9	57.8	26.5	43.4	15.7	12.0	0.0	3.6
45～49歳	82	54.9	3.7	47.6	79.3	52.4	25.6	46.3	26.8	18.3	0.0	3.7
50～54歳	101	35.6	0.0	43.6	75.2	55.4	23.8	36.6	30.7	9.9	1.0	5.0
55～59歳	76	50.0	1.3	47.4	67.1	47.4	22.4	42.1	30.3	10.5	0.0	5.3
60～64歳	48	66.7	6.3	47.9	77.1	43.8	22.9	33.3	35.4	25.0	0.0	2.1
65～69歳	50	40.0	6.0	50.0	70.0	50.0	26.0	36.0	36.0	24.0	0.0	6.0
70～74歳	84	42.9	0.0	40.5	66.7	42.9	22.6	32.1	35.7	25.0	0.0	6.0
75歳以上	104	58.7	6.7	49.0	72.1	44.2	40.4	41.3	51.0	30.8	3.8	6.7
年齢不詳	2	100.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

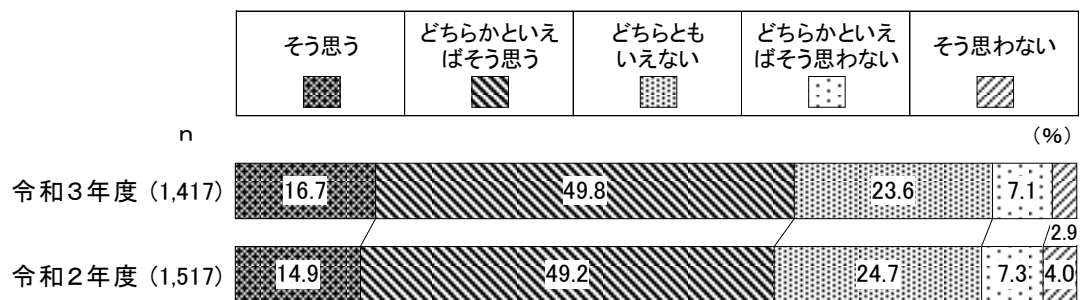
【犯罪のないまちづくり】

問38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が49.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)となっている。
- ・「そう思う」(16.7%)と「どちらかといえばそう思う」(49.8%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は66.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－117 江東区の治安の良さ



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(82.7%)、白河地区(78.9%)、富岡地区(76.0%)、豊洲地区(73.0%)、東陽地区(68.1%)、南砂地区(67.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－118 江東区の治安の良さ(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	1,417	16.7	49.8	23.6	7.1	2.9
白河	133	21.8	57.1	15.0	4.5	1.5
小松橋	98	23.5	59.2	15.3	1.0	1.0
富岡	96	22.9	53.1	17.7	6.3	0.0
東陽	119	21.0	47.1	21.0	7.6	3.4
豊洲	303	18.5	54.5	21.1	3.6	2.3
亀戸	152	10.5	48.7	23.7	9.2	7.9
大島	165	15.8	41.8	32.7	7.3	2.4
砂町	218	8.3	39.9	33.9	13.3	4.6
南砂	122	16.4	50.8	23.0	9.0	0.8
居住地区不詳	11	9.1	63.6	18.2	9.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（69.5％）の方が女性（65.0％）より4.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、30～39歳、45～49歳、55～64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、40～49歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－119 江東区の治安の良さ（性年齢別）

<男 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	557	20.1	49.4	21.5	5.7	3.2
18～19歳	9	33.3	44.4	0.0	22.2	0.0
20～24歳	14	71.4	21.4	7.1	0.0	0.0
25～29歳	33	21.2	42.4	24.2	12.1	0.0
30～34歳	38	28.9	44.7	10.5	7.9	7.9
35～39歳	46	34.8	50.0	10.9	4.3	0.0
40～44歳	42	19.0	42.9	35.7	2.4	0.0
45～49歳	68	23.5	50.0	14.7	4.4	7.4
50～54歳	59	11.9	44.1	35.6	3.4	5.1
55～59歳	48	12.5	62.5	16.7	4.2	4.2
60～64歳	36	13.9	58.3	19.4	8.3	0.0
65～69歳	49	12.2	44.9	30.6	8.2	4.1
70～74歳	55	14.5	54.5	21.8	5.5	3.6
75歳以上	59	15.3	55.9	23.7	3.4	1.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

<女 性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全 体	817	14.8	50.2	24.4	8.0	2.7
18～19歳	10	50.0	30.0	0.0	20.0	0.0
20～24歳	18	16.7	55.6	16.7	5.6	5.6
25～29歳	36	33.3	44.4	5.6	13.9	2.8
30～34歳	51	13.7	58.8	19.6	7.8	0.0
35～39歳	76	14.5	50.0	11.8	18.4	5.3
40～44歳	82	13.4	61.0	17.1	7.3	1.2
45～49歳	81	21.0	44.4	23.5	7.4	3.7
50～54歳	101	10.9	48.5	30.7	8.9	1.0
55～59歳	76	11.8	40.8	32.9	9.2	5.3
60～64歳	48	8.3	56.3	27.1	4.2	4.2
65～69歳	50	12.0	54.0	30.0	2.0	2.0
70～74歳	85	20.0	47.1	25.9	4.7	2.4
75歳以上	101	7.9	51.5	34.7	4.0	2.0
年齢不詳	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

江東区長期計画 区民アンケートのお願い

～江東区の取り組みの評価のためのアンケート～

区民の皆様におかれましては、日頃より江東区政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、江東区では、令和2年度～11年度を計画期間とする、江東区のまちづくりと区政運営の具体的指針となる「江東区長期計画」(*)を令和2年3月に策定いたしました。

計画では、教育や福祉、環境などの各施策における目標の達成度合いを測るための「成果指標」を設定することで、計画の進ちよく状況を数値で把握し、区の現状が目標に向かって進んでいるか、評価を行っています。

本アンケート調査は、区民の皆様の意識や生活実態に基づく成果指標の現状値を把握することを目的に、毎年実施しているものです。

今回、区内にお住まいの満18歳以上の方3,000人を住民基本台帳(令和4年1月1日現在)より無作為に選ばせていただき、送付しております。

お忙しいところ恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は区が委託した調査機関である株式会社エスピー研の協力により実施しています。

令和4年1月 江東区

(※)「江東区長期計画」の詳細は、区ホームページで公開しています。

【ホーム>区政情報>施策・計画>江東区長期計画】

URL: <https://www.city.koto.lg.jp/kuse/shisaku/kekaku/index.html>

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、封筒のあて名のご本人さまにお願いいたします。
2. あて名のご本人さまが記入困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご記入ください。
3. 選択肢で「その他()」を選ばれた場合には、()内に出来るだけ具体的な内容をご記入ください。
4. 回答は、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ番号に○をおつけください。
5. 質問の中には、○をつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
6. 回答は無記名でご記入していただき、回答結果は統計的処理を行いますので、**回答された方が特定されるようなことは一切ございません。**
7. 本アンケートに関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問合せください。

担 当: 江東区政策経営部企画課企画担当

住 所: 〒135-8383 江東区東陽四丁目11番28号

電 話: 03-3647-9168

F A X: 03-3699-8771

Eメール: kikaku@city.koto.lg.jp



江東区観光キャラクター
コトモチちゃん

ご投函期限 令和4年2月9日(水)まで

お手数ですが、ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください(切手不要)。**返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はございません。**

I. はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 から F 6 まで、それぞれあなたにあてはまる番号に○をつけてください。

F1. 性 別	1. 男 性 2. 女 性 3. その他			
F2. 年 齢	1. 18～19 歳 5. 35～39 歳 9. 55～59 歳 13. 75 歳以上	2. 20～24 歳 6. 40～44 歳 10. 60～64 歳	3. 25～29 歳 7. 45～49 歳 11. 65～69 歳	4. 30～34 歳 8. 50～54 歳 12. 70～74 歳
F3. ご職業	1. 会社員・団体職員 2. 商工自営業 3. 公務員 4. 会社役員・団体役員 5. パート・アルバイト 6. 学生 7. 無職（専業主婦・主夫含む） 8. その他（ ）			
F4. ご自宅 (居住地区)	地区名	該当する町丁名		
	1. 白河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋		
	2. 小松橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利		
	3. 富岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島		
	4. 東陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森		
	5. 豊洲 (西)	豊洲、東雲、有明、青海		
	6. 豊洲 (東)	塩浜、枝川、辰巳、潮見		
	7. 亀戸	亀戸		
	8. 大島	大島		
	9. 砂町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目		
	10. 南砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)、南砂 3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)、新砂 2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲		
F5. 世帯の構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 二世帯世帯（あなたの世代と親） 4. 二世帯世帯（あなたの世代とこども） 5. 三世帯世帯 6. その他（ ）			
	F5-1 右記に該当する家族が同居されている場合は、あてはまる番号に○をつけてください		1. 家族に中学校卒業前のこどもがいる 2. 家族に 65 歳以上の高齢者がいる 3. どちらとも同居していない (65 歳以上のひとり暮らしの方を含む)	
F6. 住宅の形態	1. 一戸建持ち家 2. 分譲マンション（公団・公社*含む） 3. 一戸建借家 4. 賃貸マンション（公団・公社*含む） 5. 賃貸アパート 6. 社宅・公務員宿舎・社員寮など 7. 同居・間借り・住み込み 8. その他（ ）			

*公団とは「UR 都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

Ⅱ. 次に、あなたの身近な生活環境等についておうかがいします。

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | 6. わからない |

【地球温暖化対策と環境保全】

問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 環境を意識した行動を日常生活の中で行っている |
| 2. 外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車を利用している |
| 3. 節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている |
| 4. 電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている |
| 5. 使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している |
| 6. ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している |
| 7. ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみ など）をしている |
| 8. びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している |
| 9. 買い物にはマイバッグを持参している |
| 10. 環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている |
| 11. 環境を守る地域活動に参加している |
| 12. 特に何もしていない |

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらかといえばそう感じない | 4. そう感じない |
| 5. わからない | |

問3-1 問3で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。

地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

問 4 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

問 4-1 問 4 で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。

必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

問 5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. しつけであっても体罰はすべきではない

2. しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない

3. しつけのためなら、体罰は必要である

4. わからない

【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問 6 江東区では、一人一人を大切にされた教育が行われていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問 7 あなたは、行政や地域の活動（こども 110 番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問 8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

「青少年」とは、中・高生～35 歳未満の青年期の者 [子供・若者白書 (内閣府)]。

なお、事業によっては 40 歳未満の者。

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問 9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 11 町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問 13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 14 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス（DV=配偶者等からの暴力）」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

「1. 知っている」を選んだ方は問 15-1 へ、「2. 知らない」を選んだ方は問 16 へお進みください。

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない → 問 16 へ |
|----------|------------------|

問 15-1 問 15 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 江東区女性のなやみと DV ホットライン（配偶者暴力相談支援センター） |
| 2. 福祉事務所（保護第一課、保護第二課） |
| 3. 警察署 |
| 4. 警視庁総合相談センター |
| 5. 東京都女性相談センター |
| 6. 東京ウィメンズプラザ |
| 7. その他（具体的に： _____） |

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

【学習講座や地域の集まりの例】

①趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、②教養（英会話など）、③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. そう感じない |
| 5. わからない | |

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 週 1 日 | 2. 週 2 日 |
| 3. 週 3 日以上週 6 日以下 | 4. 毎日 |
| 5. しない | |

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【文化・歴史の継承と観光振興】

問 19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. そう思う | 「3.」「4.」「5.」を選んだ方は問 20
へお進みください |
| 2. どちらかといえばそう思う | |
| 3. どちらかといえばそう思わない | |
| 4. そう思わない | |
| 5. わからない | |

問 19-1 問 19 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。

あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 神社仏閣・文化財・史跡 |
| 2. 郷土料理（深川めし）やご当地グルメなどの食文化 |
| 3. 江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能 |
| 4. 祭り・イベント |
| 5. パレットタウン、キッザニア東京、チームラボなどの娯楽施設 |
| 6. 東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館 |
| 7. オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設 |
| 8. キャンプ・バーベキューなどアウトドアが体験できる公園・施設 |
| 9. 河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境 |
| 10. ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋 |
| 11. 豊洲市場及び関連施設 |
| 12. その他（具体的に： _____） |

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 20 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 22 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 区のがん検診 | 2. 職場のがん検診 |
| 3. 人間ドックなどのがん検診 | 4. その他(具体的に:) |
| 5. がん検診は受けていない | |

問 23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

①かかりつけ医	1. もっている	2. もっていない
②かかりつけ歯科医	1. もっている	2. もっていない
③かかりつけ薬局	1. もっている	2. もっていない

【感染症対策と生活衛生の確保】

問 24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

①手洗い	1. 行っている	2. 行っていない
②咳エチケット	1. 行っている	2. 行っていない

【高齢者支援と活躍の推進】

問 25 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 26 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

「2. 地域活動をしている」を選んだ方は問 26-1 へ、「3. 何もしていない」を選んだ方は問 26-2 へお進みください。

1. 就労をしている

2. 地域活動をしている

3. 何もしていない

問 26-1 問 26 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。

具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ボランティア活動 | 2. 町会・自治会活動 |
| 3. 老人クラブ | 4. 趣味の活動 |
| 5. その他の活動 | |

→問 26-2 問 26 で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。

地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 関心がない |
| 2. 関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない |
| 3. ひとりでは地域活動や勤めることが不安 |
| 4. 参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい |
| 5. 家族や健康上の理由から活動や就労ができない |
| 6. その他 () |

問 27 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

1. 内容を知っている 2. ある程度の内容は知っている
3. 内容は知らないが、聞いたことはある 4. 知らない

【障害者支援と共生社会の実現】

問 28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない 6. わからない

【地域福祉と生活支援の充実】

問 29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. いる
2. いない
3. どちらともいえない

問 29-1 問 29 で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。(○はいくつでも)

1. 同居している家族
2. 親族
3. 友人
4. 区役所や施設など相談機関の職員
5. その他（ ）

→問 29-2 問 29 で「2. いない」と答えた方におたずねします。

あなたが相談相手がいないと感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 悩みや困りごとを他人に話したくないから
2. 相談すると相手の負担になるから
3. 誰に相談すればいいかわからないから
4. 相談するまでの悩みや困りごとがないから
5. その他 ()

【計画的なまちづくりの推進】

問 30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 内容は知らないが、聞いたことがある |
| 3. わからない | |

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすること。

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問 33 あなたは、今お住まいの周辺環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | |

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問 34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【災害に強い都市の形成】

問 35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない
6. わからない

問 36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している
2. 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない
3. 見たことはない
4. あることも知らない

【地域防災力の強化】

問 37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 家具などの転倒防止対策
2. 屋根瓦・ブロック塀などの点検
3. 消火器や救急セットの点検
4. 非常用食料・水の準備
5. 避難方法・避難所・避難場所の確認
6. 貴重品などの持ち出し方法の確認
7. 家族との連絡方法の確認
8. ポリバケツや風呂の水のため置き
9. 近所の人とのつきあい
10. その他（具体的に： ）
11. 特に何もしていない

【犯罪のないまちづくり】

問 38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない 4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、令和4年2月9日（水）までに
投函してください。

ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

担 当：江東区政策経営部企画課企画担当
住 所：〒135-8383 江東区東陽四丁目 1 1 番 2 8 号
電 話：03-3647-9168
F A X：03-3699-8771
Eメール：kikaku@city.koto.lg.jp

令和３年度 江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和４年３月 印刷物登録番号 （３）８８号

編集発行 江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽４－１１－２８

電話（３６４７）９１１１（大代表）

